

交付図書の訂正について

令和5年8月10日付けで入札公告を行った「(工事名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、訂正した交付図書は、競争参加資格申請者へ送付いたします。

令和5年12月12日

契約責任者

東日本高速道路株式会社北海道支社

支社長 堀 圭 一

【訂正図書】

- ・⑦【金抜設計書】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・⑧【特記仕様書】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・⑩【割掛対象表参考内訳書】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・⑪【数量明細表】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・①【設計図】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・⑤【設計図】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・⑥【設計図】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・⑦【設計図】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・⑧【設計図】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・⑨【設計図】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事
- ・⑩【参考図】道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください

正誤表(1)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(2)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

金抜設計書

誤

正

正誤区分

単価表

番号	項目番号	項 目	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
13	2 - (6)	構造物掘削 普通部	3,600	m ³			
14	2 - (8)	基礎材 B 1	5	m ³			
15	2 - (8)	基礎材 B 2	95	m ³			
16	特 - (1)	地盤改良工 中層混合処理工 A	564	m ³			
17	特 - (1)	地盤改良工 固化材 A	39	t			
18	4 - (3)	種散布工	11,240	m ²			
19	4 - (4)	種吹付工 種吹付 B (人工基材)	8,435	m ²			
20	4 - (5)	植生基材吹付工 人工基材 (t = 3cm) 金網入り	6,870	m ²			
21	特 - (2)	のり面保護網工 のり面保護網 A	8,435	m ²			
22	4 - (14)	コンクリートブロック積工 コンクリートブロック積み (純) 控 3.5cm A	105	m ²			
23	4 - (16)	裏込め砕石	42	m ³			
24	4 - (17)	基礎工 コンクリート基礎工 Type A (F)	25	m			

番号	項目番号	項 目	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
13	2 - (6)	構造物掘削 普通部	3,580	m ³			
14	2 - (8)	基礎材 B 1	5	m ³			
15	2 - (8)	基礎材 B 2	95	m ³			
16	特 - (1)	地盤改良工 中層混合処理工 A	564	m ³			
17	特 - (1)	地盤改良工 固化材 A	39	t			
18	4 - (3)	種散布工	11,240	m ²			
19	4 - (4)	種吹付工 種吹付 B (人工基材)	8,435	m ²			
20	4 - (5)	植生基材吹付工 人工基材 (t = 3cm) 金網入り	6,870	m ²			
21	特 - (2)	のり面保護網工 のり面保護網 A	8,435	m ²			
22	4 - (14)	コンクリートブロック積工 コンクリートブロック積み (純) 控 3.5cm A	105	m ²			
23	4 - (16)	裏込め砕石	42	m ³			
24	4 - (17)	基礎工 コンクリート基礎工 Type A (F)	25	m			

正誤表(3)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

金抜設計書
単価表

誤

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
37	5 - (1)	用・排水溝 E v - B (A)	165	m			
38	5 - (1)	用・排水溝 E v - C (Λ)	257	m			
39	5 - (2)	用・排水管 P (H) ・ 2 ・ ϕ 1 . 0 0 (S d - B)	12	m			
40	5 - (2)	用・排水管 P (P o - B) ・ ϕ 0 . 4 0 (S d - B)	416	m			
41	5 - (3)	集水ます T y p e A	33	箇所			
42	5 - (3)	集水ます T y p e B	8	箇所			
43	5 - (3)	集水ます T y p e D	2	箇所			
44	5 - (3)	集水ます T y p e E	6	箇所			
45	5 - (3)	集水ます T y p e F	4	箇所			
46	5 - (3)	集水ます T y p e L	1	箇所			
47	5 - (3)	集水ます T y p e M	13	箇所			
48	5 - (3)	集水ます T y p e N	1	箇所			

正

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
37	5 - (1)	用・排水溝 E v - B (A)	165	m			
38	5 - (1)	用・排水溝 E v - C (Λ)	257	m			
39	5 - (2)	用・排水管 P (H) ・ 2 ・ ϕ 1 . 0 0 (S d - B)	12	m			
40	5 - (2)	用・排水管 P (P o - B) ・ ϕ 0 . 4 0 (S d - B)	416	m			
41	5 - (3)	集水ます T y p e A	32	箇所			
42	5 - (3)	集水ます T y p e B	8	箇所			
43	5 - (3)	集水ます T y p e D	2	箇所			
44	5 - (3)	集水ます T y p e E	6	箇所			
45	5 - (3)	集水ます T y p e F	4	箇所			
46	5 - (3)	集水ます T y p e L	1	箇所			
47	5 - (3)	集水ます T y p e M	13	箇所			
48	5 - (3)	集水ます T y p e N	1	箇所			

正誤表(4)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

金抜設計書
単価表

誤

正

正誤区分

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
49	5 - (3)	集水ます Type O-1	1	箇所			
50	5 - (3)	集水ます Type O-2	1	箇所			
51	特 - (3)	集水ます改良工 A	1	箇所			
52	特 - (3)	集水ます改良工 B	2	箇所			
53	5 - (7)	地下排水工 Du-S-φ0.20・0.60・0.60	137	m			
54	5 - (7)	地下排水工 Du-S-φ0.20・0.80・0.60	120	m			
55	5 - (7)	地下排水工 Du-Pφ0.15・0.50・0.50	86	m			
56	特 - (4)	流末処理工 A	1	箇所			
57	特 - (5)	護岸工 連席ブロックA	80	m ²			
58	6 - (1)	縦目工 I型	90	m			
59	6 - (1)	縦目工 III型	50	m			
60	6 - (4)	コルゲートパイプ 2R-φ1.50・t=2.7 (C)	65	m			

単 価 表

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
49	5 - (3)	集水ます Type O-1	2	箇所			
50	特 - (3)	集水ます改良工 A	1	箇所			
51	特 - (3)	集水ます改良工 B	2	箇所			
52	5 - (7)	地下排水工 Du-S-φ0.20・0.60・0.60	137	m			
53	5 - (7)	地下排水工 Du-S-φ0.20・0.80・0.60	120	m			
54	5 - (7)	地下排水工 Du-Pφ0.15・0.50・0.50	86	m			
55	特 - (4)	流末処理工 A	1	箇所			
56	特 - (5)	護岸工 連席ブロックA	80	m ²			
57	6 - (1)	縦目工 I型	90	m			
58	6 - (1)	縦目工 III型	50	m			
59	6 - (4)	コルゲートパイプ 2R-φ1.50・t=2.7 (C)	65	m			
60	8 - (1)	コンクリート A1-3	482	m ³			

正誤表(5)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

金抜設計書
単価表

誤

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
109	特 - (6)	注入式長尺鋼管先受工 打設工 (L = 1 2 . 5 m)	135	本			
110	特 - (6)	注入式長尺鋼管先受工 打設工 (L = 6 . 5 m)	27	本			
111	特 - (6)	注入式長尺鋼管先受工 注入工 (L = 1 2 . 5 m)	103,923	L			
112	特 - (6)	注入式長尺鋼管先受工 注入工 (L = 6 . 5 m)	10,814	L			
113	12 - (4)	鋼アーチ支保工 CⅡ - b (H)	742	基			
114	12 - (4)	鋼アーチ支保工 DⅠ - a (H)	85	基			
115	12 - (4)	鋼アーチ支保工 DⅢ a (H)	135	基			
116	12 - (4)	鋼アーチ支保工 CⅡ - L (H)	43	基			
117	12 - (6)	ずり処理工 A 1	23,558	m³			
118	12 - (6)	ずり処理工 A 2	2,183	m³			
119	12 - (6)	ずり処理工 C 1	40,565	m³			
120	12 - (6)	ずり処理工 C 2	12,098	m³			

正

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
109	特 - (6)	注入式長尺鋼管先受工 打設工 (L = 6 . 5 m)	27	本			
110	特 - (6)	注入式長尺鋼管先受工 注入工 (L = 1 2 . 5 m)	103,950	L			
111	特 - (6)	注入式長尺鋼管先受工 注入工 (L = 6 . 5 m)	10,827	L			
112	12 - (4)	鋼アーチ支保工 CⅡ - b (H)	742	基			
113	12 - (4)	鋼アーチ支保工 DⅠ - a (H)	85	基			
114	12 - (4)	鋼アーチ支保工 DⅢ a (H)	135	基			
115	12 - (4)	鋼アーチ支保工 CⅡ - L (H)	43	基			
116	12 - (6)	ずり処理工 A 1	23,558	m³			
117	12 - (6)	ずり処理工 A 2	2,183	m³			
118	12 - (6)	ずり処理工 C 1	40,565	m³			
119	12 - (6)	ずり処理工 C 2	12,098	m³			
120	12 - (6)	ずり処理工 C 3	58,655	m³			

正誤表(6)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

金抜設計書
単価表

誤

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
121	12 - (6)	ずり処理工 C 3	58,655	m³			
122	12 - (6)	ずり処理工 C 4	36,294	m³			
123	12 - (7)	インバート埋戻し工	10,196	m³			
124	12 - (8)	計測工 C	1	式			
125	12 - (9)	覆工防水工 A (B)	41,669	m²			
126	12 - (9)	覆工防水工 A (K)	299	m²			
127	12 - (9)	覆工防水工 B (B)	3,121	m²			
128	12 - (11)	裏面排水工 A	3,903	m			
129	12 - (12)	路盤排水工 中央排水工B	1,984	m			
130	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工B	334	m			
131	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工C	98	m			
132	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (運転)	609	日			

正

単 価 表							
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
121	12 - (6)	ずり処理工 C 4	36,294	m³			
122	12 - (7)	インバート埋戻し工	10,196	m³			
123	12 - (8)	計測工 C	1	式			
124	12 - (9)	覆工防水工 A (B)	41,669	m²			
125	12 - (9)	覆工防水工 A (K)	299	m²			
126	12 - (9)	覆工防水工 B (B)	3,121	m²			
127	12 - (11)	裏面排水工 A	3,903	m			
128	12 - (12)	路盤排水工 中央排水工B	1,984	m			
129	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工B	334	m			
130	12 - (12)	路盤排水工 横断排水工C	98	m			
131	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (運転)	636	日			
132	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用)	909	日			

正誤表(7)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																																																																													
金抜設計書 単価表	誤	<div>単 価 表</div> <table><tr><th>番号</th><th>項目番号</th><th>項 目</th><th>数 量</th><th>単 位</th><th>単 価</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>133</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用)</td><td>870</td><td>日</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>134</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 泥土処理工</td><td>426</td><td>m³</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>135</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 汚濁水処理設備設置工</td><td>1</td><td>式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>136</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 汚濁水処理設備撤去工</td><td>1</td><td>式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>137</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 薬剤 A 2</td><td>43,848</td><td>kg</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>138</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 薬剤 B</td><td>1,315</td><td>kg</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>139</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 薬剤 C 2</td><td>192,931</td><td>kg</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>140</td><td>12 - (16)</td><td>フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)</td><td>870</td><td>日</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>141</td><td>12 - (16)</td><td>フリッカ設備工 フリッカ設備設置工</td><td>1</td><td>式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>142</td><td>12 - (16)</td><td>フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工</td><td>1</td><td>式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>143</td><td>12 - (17)</td><td>切羽監視員 切羽監視員</td><td>1,191</td><td>人・日</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>144</td><td>特 - (7)</td><td>鉄網工 A</td><td>225</td><td>m²</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						番号	項目番号	項 目	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	133	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用)	870	日				134	12 - (15)	汚濁水処理工 泥土処理工	426	m ³				135	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備設置工	1	式				136	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備撤去工	1	式				137	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 A 2	43,848	kg				138	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 B	1,315	kg				139	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 C 2	192,931	kg				140	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)	870	日				141	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工	1	式				142	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工	1	式				143	12 - (17)	切羽監視員 切羽監視員	1,191	人・日				144	特 - (7)	鉄網工 A	225	m ²			
	番号	項目番号	項 目	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要																																																																																																							
133	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理工 (供用)	870	日																																																																																																											
134	12 - (15)	汚濁水処理工 泥土処理工	426	m ³																																																																																																											
135	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備設置工	1	式																																																																																																											
136	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備撤去工	1	式																																																																																																											
137	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 A 2	43,848	kg																																																																																																											
138	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 B	1,315	kg																																																																																																											
139	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 C 2	192,931	kg																																																																																																											
140	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)	870	日																																																																																																											
141	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工	1	式																																																																																																											
142	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工	1	式																																																																																																											
143	12 - (17)	切羽監視員 切羽監視員	1,191	人・日																																																																																																											
144	特 - (7)	鉄網工 A	225	m ²																																																																																																											
	正	<table><tr><th>番号</th><th>項目番号</th><th>項 目</th><th>数 量</th><th>単 位</th><th>単 価</th><th>金 額</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>133</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 泥土処理工</td><td>445</td><td>m³</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>134</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 汚濁水処理設備設置工</td><td>1</td><td>式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>135</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 汚濁水処理設備撤去工</td><td>1</td><td>式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>136</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 薬剤 A 2</td><td>45,792</td><td>kg</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>137</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 薬剤 B</td><td>1,374</td><td>kg</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>138</td><td>12 - (15)</td><td>汚濁水処理工 薬剤 C 2</td><td>201,485</td><td>kg</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>139</td><td>12 - (16)</td><td>フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)</td><td>873</td><td>日</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>140</td><td>12 - (16)</td><td>フリッカ設備工 フリッカ設備設置工</td><td>1</td><td>式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>141</td><td>12 - (16)</td><td>フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工</td><td>1</td><td>式</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>142</td><td>12 - (17)</td><td>切羽監視員 切羽監視員</td><td>1,230</td><td>人・日</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>143</td><td>特 - (7)</td><td>鉄網工 A</td><td>225</td><td>m²</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>144</td><td>特 - (8)</td><td>避難連絡坑防護工</td><td>2</td><td>箇所</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						番号	項目番号	項 目	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要	133	12 - (15)	汚濁水処理工 泥土処理工	445	m ³				134	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備設置工	1	式				135	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備撤去工	1	式				136	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 A 2	45,792	kg				137	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 B	1,374	kg				138	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 C 2	201,485	kg				139	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)	873	日				140	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工	1	式				141	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工	1	式				142	12 - (17)	切羽監視員 切羽監視員	1,230	人・日				143	特 - (7)	鉄網工 A	225	m ²				144	特 - (8)	避難連絡坑防護工	2	箇所			
番号	項目番号	項 目	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要																																																																																																								
133	12 - (15)	汚濁水処理工 泥土処理工	445	m ³																																																																																																											
134	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備設置工	1	式																																																																																																											
135	12 - (15)	汚濁水処理工 汚濁水処理設備撤去工	1	式																																																																																																											
136	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 A 2	45,792	kg																																																																																																											
137	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 B	1,374	kg																																																																																																											
138	12 - (15)	汚濁水処理工 薬剤 C 2	201,485	kg																																																																																																											
139	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備工(供用)	873	日																																																																																																											
140	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備設置工	1	式																																																																																																											
141	12 - (16)	フリッカ設備工 フリッカ設備撤去工	1	式																																																																																																											
142	12 - (17)	切羽監視員 切羽監視員	1,230	人・日																																																																																																											
143	特 - (7)	鉄網工 A	225	m ²																																																																																																											
144	特 - (8)	避難連絡坑防護工	2	箇所																																																																																																											

正誤表(8)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

<div>修正箇所</div> <div>特記仕様書</div> <div>17-1</div> <div>盛土材等</div>	<div>誤</div> <div><table><tr><th>名称</th><th>数量</th><th>設置場所</th><th>設置期間</th></tr><tr><td rowspan="3">泥落し装置（乾式） （全輪）</td><td>1 基</td><td>おろひ工事用道路出入口付近</td><td rowspan="3">各設置場所における土運搬期間中</td></tr><tr><td>1 基</td><td>村道おろひ側資機工事用道路出入口付近</td></tr><tr><td>1 基</td><td>一級沢尻置場出入口付近</td></tr></table><p>17. 工事用材料に関する事項</p><p>17-1 盛土材等</p><p>(1) 盛土工A1、A2、A3、A5に使用する材料は、共通仕様書2-7-2「材料」及び下表に示す規定に適合する材料とする。</p><table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="4">材料の品質</th></tr><tr><th>盛土工A1</th><th>盛土工A2</th><th>盛土工A3、盛土工A5</th><th></th></tr><tr><td>最大寸法（mm）</td><td>100 以下</td><td>150 以下</td><td>300 以下</td><td></td></tr><tr><td>凍結融解後のCBR</td><td>10 以上</td><td>5 以上</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">粒度</td><td>切込砕石</td><td colspan="3">75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下</td></tr><tr><td>切込砂利</td><td colspan="3">75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下</td></tr></table><p>また、上表に加え盛土工A1、A2、A3、A5に使用する材料は、NEXCO試験法の「土の凍上試験（試験法112）」と「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」の両方を実施し、その試験結果がNEXCO試験法においては凍結様式1で凍上率5%未満かつ、JGS試験法の結果で凍上速度0.1mm/h未満の非凍上性の材料とする。なお、これらの試験に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。</p><p>(2) 盛土工A4に使用する材料は、共通仕様書2-7-2「材料」及び下表に示す規定に適合する材料とする。</p><table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="4">材料の品質</th></tr><tr><th colspan="4">盛土工A4</th></tr><tr><td>最大寸法（mm）</td><td colspan="4">300 以下</td></tr><tr><td>凍結融解後のCBR</td><td colspan="4">—</td></tr><tr><td rowspan="2">粒度</td><td>切込砕石</td><td colspan="3">75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下</td></tr><tr><td>切込砂利</td><td colspan="3">75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下</td></tr></table><p>また、上表に加え盛土工A4に使用する材料は、NEXCO試験法の「土の凍上試験（試験法112）」と「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」の両方を実施し、その試験結果がNEXCO試験法においては凍結様式1で凍上率5%未満かつ、JGS試験法の結果で凍上速度0.1mm/h未満の非凍上性の材料とする。なお、これらの試験に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。</p></div> <div>16</div>	名称	数量	設置場所	設置期間	泥落し装置（乾式） （全輪）	1 基	おろひ工事用道路出入口付近	各設置場所における土運搬期間中	1 基	村道おろひ側資機工事用道路出入口付近	1 基	一級沢尻置場出入口付近	項目	材料の品質				盛土工A1	盛土工A2	盛土工A3、盛土工A5		最大寸法（mm）	100 以下	150 以下	300 以下		凍結融解後のCBR	10 以上	5 以上	—		粒度	切込砕石	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下			切込砂利	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下			項目	材料の品質				盛土工A4				最大寸法（mm）	300 以下				凍結融解後のCBR	—				粒度	切込砕石	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下			切込砂利	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下			<div>正</div> <div><table><tr><th>名称</th><th>数量</th><th>設置場所</th><th>設置期間</th></tr><tr><td rowspan="3">泥落し装置（乾式） （全輪）</td><td>1 基</td><td>おろひ工事用道路出入口付近</td><td rowspan="3">各設置場所における土運搬期間中</td></tr><tr><td>1 基</td><td>村道おろひ側資機工事用道路出入口付近</td></tr><tr><td>1 基</td><td>一級沢尻置場出入口付近</td></tr></table><p>17. 工事用材料に関する事項</p><p>17-1 盛土材等</p><p>(1) 盛土工A1、A2、A3、A4に使用する材料は、共通仕様書2-7-2「材料」及び下表に示す規定に適合する材料とする。</p><table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="4">材料の品質</th></tr><tr><th>盛土工A1</th><th>盛土工A2</th><th>盛土工A3、盛土工A4</th><th></th></tr><tr><td>最大寸法（mm）</td><td>100 以下</td><td>150 以下</td><td>300 以下</td><td></td></tr><tr><td>凍結融解後のCBR</td><td>10 以上</td><td>5 以上</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">粒度</td><td>切込砕石</td><td colspan="3">75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下</td></tr><tr><td>切込砂利</td><td colspan="3">75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下</td></tr></table><p>また、上表に加え盛土工A1、A2、A3、A4に使用する材料は、NEXCO試験法の「土の凍上試験（試験法112）」と「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」の両方を実施し、その試験結果がNEXCO試験法においては凍結様式1で凍上率5%未満かつ、JGS試験法の結果で凍上速度0.1mm/h未満の非凍上性の材料とする。なお、これらの試験に要する費用は関連する単価項目に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。</p><p>(2) 盛土工A5に使用する材料は、共通仕様書2-7-2「材料」及び下表に示す規定に適合する材料とする。</p><table><tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="4">材料の品質</th></tr><tr><th colspan="4">盛土工A5</th></tr><tr><td>最大寸法（mm）</td><td colspan="4">300 以下</td></tr><tr><td>凍結融解後のCBR</td><td colspan="4">—</td></tr><tr><td rowspan="2">粒度</td><td>切込砕石</td><td colspan="3">75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下</td></tr><tr><td>切込砂利</td><td colspan="3">75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下</td></tr></table></div> <div>16</div>	名称	数量	設置場所	設置期間	泥落し装置（乾式） （全輪）	1 基	おろひ工事用道路出入口付近	各設置場所における土運搬期間中	1 基	村道おろひ側資機工事用道路出入口付近	1 基	一級沢尻置場出入口付近	項目	材料の品質				盛土工A1	盛土工A2	盛土工A3、盛土工A4		最大寸法（mm）	100 以下	150 以下	300 以下		凍結融解後のCBR	10 以上	5 以上	—		粒度	切込砕石	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下			切込砂利	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下			項目	材料の品質				盛土工A5				最大寸法（mm）	300 以下				凍結融解後のCBR	—				粒度	切込砕石	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下			切込砂利	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下		
名称	数量	設置場所	設置期間																																																																																																																																							
泥落し装置（乾式） （全輪）	1 基	おろひ工事用道路出入口付近	各設置場所における土運搬期間中																																																																																																																																							
	1 基	村道おろひ側資機工事用道路出入口付近																																																																																																																																								
	1 基	一級沢尻置場出入口付近																																																																																																																																								
項目	材料の品質																																																																																																																																									
	盛土工A1	盛土工A2	盛土工A3、盛土工A5																																																																																																																																							
最大寸法（mm）	100 以下	150 以下	300 以下																																																																																																																																							
凍結融解後のCBR	10 以上	5 以上	—																																																																																																																																							
粒度	切込砕石	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下																																																																																																																																								
	切込砂利	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下																																																																																																																																								
項目	材料の品質																																																																																																																																									
	盛土工A4																																																																																																																																									
最大寸法（mm）	300 以下																																																																																																																																									
凍結融解後のCBR	—																																																																																																																																									
粒度	切込砕石	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下																																																																																																																																								
	切込砂利	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下																																																																																																																																								
名称	数量	設置場所	設置期間																																																																																																																																							
泥落し装置（乾式） （全輪）	1 基	おろひ工事用道路出入口付近	各設置場所における土運搬期間中																																																																																																																																							
	1 基	村道おろひ側資機工事用道路出入口付近																																																																																																																																								
	1 基	一級沢尻置場出入口付近																																																																																																																																								
項目	材料の品質																																																																																																																																									
	盛土工A1	盛土工A2	盛土工A3、盛土工A4																																																																																																																																							
最大寸法（mm）	100 以下	150 以下	300 以下																																																																																																																																							
凍結融解後のCBR	10 以上	5 以上	—																																																																																																																																							
粒度	切込砕石	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下																																																																																																																																								
	切込砂利	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下																																																																																																																																								
項目	材料の品質																																																																																																																																									
	盛土工A5																																																																																																																																									
最大寸法（mm）	300 以下																																																																																																																																									
凍結融解後のCBR	—																																																																																																																																									
粒度	切込砕石	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の15%以下																																																																																																																																								
	切込砂利	75μmふるい通過重量が4.75mm通過重量の9%以下																																																																																																																																								

正誤表(9)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

<div>修正箇所</div> <div>特記仕様書 19-1 発生する残 存物件と引 渡し方法</div>	<div>誤</div> <div>正</div>	<div><div>正誤区分</div><div>18. 支給材料及び貸与品に関する事項</div><div>18-1 貸与品</div><div>契約書第15条第1項に基づく貸与品は、下表のとおりとし、設計図書に定められた使用目的以外に機械を使用してはならない。</div><table><tr><th>品名</th><th>品質（規格）</th><th>数量</th><th>引渡し場所及び引渡し時期</th><th>貸与期間</th></tr><tr><td>標識車</td><td>2t</td><td>1台</td><td>帯広管理事務所</td><td rowspan="2">工事期間中</td></tr><tr><td>交通規制標識類</td><td>高速道路の交通規制に必要な数量</td><td>1式</td><td>必要の都度</td></tr></table><div>18-2 貸与品に関する費用</div><div>貸与品の使用は無償とする。なお、機械の運転に要する燃料、油断、現場修理及び管理に要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</div><div>また、受注者の責によらない事由により、規制機材等の貸与が受けられない場合は、監督員と受注者とで協議し定めるものとする。</div><div>19. 残存物件の処理に関する事項</div><div>19-1 発生する残存物件と引渡し方法</div><div>本工事で発生する残存物件及び引渡し方法等は下表のとおりとする。なお、残存物件を引渡す場合は、残存物件調査（様式-6）を提出するとともに、その数量の確認を受けるものとする。</div><table><tr><th>品名</th><th>規格等</th><th>単位</th><th>数量</th><th>処理方法</th></tr><tr><td rowspan="4">ふとんかご 用・排水構造物</td><td>1.2m・0.5m・2.0m・13cm</td><td>枚</td><td>5</td><td>発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所</td></tr><tr><td>PdL・0.30・0.30</td><td>m</td><td>241</td><td>発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所</td></tr><tr><td>PdL・0.60・0.60</td><td>m</td><td>97</td><td>発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所</td></tr><tr><td>PdL(A)・0.80・0.80</td><td>m</td><td>48</td><td>発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所</td></tr><tr><td>立入防止柵</td><td>S4 (I) (C)</td><td>m</td><td>413</td><td>発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所</td></tr><tr><td>立入防止柵の出入り口</td><td>S4 (I) (C)</td><td>箇所</td><td>3</td><td>発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所</td></tr><tr><td>立入禁止板</td><td>アルミ板 600×450×0.5</td><td>枚</td><td>3</td><td>発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所</td></tr><tr><td>門扉</td><td>門柱 1150×150×4.5 鋼柱 175×75×3.2</td><td>箇所</td><td>1</td><td>発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所</td></tr></table><div>18</div><div>19. 残存物件の売却処分について</div><div>監督員の指示により、本特記仕様書19-1で示した残存物件について受注者による売却処分を追加する場合がある。この場合は、受注者はその指示に従うものとし、残存物件の売却額については監督員と受注者とで協議し定めるものとする。</div><div>20. 保安に関する事項</div><div>20-1 工事用車両の運行速度</div><div>一般道の入道連用区域等や高速道路上における運行速度は、法定速度若しくは規制速度を遵守するとともに、過積載の防止等法令を遵守するものとする。</div><div>20-2 標識等の設置</div><div>共通仕様書1-25-1「安全対策」に規定する安全対策を実施するにあたっては、必要とする箇所及び期間において、工事標示板、標識等の交通安全施設を設置するものとする。</div><div>また、現道を横断する場合や迂回路を設ける場合等は、堅固なバリケード、保安灯等により交通車両及び一般通行者の転落を未然に防止する措置を講ずるものとする。</div><div>また、高速道路本線における交通規制内の路上作業関係者に対し、危険車両等の誘入による事故を防止するため、交通規制ゲート一部に設置する矢印板においては高輝度反射式、危険車両が接近した際の規制内作業員への警告として用いる警報機付安全旗、大音量電子ホイッスル、交通規制内の工事箇所手前に進入車両強制停止装置等の交通安全対策施設を設置等の措置を講ずるものとする。</div><div>なお、これらに要する費用は関連項目の契約単価に含むものとし別途支払いを行わないものとする。</div><div>19</div></div>	品名	品質（規格）	数量	引渡し場所及び引渡し時期	貸与期間	標識車	2t	1台	帯広管理事務所	工事期間中	交通規制標識類	高速道路の交通規制に必要な数量	1式	必要の都度	品名	規格等	単位	数量	処理方法	ふとんかご 用・排水構造物	1.2m・0.5m・2.0m・13cm	枚	5	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所	PdL・0.30・0.30	m	241	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所	PdL・0.60・0.60	m	97	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所	PdL(A)・0.80・0.80	m	48	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所	立入防止柵	S4 (I) (C)	m	413	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所	立入防止柵の出入り口	S4 (I) (C)	箇所	3	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所	立入禁止板	アルミ板 600×450×0.5	枚	3	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所	門扉	門柱 1150×150×4.5 鋼柱 175×75×3.2	箇所	1	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所
品名	品質（規格）	数量	引渡し場所及び引渡し時期	貸与期間																																																						
標識車	2t	1台	帯広管理事務所	工事期間中																																																						
交通規制標識類	高速道路の交通規制に必要な数量	1式	必要の都度																																																							
品名	規格等	単位	数量	処理方法																																																						
ふとんかご 用・排水構造物	1.2m・0.5m・2.0m・13cm	枚	5	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所																																																						
	PdL・0.30・0.30	m	241	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所																																																						
	PdL・0.60・0.60	m	97	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所																																																						
	PdL(A)・0.80・0.80	m	48	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所																																																						
立入防止柵	S4 (I) (C)	m	413	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所																																																						
立入防止柵の出入り口	S4 (I) (C)	箇所	3	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所																																																						
立入禁止板	アルミ板 600×450×0.5	枚	3	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所																																																						
門扉	門柱 1150×150×4.5 鋼柱 175×75×3.2	箇所	1	発注者に引渡し 引渡し箇所は工事施工箇所																																																						

正誤表(10)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所		正誤区分																													
特記仕様書 2 2 - 2 再生資材の 使用	<div data-bbox="344 707 376 741">誤</div> <div data-bbox="699 360 1176 432"><p>の単価を含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p><p>(2) 上記の対策を講じたにもかかわらず、工事中に著しい騒音等の発生により防音設備の変更及び追加等の特別な対策が必要であると監督員が認めた場合は、これに要する費用について監督員と受注者とで協議し定めるものとする。</p></div> <div data-bbox="681 456 1176 528"><p>2 1 - 9 環境保全に関する費用</p><p>環境保全に関する事項のうち、本特記仕様書に定める観測、対策工等（2 1 - 5 に定める六価クロム溶出試験）に要する費用以外は、関連する単価表の項目の単価を含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p></div> <div data-bbox="681 551 1176 716"><p>2 2. 再生資源及び建設副産物に関する事項</p><p>2 2 - 1 再生資源利用計画書等の様式について</p><p>共通仕様書 1 - 2 8 - 2 「再生資源、建設副産物及び特定建設資材」（１）及び（２）に示す再生資源利用計画書等の様式は共通仕様書の規定にかかわらず建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）によるものとし、COBRIS登録に要する費用は受注者の負担とする。</p><p>ただし、やむを得ない事由によりCOBRISの使用ができないと監督員が認めた場合は、国土交通省のリサイクルホームページの建設リサイクル報告様式によることができるものとする。</p></div> <div data-bbox="681 741 1176 1077"><p>2 2 - 2 再生資材の使用</p><p>(1) 再生資材は、下表に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>再生資材の種類</th><th>数量</th><th>単位</th><th>適用指針等</th></tr><tr><td>4 - (16) 裏込め砕石</td><td>再生クラッシャーラン</td><td>約 40</td><td>m3</td><td></td></tr><tr><td>4 - (17) 基礎工</td><td>再生クラッシャーラン</td><td>約 2</td><td>m3</td><td></td></tr><tr><td>1 8 - (3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t = 2 0 c m) R</td><td>再生クラッシャーラン</td><td>約 940</td><td>m3</td><td>舗装再生便覧 ((社) 日本道路協会)</td></tr></table><p>(2) 受注者は前項(1)に示す再生資材の施工にあたっては、その都度、再資源化施設に品質及び供給可能量の照会（様式 - 7）を行うものとする。なお、照会にあたっては、次の手順で再資源化施設等を選定するものとする。</p><p>イ) 再生骨材等及び再生加熱アスファルト混合物にあつては、当該工事現場から概ね4 0 k mの範囲内（再生加熱アスファルト混合物は、更に運搬時間が1 . 5 時間の範囲内）の再資源化施設とする。</p><p>ロ) 上記範囲内に複数の再資源化施設等がある場合は、運搬距離の近い順に品質証明ができ</p></div> <div data-bbox="919 1088 933 1102">25</div>	単価表の項目	再生資材の種類	数量	単位	適用指針等	4 - (16) 裏込め砕石	再生クラッシャーラン	約 40	m3		4 - (17) 基礎工	再生クラッシャーラン	約 2	m3		1 8 - (3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t = 2 0 c m) R	再生クラッシャーラン	約 940	m3	舗装再生便覧 ((社) 日本道路協会)	正誤区分									
	単価表の項目	再生資材の種類	数量	単位	適用指針等																										
4 - (16) 裏込め砕石	再生クラッシャーラン	約 40	m3																												
4 - (17) 基礎工	再生クラッシャーラン	約 2	m3																												
1 8 - (3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工 (t = 2 0 c m) R	再生クラッシャーラン	約 940	m3	舗装再生便覧 ((社) 日本道路協会)																											
	<div data-bbox="344 1585 376 1619">正</div> <div data-bbox="699 1214 1176 1285"><p>する。</p><p>(4) トンネル掘削等により生ずる汚濁水は、関係法令に従って処理を行った後、放流するものとする。なお、受注者は汚濁水の処理方法について記載した計画書を監督員に提出するものとする。</p></div> <div data-bbox="681 1308 1176 1473"><p>2 1 - 8 騒音及び振動の防止</p><p>(1) 受注者は、本坑掘削に伴う騒音対策として、ホロカトマムトンネル起点側坑口部付近に防音設備（防音扉）を設置するものとし、防音設備の計画書及び施工方法について記載した施工計画書を監督員に提出しなければならない。この防音設備の設置に要する費用は、関連する単価表の項目の単価を含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p><p>(2) 上記の対策を講じたにもかかわらず、工事中に著しい騒音等の発生により防音設備の変更及び追加等の特別な対策が必要であると監督員が認めた場合は、これに要する費用について監督員と受注者とで協議し定めるものとする。</p></div> <div data-bbox="681 1498 1176 1572"><p>2 1 - 9 環境保全に関する費用</p><p>環境保全に関する事項のうち、本特記仕様書に定める観測、対策工等（2 1 - 5 に定める六価クロム溶出試験）に要する費用以外は、関連する単価表の項目の単価を含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p></div> <div data-bbox="681 1594 1176 1776"><p>2 2. 再生資源及び建設副産物に関する事項</p><p>2 2 - 1 再生資源利用計画書等の様式について</p><p>共通仕様書 1 - 2 8 - 2 「再生資源、建設副産物及び特定建設資材」（１）及び（２）に示す再生資源利用計画書等の様式は共通仕様書の規定にかかわらず建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という。）によるものとし、COBRIS登録に要する費用は受注者の負担とする。</p><p>ただし、やむを得ない事由によりCOBRISの使用ができないと監督員が認めた場合は、国土交通省のリサイクルホームページの建設リサイクル報告様式によることができるものとする。</p></div> <div data-bbox="681 1798 1176 1984"><p>2 2 - 2 再生資材の使用</p><p>(1) 再生資材は、下表に示す単価表の項目の単価を構成する材料に使用するものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>再生資材の種類</th><th>数量</th><th>単位</th><th>適用指針等</th></tr><tr><td>2 - (8) 基礎材</td><td>再生クラッシャーラン</td><td>約 5</td><td>m3</td><td></td></tr><tr><td>4 - (16) 裏込め砕石</td><td>再生クラッシャーラン</td><td>約 40</td><td>m3</td><td></td></tr><tr><td>4 - (17) 基礎工</td><td>再生クラッシャーラン</td><td>約 2</td><td>m3</td><td></td></tr><tr><td>5 - (3) 集水ます</td><td>再生クラッシャーラン</td><td>約 3</td><td>m3</td><td></td></tr><tr><td>1 8 - (3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工</td><td>再生クラッシャーラン</td><td>約 940</td><td>m3</td><td>舗装再生便覧 ((社) 日本道</td></tr></table></div> <div data-bbox="909 1993 925 2007">25</div>	単価表の項目	再生資材の種類	数量	単位	適用指針等	2 - (8) 基礎材	再生クラッシャーラン	約 5	m3		4 - (16) 裏込め砕石	再生クラッシャーラン	約 40	m3		4 - (17) 基礎工	再生クラッシャーラン	約 2	m3		5 - (3) 集水ます	再生クラッシャーラン	約 3	m3		1 8 - (3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工	再生クラッシャーラン	約 940	m3	舗装再生便覧 ((社) 日本道
単価表の項目	再生資材の種類	数量	単位	適用指針等																											
2 - (8) 基礎材	再生クラッシャーラン	約 5	m3																												
4 - (16) 裏込め砕石	再生クラッシャーラン	約 40	m3																												
4 - (17) 基礎工	再生クラッシャーラン	約 2	m3																												
5 - (3) 集水ます	再生クラッシャーラン	約 3	m3																												
1 8 - (3) 簡易舗装工 切込砕石路盤工	再生クラッシャーラン	約 940	m3	舗装再生便覧 ((社) 日本道																											

正誤表(11)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所		正誤区分																																													
特記仕様書 2 2 - 3 建設副産物の 活用等	誤	<p>る 3 施設程度とする。</p> <p>(3) 受注者は前項(1)に示す再生クラッシャーランについて、使用用途に応じた品質が満足されない場合は監督員へ報告しなければならない。この場合において監督員が必要であると認めて材料の変更等を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用については、監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p> <p>2 2 - 3 建設副産物の活用等</p> <p>(1) 共通仕様書 1 - 2 8 の規定に基づき指定する建設副産物の取扱いは、下表のとおりとする。</p> <table><tr><th>建設副産物</th><th>発生場所</th><th>数量</th><th>活用方法等</th></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>コンクリート取壊し 鏡吹付コンクリート</td><td>約 5,100 t</td><td>再資源化施設へ搬出 (有償)</td></tr><tr><td>アスファルト・ コンクリート塊</td><td>STA. 879+20 付近 工事用道路(道道取付部) 舗装版取壊し</td><td>約 30 t</td><td>再資源化施設へ搬出 (有償)</td></tr><tr><td>廃プラスチック</td><td>STA. 901+40 付近 用排水構造物撤去</td><td>約 0.1 t</td><td>再資源化施設へ搬出 (有償)</td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>伐採箇所</td><td>—</td><td>再資源化施設へ搬出 (有償)</td></tr><tr><td>建設汚泥</td><td>濁水処理施設</td><td>—</td><td>本線盛土場</td></tr><tr><td>発生土砂</td><td>—</td><td>—</td><td>本特記仕様書 6 - 1 自 工区外盛土場による</td></tr></table> <p>(2) 再資源化(最終処分)をする施設の名称及び所在地</p> <table><tr><th>建設副産物</th><th>施設の名称</th><th>所在地</th><th>受入条件</th></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>南砂利工業株式会社</td><td>富良野市字山部 東 23 線 2566 番 7</td><td>日曜日不可(土曜日、祝日可) 8:00~18:00 30 cm 以下で受入可</td></tr><tr><td>アスファルト・ コンクリート塊</td><td>北清ふらの(株)</td><td>富良野市字山部 西 12 線 2618 番 2</td><td>日曜日、第 2,4 土曜日不可 8:00~17:00(昼休み 12:00 ~13:00 は受入不可)</td></tr><tr><td>廃プラスチック</td><td>北清ふらの(株)</td><td>富良野市字山部 西 12 線 2618 番 2</td><td>日曜日、第 2,4 土曜日不可 8:00~17:00(昼休み 12:00 ~13:00 は受入不可)</td></tr></table> <p>記載している事項については精算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。 なお、受注者が提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。</p> <p>(3) 建設発生木材、建設汚泥は数量が未確定なため、その処理と費用については監督員と受注者で別途協議し定めるものとする。</p> <p>(4) トンネル掘削等により生ずる濁水を処理した後の汚泥については、関連法令等に従い適切に</p> <p>26</p>		建設副産物	発生場所	数量	活用方法等	コンクリート塊	コンクリート取壊し 鏡吹付コンクリート	約 5,100 t	再資源化施設へ搬出 (有償)	アスファルト・ コンクリート塊	STA. 879+20 付近 工事用道路(道道取付部) 舗装版取壊し	約 30 t	再資源化施設へ搬出 (有償)	廃プラスチック	STA. 901+40 付近 用排水構造物撤去	約 0.1 t	再資源化施設へ搬出 (有償)	建設発生木材	伐採箇所	—	再資源化施設へ搬出 (有償)	建設汚泥	濁水処理施設	—	本線盛土場	発生土砂	—	—	本特記仕様書 6 - 1 自 工区外盛土場による	建設副産物	施設の名称	所在地	受入条件	コンクリート塊	南砂利工業株式会社	富良野市字山部 東 23 線 2566 番 7	日曜日不可(土曜日、祝日可) 8:00~18:00 30 cm 以下で受入可	アスファルト・ コンクリート塊	北清ふらの(株)	富良野市字山部 西 12 線 2618 番 2	日曜日、第 2,4 土曜日不可 8:00~17:00(昼休み 12:00 ~13:00 は受入不可)	廃プラスチック	北清ふらの(株)	富良野市字山部 西 12 線 2618 番 2	日曜日、第 2,4 土曜日不可 8:00~17:00(昼休み 12:00 ~13:00 は受入不可)
	建設副産物	発生場所	数量	活用方法等																																											
コンクリート塊	コンクリート取壊し 鏡吹付コンクリート	約 5,100 t	再資源化施設へ搬出 (有償)																																												
アスファルト・ コンクリート塊	STA. 879+20 付近 工事用道路(道道取付部) 舗装版取壊し	約 30 t	再資源化施設へ搬出 (有償)																																												
廃プラスチック	STA. 901+40 付近 用排水構造物撤去	約 0.1 t	再資源化施設へ搬出 (有償)																																												
建設発生木材	伐採箇所	—	再資源化施設へ搬出 (有償)																																												
建設汚泥	濁水処理施設	—	本線盛土場																																												
発生土砂	—	—	本特記仕様書 6 - 1 自 工区外盛土場による																																												
建設副産物	施設の名称	所在地	受入条件																																												
コンクリート塊	南砂利工業株式会社	富良野市字山部 東 23 線 2566 番 7	日曜日不可(土曜日、祝日可) 8:00~18:00 30 cm 以下で受入可																																												
アスファルト・ コンクリート塊	北清ふらの(株)	富良野市字山部 西 12 線 2618 番 2	日曜日、第 2,4 土曜日不可 8:00~17:00(昼休み 12:00 ~13:00 は受入不可)																																												
廃プラスチック	北清ふらの(株)	富良野市字山部 西 12 線 2618 番 2	日曜日、第 2,4 土曜日不可 8:00~17:00(昼休み 12:00 ~13:00 は受入不可)																																												
	正	<table><tr><td>(t - 2 0 c m) R</td><td></td><td></td><td>路協会)</td></tr></table> <p>(2) 受注者は前項(1)に示す再生資材の施工にあたっては、その都度、再資源化施設に品質及び供給可能な量の照会(様式-7)を行うものとする。なお、照会にあたっては、次の手順で再資源化施設等を選定するものとする。</p> <p>イ) 再生骨材等及び再生加熱アスファルト混合物にあつては、当該工事現場から概ね 4 0 k m の範囲内(再生加熱アスファルト混合物は、更に運搬距離が 1 . 5 時間の範囲内)の再資源化施設とする。</p> <p>ロ) 上記範囲内に複数の再資源化施設等がある場合は、運搬距離の近い順に品質証明ができる 3 施設程度とする。</p> <p>(3) 受注者は前項(1)に示す再生クラッシャーランについて、使用用途に応じた品質が満足されない場合は監督員へ報告しなければならない。この場合において監督員が必要であると認めて材料の変更等を指示した場合、受注者はその指示に従うものとし、これらに要する費用については、監督員と受注者で協議し定めるものとする。</p> <p>2 2 - 3 建設副産物の活用等</p> <p>(1) 共通仕様書 1 - 2 8 の規定に基づき指定する建設副産物の取扱いは、下表のとおりとする。</p> <table><tr><th>建設副産物</th><th>発生場所</th><th>数量</th><th>活用方法等</th></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>コンクリート取壊し 鏡吹付コンクリート</td><td>約 5,100 t</td><td>再資源化施設へ搬出 (有償)</td></tr><tr><td>アスファルト・ コンクリート塊</td><td>STA. 879+20 付近 工事用道路(道道取付部) 舗装版取壊し</td><td>約 30 t</td><td>再資源化施設へ搬出 (有償)</td></tr><tr><td>廃プラスチック</td><td>STA. 901+40 付近 用排水構造物撤去 村道ホロカ幾寅線工事用 道路 大型土のう袋</td><td>約 0.3 t</td><td>再資源化施設へ搬出 (有償)</td></tr><tr><td>建設発生木材</td><td>伐採箇所</td><td>—</td><td>再資源化施設へ搬出 (有償)</td></tr><tr><td>建設汚泥</td><td>濁水処理施設</td><td>—</td><td>本線盛土場</td></tr><tr><td>発生土砂</td><td>—</td><td>—</td><td>本特記仕様書 6 - 1 自 工区外盛土場による</td></tr></table> <p>(2) 再資源化(最終処分)をする施設の名称及び所在地</p> <table><tr><th>建設副産物</th><th>施設の名称</th><th>所在地</th><th>受入条件</th></tr><tr><td>コンクリート塊</td><td>南砂利工業株式会社</td><td>富良野市字山部 東 23 線 2566 番 7</td><td>日曜日不可(土曜日、祝日可) 8:00~18:00 30 cm 以下で受入可</td></tr></table> <p>26</p>		(t - 2 0 c m) R			路協会)	建設副産物	発生場所	数量	活用方法等	コンクリート塊	コンクリート取壊し 鏡吹付コンクリート	約 5,100 t	再資源化施設へ搬出 (有償)	アスファルト・ コンクリート塊	STA. 879+20 付近 工事用道路(道道取付部) 舗装版取壊し	約 30 t	再資源化施設へ搬出 (有償)	廃プラスチック	STA. 901+40 付近 用排水構造物撤去 村道ホロカ幾寅線工事用 道路 大型土のう袋	約 0.3 t	再資源化施設へ搬出 (有償)	建設発生木材	伐採箇所	—	再資源化施設へ搬出 (有償)	建設汚泥	濁水処理施設	—	本線盛土場	発生土砂	—	—	本特記仕様書 6 - 1 自 工区外盛土場による	建設副産物	施設の名称	所在地	受入条件	コンクリート塊	南砂利工業株式会社	富良野市字山部 東 23 線 2566 番 7	日曜日不可(土曜日、祝日可) 8:00~18:00 30 cm 以下で受入可				
(t - 2 0 c m) R			路協会)																																												
建設副産物	発生場所	数量	活用方法等																																												
コンクリート塊	コンクリート取壊し 鏡吹付コンクリート	約 5,100 t	再資源化施設へ搬出 (有償)																																												
アスファルト・ コンクリート塊	STA. 879+20 付近 工事用道路(道道取付部) 舗装版取壊し	約 30 t	再資源化施設へ搬出 (有償)																																												
廃プラスチック	STA. 901+40 付近 用排水構造物撤去 村道ホロカ幾寅線工事用 道路 大型土のう袋	約 0.3 t	再資源化施設へ搬出 (有償)																																												
建設発生木材	伐採箇所	—	再資源化施設へ搬出 (有償)																																												
建設汚泥	濁水処理施設	—	本線盛土場																																												
発生土砂	—	—	本特記仕様書 6 - 1 自 工区外盛土場による																																												
建設副産物	施設の名称	所在地	受入条件																																												
コンクリート塊	南砂利工業株式会社	富良野市字山部 東 23 線 2566 番 7	日曜日不可(土曜日、祝日可) 8:00~18:00 30 cm 以下で受入可																																												

正誤表(12)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分																
<p>特記仕様書 29-2-1 道路掘削、捨 土掘削</p>	<p>29. 工事細部に関する事項 29-1 施工計画書 共通仕様書1-20-1「施工計画書の提出」に次を追加する。 【光通信ケーブル等損傷事故防止の対策】</p> <p>29-2 土工 29-2-1 道路掘削、捨土掘削 (1) 種別 道路掘削及び捨土掘削の単価表の項目の種別及び作業内容は、共通仕様書2-6-1「定義」に示す他、次表のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路掘削 土砂 A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部及びホロカトマム工事用道路路体部、占冠PA工事用道路への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>道路掘削 土砂(表土) A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>道路掘削 軟岩 A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(軟岩)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所路体部及びホロカトマム工事用道路路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>捨土掘削 土砂 A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>捨土掘削 土砂(表土) A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマムトンネル工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>捨土掘削 軟岩 A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマムトンネル工事用道路における軟岩の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>捨土掘削 軟岩 B</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における軟岩の掘削、積込み 2) 下マム地区盛土場への運搬 3) 含水量の調節</td></tr> </tbody> </table> <p>※区分内容に記載する土砂の土質区分は「土砂E」相当、土砂(表土)の土質区分は「土砂E」相当、軟岩の岩質区分は「軟岩A」相当とする。</p> <p>32</p>	単価表の項目	区分内容	道路掘削 土砂 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部及びホロカトマム工事用道路路体部、占冠PA工事用道路への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節	道路掘削 土砂(表土) A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節	道路掘削 軟岩 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(軟岩)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所路体部及びホロカトマム工事用道路路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節	捨土掘削 土砂 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節	捨土掘削 土砂(表土) A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマムトンネル工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節	捨土掘削 軟岩 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマムトンネル工事用道路における軟岩の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節	捨土掘削 軟岩 B	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における軟岩の掘削、積込み 2) 下マム地区盛土場への運搬 3) 含水量の調節
単価表の項目	区分内容																
道路掘削 土砂 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部及びホロカトマム工事用道路路体部、占冠PA工事用道路への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節																
道路掘削 土砂(表土) A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節																
道路掘削 軟岩 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(軟岩)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所路体部及びホロカトマム工事用道路路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節																
捨土掘削 土砂 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節																
捨土掘削 土砂(表土) A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマムトンネル工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節																
捨土掘削 軟岩 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマムトンネル工事用道路における軟岩の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節																
捨土掘削 軟岩 B	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における軟岩の掘削、積込み 2) 下マム地区盛土場への運搬 3) 含水量の調節																
	<p>28. 工事変更等検討会の設置 本工事は、工事の変更手続きの透明性及び公正性の向上や適正な工期確保を目的に、発注者と受注者が一堂に会して、工事の変更等の妥当性の審議及び工事工程クリティカルパス等の共有ならびにこれらに伴う工事中止等の判断を行う場として開催する「工事変更等検討会」の試行対象工事である。 「工事変更等検討会」の運用にあたっては、契約締結後、監督員より別途通知するものとする。</p> <p>29. 工事細部に関する事項 29-1 施工計画書 共通仕様書1-20-1「施工計画書の提出」に次を追加する。 【光通信ケーブル等損傷事故防止の対策】</p> <p>29-2 土工 29-2-1 道路掘削、捨土掘削 (1) 種別 道路掘削及び捨土掘削の単価表の項目の種別及び作業内容は、共通仕様書2-6-1「定義」に示す他、次表のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路掘削 土砂 A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部及びホロカトマム工事用道路路体部、占冠PA工事用道路への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>道路掘削 土砂(表土) A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>道路掘削 軟岩 A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(軟岩)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所路体部、下部路床部、裏込め工部、被覆土部及びホロカトマム工事用道路路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>捨土掘削 土砂 A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節</td></tr> <tr> <td>捨土掘削 土砂(表土) A</td><td>1) 本線掘削箇所及びホロカトマムトンネル工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節</td></tr> </tbody> </table> <p>32</p>	単価表の項目	区分内容	道路掘削 土砂 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部及びホロカトマム工事用道路路体部、占冠PA工事用道路への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節	道路掘削 土砂(表土) A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節	道路掘削 軟岩 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(軟岩)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所路体部、下部路床部、裏込め工部、被覆土部及びホロカトマム工事用道路路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節	捨土掘削 土砂 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節	捨土掘削 土砂(表土) A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマムトンネル工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節				
単価表の項目	区分内容																
道路掘削 土砂 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部及びホロカトマム工事用道路路体部、占冠PA工事用道路への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節																
道路掘削 土砂(表土) A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所下部路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節																
道路掘削 軟岩 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂(軟岩)の掘削、積込み 2) 本線盛土箇所路体部、下部路床部、裏込め工部、被覆土部及びホロカトマム工事用道路路体部への運搬、敷均し、締固め 3) 含水量の調節																
捨土掘削 土砂 A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマム工事用道路における土砂の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節																
捨土掘削 土砂(表土) A	1) 本線掘削箇所及びホロカトマムトンネル工事用道路における土砂(表土)の掘削、積込み 2) 占冠地区盛土場への運搬、敷均し 3) 含水量の調節																

正誤表(13)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																																									
誤		<p>29-4-7 ふとんかご工</p> <p>(1) ふとんかご工の単価表の項目の種別は、共通仕様書 4-2-2-1「定義」に示す他、以下のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>区分内容</th></tr><tr><td>1. 2m・0.5m・2.0m・1.3cm</td><td>ふとんかご工に使用するふとんかごの寸法は、1.2m、厚さ0.5m、長さ2.0m、網目1.3cm、網径φ4mmとする。</td></tr></table> <p>(2) 支払 共通仕様書 4-2-2-5「支払」に下記の項目を追加する。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>4-(19) ふとんかご工</td><td>枚</td></tr><tr><td>1. 2m・0.5m・2.0m・1.3cm</td><td></td></tr></table> <p>29-5 用・排水構造物工</p> <p>29-5-1 用・排水溝</p> <p>(1) 種別 共通仕様書 5-4 に規定する用・排水溝の種別に下記を追加する。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>内 容</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>P u L (A)・0.70・0.70</td><td>大型プレキャストコンクリートU型側溝</td><td></td></tr><tr><td>D v-P (C o r)・φD</td><td>タテ溝(高密度ポリエチレン付管)</td><td>接続部防護コンクリート含む</td></tr></table> <p>(2) 支払 共通仕様書 5-4-5「支払」に下記の項目を追加する。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>5-(1) 用・排水溝</td><td></td></tr><tr><td>P u L (A)・0.70・0.70</td><td>m</td></tr><tr><td>D v-P (C o r)・φD</td><td>m</td></tr></table> <p>29-5-2 集水ます</p> <p>(1) 種別 共通仕様書 5-4-2 (4) 集水ますの種別に以下を追加する。</p>	単価表の項目	区分内容	1. 2m・0.5m・2.0m・1.3cm	ふとんかご工に使用するふとんかごの寸法は、1.2m、厚さ0.5m、長さ2.0m、網目1.3cm、網径φ4mmとする。	単価表の項目	検測の単位	4-(19) ふとんかご工	枚	1. 2m・0.5m・2.0m・1.3cm		単価表の項目	内 容	摘 要	P u L (A)・0.70・0.70	大型プレキャストコンクリートU型側溝		D v-P (C o r)・φD	タテ溝(高密度ポリエチレン付管)	接続部防護コンクリート含む	単価表の項目	検測の単位	5-(1) 用・排水溝		P u L (A)・0.70・0.70	m	D v-P (C o r)・φD	m		<table><tr><th>単価表の項目</th><th>設計図書に示す記号</th><th>標準コンクリート量又は用途</th></tr><tr><td>T y p e E</td><td>Dc²-0.60-0.60-1.50</td><td>0.98~1.36m³</td></tr><tr><td>T y p e L</td><td>Dc²(Sp)-1.20-1.20-1.30</td><td>1.43m³</td></tr><tr><td>T y p e M</td><td>Dc-S-0.80-0.80-1.90、Dc-S-0.80-0.80-2.20、Dc-S-0.80-0.80-2.30、Dc-S-0.80-0.80-2.60</td><td>1.72~2.34m³</td></tr><tr><td>T y p e N</td><td>Dco(E)-1.00-3.30-1.30S</td><td>油水分離ます</td></tr><tr><td>T y p e O-1</td><td>Dco(MF)-φ1.80-1.40</td><td>油水分離ます 処理能力18L/s</td></tr><tr><td>T y p e O-2</td><td>Dco(MF)-φ1.80-1.40</td><td>油水分離ます 処理能力30L/s</td></tr></table> <p>単価表の項目及び図面における末尾 (F) は基礎材有りを示す。</p> <p>(2) 支払 共通仕様書 5-4-5 に規定する単価表の項目に次を追加する。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>5-(3) 集水ます</td><td></td></tr><tr><td>T y p e L</td><td>箇所</td></tr><tr><td>T y p e M</td><td>箇所</td></tr><tr><td>T y p e N</td><td>箇所</td></tr><tr><td>T y p e O-1</td><td>箇所</td></tr><tr><td>T y p e O-2</td><td>箇所</td></tr></table> <p>29-5-3 集水ます改良工</p> <p>(1) 定義 集水ます改良工とは、既設集水ますを設計図書及び監督員の指示に従って、改良するものをいう。</p> <p>(2) 種別 集水ます改良工の種別は以下のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>内 容</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>A</td><td>既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの</td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>既設集水ますに新設管を接続するもの</td><td></td></tr></table> <p>(3) 材料 共通仕様書 5-4-1 のとおりとする。</p> <p>(4) 施工 共通仕様書 5-4-2 のとおりとする。</p> <p>(5) 数量の検測 集水ます改良工の検測は設計数量 (箇所) で行うものとする。</p>	単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量又は用途	T y p e E	Dc ² -0.60-0.60-1.50	0.98~1.36m ³	T y p e L	Dc ² (Sp)-1.20-1.20-1.30	1.43m ³	T y p e M	Dc-S-0.80-0.80-1.90、Dc-S-0.80-0.80-2.20、Dc-S-0.80-0.80-2.30、Dc-S-0.80-0.80-2.60	1.72~2.34m ³	T y p e N	Dco(E)-1.00-3.30-1.30S	油水分離ます	T y p e O-1	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力18L/s	T y p e O-2	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力30L/s	単価表の項目	検測の単位	5-(3) 集水ます		T y p e L	箇所	T y p e M	箇所	T y p e N	箇所	T y p e O-1	箇所	T y p e O-2	箇所	単価表の項目	内 容	摘 要	A	既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの		B	既設集水ますに新設管を接続するもの	
単価表の項目	区分内容																																																																										
1. 2m・0.5m・2.0m・1.3cm	ふとんかご工に使用するふとんかごの寸法は、1.2m、厚さ0.5m、長さ2.0m、網目1.3cm、網径φ4mmとする。																																																																										
単価表の項目	検測の単位																																																																										
4-(19) ふとんかご工	枚																																																																										
1. 2m・0.5m・2.0m・1.3cm																																																																											
単価表の項目	内 容	摘 要																																																																									
P u L (A)・0.70・0.70	大型プレキャストコンクリートU型側溝																																																																										
D v-P (C o r)・φD	タテ溝(高密度ポリエチレン付管)	接続部防護コンクリート含む																																																																									
単価表の項目	検測の単位																																																																										
5-(1) 用・排水溝																																																																											
P u L (A)・0.70・0.70	m																																																																										
D v-P (C o r)・φD	m																																																																										
単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量又は用途																																																																									
T y p e E	Dc ² -0.60-0.60-1.50	0.98~1.36m ³																																																																									
T y p e L	Dc ² (Sp)-1.20-1.20-1.30	1.43m ³																																																																									
T y p e M	Dc-S-0.80-0.80-1.90、Dc-S-0.80-0.80-2.20、Dc-S-0.80-0.80-2.30、Dc-S-0.80-0.80-2.60	1.72~2.34m ³																																																																									
T y p e N	Dco(E)-1.00-3.30-1.30S	油水分離ます																																																																									
T y p e O-1	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力18L/s																																																																									
T y p e O-2	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力30L/s																																																																									
単価表の項目	検測の単位																																																																										
5-(3) 集水ます																																																																											
T y p e L	箇所																																																																										
T y p e M	箇所																																																																										
T y p e N	箇所																																																																										
T y p e O-1	箇所																																																																										
T y p e O-2	箇所																																																																										
単価表の項目	内 容	摘 要																																																																									
A	既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの																																																																										
B	既設集水ますに新設管を接続するもの																																																																										
40																																																																											
正		<p>5-(1) 用・排水溝</p> <p>P u L (A)・0.70・0.70 m</p> <p>D v-P (C o r)・φD m</p> <p>29-5-2 集水ます</p> <p>(1) 種別 共通仕様書 5-4-2 (4) 集水ますの種別に以下を追加する。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>設計図書に示す記号</th><th>標準コンクリート量又は用途</th></tr><tr><td>T y p e E</td><td>Dc²-0.60-0.60-1.50</td><td>0.98~1.36m³</td></tr><tr><td>T y p e L</td><td>Dc²(Sp)-1.20-1.20-1.30</td><td>1.43m³</td></tr><tr><td>T y p e M</td><td>Dc-S-0.80-0.80-1.90、Dc-S-0.80-0.80-2.20、Dc-S-0.80-0.80-2.30、Dc-S-0.80-0.80-2.60</td><td>1.72~2.34m³</td></tr><tr><td>T y p e N</td><td>Dco(E)-1.00-3.30-1.30S</td><td>油水分離ます</td></tr><tr><td>T y p e O-1</td><td>Dco(MF)-φ1.80-1.40</td><td>油水分離ます 処理能力18L/s</td></tr></table> <p>単価表の項目及び図面における末尾 (F) は基礎材有りを示す。</p> <p>(2) 支払 共通仕様書 5-4-5 に規定する単価表の項目に次を追加する。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>5-(3) 集水ます</td><td></td></tr><tr><td>T y p e L</td><td>箇所</td></tr><tr><td>T y p e M</td><td>箇所</td></tr><tr><td>T y p e N</td><td>箇所</td></tr><tr><td>T y p e O-1</td><td>箇所</td></tr></table> <p>29-5-3 集水ます改良工</p> <p>(1) 定義 集水ます改良工とは、既設集水ますを設計図書及び監督員の指示に従って、改良するものをいう。</p> <p>(2) 種別 集水ます改良工の種別は以下のとおりとする。</p> <table><tr><th>単価表の項目</th><th>内 容</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>A</td><td>既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの</td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>既設集水ますに新設管を接続するもの</td><td></td></tr></table> <p>(3) 材料</p>	単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量又は用途	T y p e E	Dc ² -0.60-0.60-1.50	0.98~1.36m ³	T y p e L	Dc ² (Sp)-1.20-1.20-1.30	1.43m ³	T y p e M	Dc-S-0.80-0.80-1.90、Dc-S-0.80-0.80-2.20、Dc-S-0.80-0.80-2.30、Dc-S-0.80-0.80-2.60	1.72~2.34m ³	T y p e N	Dco(E)-1.00-3.30-1.30S	油水分離ます	T y p e O-1	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力18L/s	単価表の項目	検測の単位	5-(3) 集水ます		T y p e L	箇所	T y p e M	箇所	T y p e N	箇所	T y p e O-1	箇所	単価表の項目	内 容	摘 要	A	既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの		B	既設集水ますに新設管を接続するもの		40																																	
単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量又は用途																																																																									
T y p e E	Dc ² -0.60-0.60-1.50	0.98~1.36m ³																																																																									
T y p e L	Dc ² (Sp)-1.20-1.20-1.30	1.43m ³																																																																									
T y p e M	Dc-S-0.80-0.80-1.90、Dc-S-0.80-0.80-2.20、Dc-S-0.80-0.80-2.30、Dc-S-0.80-0.80-2.60	1.72~2.34m ³																																																																									
T y p e N	Dco(E)-1.00-3.30-1.30S	油水分離ます																																																																									
T y p e O-1	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力18L/s																																																																									
単価表の項目	検測の単位																																																																										
5-(3) 集水ます																																																																											
T y p e L	箇所																																																																										
T y p e M	箇所																																																																										
T y p e N	箇所																																																																										
T y p e O-1	箇所																																																																										
単価表の項目	内 容	摘 要																																																																									
A	既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの																																																																										
B	既設集水ますに新設管を接続するもの																																																																										

正誤表(14)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分																																																											
誤	<div><table><tr><th>単価表の項目</th><th>設計図書に示す記号</th><th>標準コンクリート量 又は用途</th></tr><tr><td>Type E</td><td>Dc-0.60-0.60-1.50</td><td>0.98~1.36m³</td></tr><tr><td>Type L</td><td>Dc(Sp)-1.20-1.20-1.30</td><td>1.43m³</td></tr><tr><td>Type M</td><td>Dc-S-0.80-0.80-1.90、 Dc-S-0.80-0.80-2.20、 Dc-S-0.80-0.80-2.30、 Dc-S-0.80-0.80-2.60</td><td>1.72~2.34m³</td></tr><tr><td>Type N</td><td>Dco(E)-1.00-3.30-1.30S</td><td>油水分離ます</td></tr><tr><td>Type O-1</td><td>Dco(MF)-φ1.80-1.40</td><td>油水分離ます 処理能力18L/s</td></tr><tr><td>Type O-2</td><td>Dco(MF)-φ1.80-1.40</td><td>油水分離ます 処理能力30L/s</td></tr></table><p>単価表の項目及び図面における末尾 (T) は基礎材有りを示す。</p><p>(2) 支払 共通仕様書 5-4-5 に規定する単価表の項目に次を追加する。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>5-(3)</td><td>集水ます</td></tr><tr><td>Type L</td><td>箇所</td></tr><tr><td>Type M</td><td>箇所</td></tr><tr><td>Type N</td><td>箇所</td></tr><tr><td>Type O-1</td><td>箇所</td></tr><tr><td>Type O-2</td><td>箇所</td></tr></table></div> <div><p>29-5-3 集水ます改良工</p><p>(1) 定義 集水ます改良工とは、既設集水ますを設計図書及び監督員の指示に従って、改良するものをいう。</p><p>(2) 検測 集水ます改良工の検測は以下のとおりとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>内 容</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>A</td><td>既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの</td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>既設集水ますに新設管を接続するもの</td><td></td></tr></table><p>(3) 材料 共通仕様書 5-4-1 のとおりとする。</p><p>(4) 施工 共通仕様書 5-4-2 のとおりとする。</p><p>(5) 数量の検測 集水ます改良工の数量は設計数量 (箇所) で行うものとする。</p><p>40</p></div>		単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量 又は用途	Type E	Dc-0.60-0.60-1.50	0.98~1.36m ³	Type L	Dc(Sp)-1.20-1.20-1.30	1.43m ³	Type M	Dc-S-0.80-0.80-1.90、 Dc-S-0.80-0.80-2.20、 Dc-S-0.80-0.80-2.30、 Dc-S-0.80-0.80-2.60	1.72~2.34m ³	Type N	Dco(E)-1.00-3.30-1.30S	油水分離ます	Type O-1	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力18L/s	Type O-2	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力30L/s	単価表の項目	検測の単位	5-(3)	集水ます	Type L	箇所	Type M	箇所	Type N	箇所	Type O-1	箇所	Type O-2	箇所	単価表の項目	内 容	摘 要	A	既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの		B	既設集水ますに新設管を接続するもの															
単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量 又は用途																																																										
Type E	Dc-0.60-0.60-1.50	0.98~1.36m ³																																																										
Type L	Dc(Sp)-1.20-1.20-1.30	1.43m ³																																																										
Type M	Dc-S-0.80-0.80-1.90、 Dc-S-0.80-0.80-2.20、 Dc-S-0.80-0.80-2.30、 Dc-S-0.80-0.80-2.60	1.72~2.34m ³																																																										
Type N	Dco(E)-1.00-3.30-1.30S	油水分離ます																																																										
Type O-1	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力18L/s																																																										
Type O-2	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力30L/s																																																										
単価表の項目	検測の単位																																																											
5-(3)	集水ます																																																											
Type L	箇所																																																											
Type M	箇所																																																											
Type N	箇所																																																											
Type O-1	箇所																																																											
Type O-2	箇所																																																											
単価表の項目	内 容	摘 要																																																										
A	既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの																																																											
B	既設集水ますに新設管を接続するもの																																																											
<div><p>5-(1) 用・排水溝</p>$P u L (A) \cdot 0.70 \cdot 0.70$$D w = P (C o r) \cdot \phi D$<p>m</p><p>m</p></div> <div><p>29-5-2 集水ます</p><p>(1) 検測 共通仕様書 5-4-2 (4) 集水ますの検測に以下を追加する。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>設計図書に示す記号</th><th>標準コンクリート量 又は用途</th></tr><tr><td>Type E</td><td>Dc-0.60-0.60-1.50</td><td>0.98~1.36m³</td></tr><tr><td>Type L</td><td>Dc(Sp)-1.20-1.20-1.30</td><td>1.43m³</td></tr><tr><td>Type M</td><td>Dc-S-0.80-0.80-1.90、 Dc-S-0.80-0.80-2.20、 Dc-S-0.80-0.80-2.30、 Dc-S-0.80-0.80-2.60</td><td>1.72~2.34m³</td></tr><tr><td>Type N</td><td>Dco(E)-1.00-3.30-1.30S</td><td>油水分離ます</td></tr><tr><td>Type O-1</td><td>Dco(MF)-φ1.80-1.40</td><td>油水分離ます 処理能力18L/s</td></tr></table><p>単価表の項目及び図面における末尾 (F) は基礎材有りを示す。</p><p>(2) 支払 共通仕様書 5-4-5 に規定する単価表の項目に次を追加する。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>5-(3)</td><td>集水ます</td></tr><tr><td>Type L</td><td>箇所</td></tr><tr><td>Type M</td><td>箇所</td></tr><tr><td>Type N</td><td>箇所</td></tr><tr><td>Type O-1</td><td>箇所</td></tr></table></div> <div><p>29-5-3 集水ます改良工</p><p>(1) 定義 集水ます改良工とは、既設集水ますを設計図書及び監督員の指示に従って、改良するものをいう。</p><p>(2) 検測 集水ます改良工の検測は以下のとおりとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>内 容</th><th>摘 要</th></tr><tr><td>A</td><td>既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの</td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>既設集水ますに新設管を接続するもの</td><td></td></tr></table><p>(3) 材料</p><p>40</p></div>	単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量 又は用途	Type E	Dc-0.60-0.60-1.50	0.98~1.36m ³	Type L	Dc(Sp)-1.20-1.20-1.30	1.43m ³	Type M	Dc-S-0.80-0.80-1.90、 Dc-S-0.80-0.80-2.20、 Dc-S-0.80-0.80-2.30、 Dc-S-0.80-0.80-2.60	1.72~2.34m ³	Type N	Dco(E)-1.00-3.30-1.30S	油水分離ます	Type O-1	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力18L/s	単価表の項目	検測の単位	5-(3)	集水ます	Type L	箇所	Type M	箇所	Type N	箇所	Type O-1	箇所	単価表の項目	内 容	摘 要	A	既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの		B	既設集水ますに新設管を接続するもの		<div><p>(6) 支払 集水ます改良工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う既設集水ますの閉塞、取り壊し、新設管の接続等集水ます改良工に要する材料・労力・機械器具等本工事を実施するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特-(3)</td><td>集水ます改良工</td></tr><tr><td>A</td><td>箇所</td></tr><tr><td>B</td><td>箇所</td></tr></table></div> <div><p>29-5-4 流末処理工</p><p>(1) 定義 流末処理工Aとは、設計図書及び監督員の指示に従って河川護岸部に吐口及び洗堰防止鋼矢板を設置することをいう。</p><p>(2) 材料 流末処理工Aに使用する材料は、共通仕様書 5-4-1 による他、洗堰防止鋼矢板に用いる材料は新品とし下表のとおりとする。</p><table><tr><th>項目</th><th>材質</th><th>適用する規格等</th></tr><tr><td>鋼矢板(S P-II w型)</td><td>S Y 2 9 5</td><td>J I S A 5 5 2 8</td></tr></table><p>(3) 施工 流末処理工の施工は、共通仕様書 5-4-2 による他、洗堰防止鋼矢板の打設はパイプハンマーを用いるものとする。なお、受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め工事の変更を指示した場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者間で協議し定めるものとする。</p><p>(4) 数量の検測 流末処理工の検測は設計数量 (箇所) で行うものとする。</p><p>(5) 支払 流末処理工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、1箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う吐口まの設置、鋼矢板の打設等流末処理工の施工に要する材料、労力、機械器具等本工事を実施するために必要な費用で、諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特-(4)</td><td>流末処理工</td></tr><tr><td>A</td><td>箇所</td></tr></table></div>	単価表の項目	検測の単位	特-(3)	集水ます改良工	A	箇所	B	箇所	項目	材質	適用する規格等	鋼矢板(S P-II w型)	S Y 2 9 5	J I S A 5 5 2 8	単価表の項目	検測の単位	特-(4)	流末処理工	A	箇所
単価表の項目	設計図書に示す記号	標準コンクリート量 又は用途																																																										
Type E	Dc-0.60-0.60-1.50	0.98~1.36m ³																																																										
Type L	Dc(Sp)-1.20-1.20-1.30	1.43m ³																																																										
Type M	Dc-S-0.80-0.80-1.90、 Dc-S-0.80-0.80-2.20、 Dc-S-0.80-0.80-2.30、 Dc-S-0.80-0.80-2.60	1.72~2.34m ³																																																										
Type N	Dco(E)-1.00-3.30-1.30S	油水分離ます																																																										
Type O-1	Dco(MF)-φ1.80-1.40	油水分離ます 処理能力18L/s																																																										
単価表の項目	検測の単位																																																											
5-(3)	集水ます																																																											
Type L	箇所																																																											
Type M	箇所																																																											
Type N	箇所																																																											
Type O-1	箇所																																																											
単価表の項目	内 容	摘 要																																																										
A	既設集水ますに接続する既設管を閉塞するもの																																																											
B	既設集水ますに新設管を接続するもの																																																											
単価表の項目	検測の単位																																																											
特-(3)	集水ます改良工																																																											
A	箇所																																																											
B	箇所																																																											
項目	材質	適用する規格等																																																										
鋼矢板(S P-II w型)	S Y 2 9 5	J I S A 5 5 2 8																																																										
単価表の項目	検測の単位																																																											
特-(4)	流末処理工																																																											
A	箇所																																																											

正誤表(15)

修正箇所

正誤区分

特記仕様書
29-7-3
注入式長尺
鋼管先受工

誤

正

また、削孔は過大な推力により孔曲がり等を引き起こさないように留意するとともに、削孔水の過剰な使用は控え、スライムを含んだ戻り削孔水により切羽斜面や底盤を痛めることないように適切な排水処理に努めなければならない。

2) 注人工

注人工は注入に先立ち口元コーキングの状況等を確認し、注入材がリークや逸走することのないようにしなければならない。

また、注入方法及び注入管理の基準については次のとおりとする。

打設管の種類	注入速度	注入完了時の注入量又は注入圧
先行打設管 (奇数管)	5 ℓ/min	注入圧 (初期圧:2.5MPa) もしくは、設計注入量まで注入 設計注入量: 注人工 A: 585 ℓ/本 設計注入量: 注人工 B: 770 ℓ/本
後行打設管 (偶数管)		注入圧 (初期圧:0.5MPa) の場合は設計注入量の2倍 注入圧 (初期圧:0.5~2.5MPa) の場合は設計注入量まで 注入圧 (初期圧:2.5MPa) の場合は注入完了 設計注入量: 注人工 A: 585 ℓ/本 設計注入量: 注人工 B: 770 ℓ/本

(6) 数量の検測

注入式長尺鋼管先受工の数量の検測は打設工については設計数量 (本) で行い、注人工については注入量の仕上り数量 (ℓ) で行うものとする。

(7) 支払

注入式長尺鋼管先受工の打設工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1本当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う注入管 (鋼管) の打設の位置出し、注入管 (鋼管) の打設、戻り削孔水の排水処理等打設工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

注入式長尺鋼管先受工の注人工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1ℓ当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う口元のコーキング、注入材の注入、注入量の管理等注人工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
特 (6) 注入式長尺鋼管先受工	
打設工 (L=12.5m)	本
打設工 (L=6.5m)	本
注人工 (L=12.5m)	ℓ
注人工 (L=6.5m)	ℓ

49

また、削孔は過大な推力により孔曲がり等を引き起こさないように留意するとともに、削孔水の過剰な使用は控え、スライムを含んだ戻り削孔水により切羽斜面や底盤を痛めることないように適切な排水処理に努めなければならない。

2) 注人工

注人工は注入に先立ち口元コーキングの状況等を確認し、注入材がリークや逸走することのないようにしなければならない。

また、注入方法及び注入管理の基準については次のとおりとする。

打設管の種類	注入速度	注入完了時の注入量又は注入圧
先行打設管 (奇数管)	15 ℓ/min	注入圧 (初期圧:2.5MPa) もしくは、設計注入量まで注入 設計注入量: 注人工 (L=6.5m): 401 ℓ/本 設計注入量: 注人工 (L=12.5m): 770 ℓ/本
後行打設管 (偶数管)		注入圧 (初期圧:0.5MPa) の場合は設計注入量の2倍 注入圧 (初期圧:0.5~2.5MPa) の場合は設計注入量まで 注入圧 (初期圧:2.5MPa) の場合は注入完了 設計注入量: 注人工 (L=6.5m): 401 ℓ/本 設計注入量: 注人工 (L=12.5m): 770 ℓ/本

(6) 数量の検測

注入式長尺鋼管先受工の数量の検測は打設工については設計数量 (本) で行い、注人工については注入量の仕上り数量 (ℓ) で行うものとする。

(7) 支払

注入式長尺鋼管先受工の打設工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1本当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う注入管 (鋼管) の打設の位置出し、注入管 (鋼管) の打設、戻り削孔水の排水処理等打設工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

注入式長尺鋼管先受工の注人工の支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1ℓ当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う口元のコーキング、注入材の注入、注入量の管理等注人工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
特 (6) 注入式長尺鋼管先受工	
打設工 (L=12.5m)	本
打設工 (L=6.5m)	本
注人工 (L=12.5m)	ℓ
注人工 (L=6.5m)	ℓ

49

正誤表(16)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
<p>特記仕様書 29-7-4 ずり処理工</p>	<p>誤</p> <p>29-7-4 ずり処理工 (1) 種別</p> <p>ずり処理工の単価表の項目の種別は共通仕様書12-9-1に示すものの他、以下のとおりとする。</p> <p>ずり処理工A1 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から本線盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>ずり処理工A2 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から一線沢仮置場までの運搬、敷ならし、整形、積込み、本線盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>ずり処理工C1 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から下トマム盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>ずり処理工C2 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽からトマムIC盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の再資源化施設への運搬、処分</p> <p>ずり処理工C3 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から一線沢仮置場までの運搬、敷ならし、整形、積込み、下トマム盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>ずり処理工C4 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から一線沢仮置場までの運搬、敷ならし、整形、積込み、トマムIC盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>※鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別は、それぞれのずり搬出先(坑外ずり仮置き場、自工区外盛土場、本線盛土箇所等)において行うものとする。 なお、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬に要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>50</p>
	<p>正</p> <p>29-7-4 ずり処理工 (1) 種別</p> <p>ずり処理工の単価表の項目の種別は共通仕様書12-9-1に示すものの他、以下のとおりとする。</p> <p>ずり処理工A1 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から本線盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>ずり処理工A2 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から一線沢仮置場までの運搬、敷ならし、整形、積込み、本線盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>ずり処理工C1 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から下トマム盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>ずり処理工C2 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽からトマムIC盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の再資源化施設への運搬</p> <p>ずり処理工C3 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から一線沢仮置場までの運搬、敷ならし、整形、積込み、下トマム盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>ずり処理工C4 : トンネル掘削により生じたずりの掘削切羽から一線沢仮置場までの運搬、敷ならし、整形、積込み、トマムIC盛土場までの運搬、途中でずり積替えを行う場合はずり積替え位置での積込み、運搬、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬</p> <p>※鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別は、それぞれのずり搬出先(坑外ずり仮置き場、自工区外盛土場、本線盛土箇所等)において行うものとする。 なお、鏡吹付けコグラーの取壊しにより生じたコグラー塊の選別・再資源化施設への運搬に要する費用は、関連する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払は行わないものとする。</p> <p>50</p>

正誤表(17)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

特記仕様書
2 9 - 7 - 7
汚濁水処理
工

誤

また、計測器は計測終了後、夜間通行止め時に撤去を行うものとする。

(3) 数量の検測
計測工Cの検測は設計数量（式）で行うものとする。

(4) 支払
計測工Cの支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、1式当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う計測器の設置、撤去、データ整理等計測工Cに要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
1 2 - (8) 計測工C	式

2 9 - 7 - 7 汚濁水処理工

(1) 共通仕様書 1 2 - 1 9 - 1 に規定する汚濁水処理設備の諸元、想定している汚濁水の水质、排水基準等は以下のとおりである。

なお、設計想定値以上の湧水が発生した場合は監督員の指示により設備の変更を行うものとし、これに要する費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする。

項目	内容	備考
設備	ポータブル型 30m3/h	
処理水量	22.8m3/h	
汚濁水（SS濃度）	3000ppm	
汚濁水（pH値）	12	
処理基準（SS濃度）	200ppm	日平均 150ppm
処理基準（pH濃度）	5.8～8.6	
原水の沈降量	20%	
脱水ケーキの含水率	40%	
設備期間	30ヶ月	掘削開始～掘工完了まで

(2) 工事中に著しい湧水の発生等により処理設備の変更が必要であると認められ、監督員がその指示をした場合、乙はその指示に従うものとし、これに要する費用については監督員と乙として協議し、定めるものとする。

(3) 泥土処理工
泥土処理工に先立ち、成分分析試験（「土壌汚染に係る環境基準（平成3年8月23日環境庁告示46号平成13年改正）」）を行うものとする。成分分析試験に要する費用については諸経費に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。

ただし、有害物質を含む場合の処理方法及び処理に要する費用については、監督員と受注者で協議し、定めるものとする。

53

正

また、計測器は計測終了後、夜間通行止め時に撤去を行うものとする。

(3) 数量の検測
計測工Cの検測は設計数量（式）で行うものとする。

(4) 支払
計測工Cの支払いは、前項の規定に従って検測された数量に対し、1式当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う計測器の設置、撤去、データ整理等計測工Cに要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
1 2 - (8) 計測工C	式

2 9 - 7 - 7 汚濁水処理工

(1) 共通仕様書 1 2 - 1 9 - 1 に規定する汚濁水処理設備の諸元、想定している汚濁水の水质、排水基準等は以下のとおりである。

なお、設計想定値以上の湧水が発生した場合は監督員の指示により設備の変更を行うものとし、これに要する費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする。

項目	内容	備考
設備	ポータブル型 30m3/h	
処理水量	22.8m3/h	
汚濁水（SS濃度）	3000ppm	
汚濁水（pH値）	12	
処理基準（SS濃度）	200ppm	日平均 150ppm
処理基準（pH濃度）	5.8～8.6	
原水の沈降量	20%	
脱水ケーキの含水率	40%	
設備期間	30.3ヶ月	掘削開始～掘工完了まで

(2) 工事中に著しい湧水の発生等により処理設備の変更が必要であると認められ、監督員がその指示をした場合、乙はその指示に従うものとし、これに要する費用については監督員と乙として協議し、定めるものとする。

(3) 泥土処理工
泥土処理工に先立ち、成分分析試験（「土壌汚染に係る環境基準（平成3年8月23日環境庁告示46号平成13年改正）」）を行うものとする。成分分析試験に要する費用については諸経費に含まれるものとし、別途支払は行わないものとする。

ただし、有害物質を含む場合の処理方法及び処理に要する費用については、監督員と受注者で協議し、定めるものとする。

53

正誤表(18)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

特記仕様書
29 - 10-4
仮設防護工

誤

(2) 種別

のり面点検階段工の単価表の項目の種別は、以下のとおりとする。

単価表の項目	区 分 内 容	摘要
のり面点検階段 A	盛土のり面（1：1.8）に点検用階段を新設するもの	
手摺工 A	のり面点検階段 A の設置箇所に手摺を取りつけるもの	

(3) 材料

のり面点検階段工の材料は、設計図に示す規格に適合しなければならない。

(4) 数量の検測

のり面点検階段工の数量の検測は、設計数量（m）で行うものとする。

(5) 支払

のり面点検階段工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ 1 m 当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うのり面点検階段の製作、防錆処理、運搬、設置等のり面点検階段工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
特一(10)	
のり面点検階段工	
のり面点検階段 A	m
手摺工 A	m

29 - 10 - 4 仮設防護工

(1) 定義

仮設防護工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、仮設防護工を設置するものをいう。

(2) 種別

仮設防護工の単価表の項目の種別は、以下のとおりとする。

単価表の項目	区 分 内 容	備 考
落石防護柵	供用路線への落石防護のため防護柵を設置・撤去するもの。	切土施工時 (約 12 ヶ月)
土砂等崩落防止柵	供用路線への土砂等崩落防止のため防護柵を設置・撤去するもの。	工事期間中 (約 49 ヶ月)
ネット工	供用路線への飛石等飛散防止のため、既設立入防止柵にネットを設置・撤去するもの。	工事期間中 (約 49 ヶ月)

(3) 施工

仮設防護工の施工は、設計図書及び監督員の指示に従い施工するものとする。また、設間の際は、一般通行車両等の安全に十分に配慮し細心の注意を払って施工しなければならない。

なお、設置後、監督員が仮設防護工の移動、・運搬を指示した場合は、受注者はその指示に

58

正

(2) 種別

のり面点検階段工の単価表の項目の種別は、以下のとおりとする。

単価表の項目	区 分 内 容	摘要
のり面点検階段 A	盛土のり面（1：1.8）に点検用階段を新設するもの	
手摺工 A	のり面点検階段 A の設置箇所に手摺を取りつけるもの	

(3) 材料

のり面点検階段工の材料は、設計図に示す規格に適合しなければならない。

(4) 数量の検測

のり面点検階段工の数量の検測は、設計数量（m）で行うものとする。

(5) 支払

のり面点検階段工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ 1 m 当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行うのり面点検階段の製作、防錆処理、運搬、設置等のり面点検階段工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
特一(10)	
のり面点検階段工	
のり面点検階段 A	m
手摺工 A	m

29 - 10 - 4 仮設防護工

(1) 定義

仮設防護工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、仮設防護工を設置するものをいう。

(2) 種別

仮設防護工の単価表の項目の種別は、以下のとおりとする。

単価表の項目	区 分 内 容	設置期間	備 考
落石防護柵	供用路線への落石防護のため防護柵を設置・撤去するもの。	切土施工時 (約 12 ヶ月)	(購入品)
土砂等崩落防止柵	供用路線への土砂等崩落防止のため防護柵を設置・撤去するもの。	工事期間中 (約 49 ヶ月)	
ネット工	供用路線への飛石等飛散防止のため、既設立入防止柵にネットを設置・撤去するもの。	工事期間中 (約 49 ヶ月)	

(3) 施工

仮設防護工の施工は、設計図書及び監督員の指示に従い施工するものとする。また、設置の際は、一般通行車両等の安全に十分に配慮し細心の注意を払って施工しなければならない。

58

正誤表(19)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																							
特記仕様書 29-10-7 待避所設置 工	<div data-bbox="477 425 880 613"><table><tr><th>項目</th><th>材質</th><th>適用する規格等</th></tr><tr><td rowspan="4">上部工</td><td>掘工板</td><td>SH400 JIS G 3106</td></tr><tr><td>掘削部材</td><td>SH400, SH400, SS400 他 JIS G 3106, JIS G 3101 他</td></tr><tr><td>地覆、手摺、集塵板</td><td>SS400 JIS G 3101</td></tr><tr><td>ボルト・ナット</td><td>S10T, F10T 他 JIS B 09, JIS B 1186 他</td></tr><tr><td rowspan="2">下部工</td><td>受桁、桁受、対稱構部材、炭鋼</td><td>SS400 JIS G 3101</td></tr><tr><td>ボルト・ナット</td><td>F10T JIS B 1186</td></tr><tr><td rowspan="4">支持杭</td><td>H鋼材、鋼材、プレス材</td><td>SS400 JIS G 3101</td></tr><tr><td>H鋼材接合部材</td><td>S10T, F10T JIS B 1186</td></tr><tr><td>H鋼材手ボルト</td><td>S10T, F10T JIS B 1186</td></tr><tr><td>土留め</td><td>土留鋼矢板(S P ーⅢ型) 保壁材</td><td>SS400 JIS G 3101</td></tr><tr><td>ボルト</td><td>F10T</td><td>JIS B 1186</td></tr></table></div> <div data-bbox="477 618 880 728"><p>(4) 施工</p><p>支持杭の施工方法は下表に示すとおりとする。</p><table><tr><th>施工箇所</th><th>工法</th><th>部材名</th></tr><tr><td>KA 1, KA 2, KP 1 ～ KP 4</td><td>ダカザマツマ工法</td><td>H400×400×13×21</td></tr></table><p>なお、受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め上記の工法の変更を指示した場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者とで協議し定めるものとする。</p></div> <div data-bbox="477 732 880 916"><p>(5) 数量の検測</p><p>仮設構造物工の数量の検測は、設計数量 (式) で行うものとする。</p><p>(6) 支払</p><p>仮設構造物工の支払は前項の規定に従って検測された数量に対し、1 式当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う仮設構の材料の調達、設置、支持杭の打設、土留め工の施工等仮設構の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一(13)</td><td>仮設構造物工 仮設橋設置 A</td><td>式</td></tr></table></div> <div data-bbox="477 918 880 1028"><p>29-10-7 待避所設置工</p><p>(1) 定義</p><p>待避所設置工とは、村道ホロカ麓支線に工事用車両の待避所を設置することをいう。</p><p>(2) 材料</p><p>待避所設置工の材料は、設計図に示す規格に適合しなければならない。</p><p>(3) 数量の検測</p><p>待避所設置工の数量の検測は、設計数量(箇所)で行うものとする。</p><p>61</p></div>	項目	材質	適用する規格等	上部工	掘工板	SH400 JIS G 3106	掘削部材	SH400, SH400, SS400 他 JIS G 3106, JIS G 3101 他	地覆、手摺、集塵板	SS400 JIS G 3101	ボルト・ナット	S10T, F10T 他 JIS B 09, JIS B 1186 他	下部工	受桁、桁受、対稱構部材、炭鋼	SS400 JIS G 3101	ボルト・ナット	F10T JIS B 1186	支持杭	H鋼材、鋼材、プレス材	SS400 JIS G 3101	H鋼材接合部材	S10T, F10T JIS B 1186	H鋼材手ボルト	S10T, F10T JIS B 1186	土留め	土留鋼矢板(S P ーⅢ型) 保壁材	SS400 JIS G 3101	ボルト	F10T	JIS B 1186	施工箇所	工法	部材名	KA 1, KA 2, KP 1 ～ KP 4	ダカザマツマ工法	H400×400×13×21	単価表の項目	検測の単位	特一(13)	仮設構造物工 仮設橋設置 A	式	<div data-bbox="970 425 1383 535"><p>(4) 支払</p><p>待避所設置工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う掘削、大型土のうの設置、基礎材、敷き鉄板の敷設、集塵材の敷設等待避所設置工に必要な費用で諸経費を除くすべての費用を含むものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一(14)</td><td>待避所設置工 箇所</td><td></td></tr></table></div> <div data-bbox="970 551 1383 685"><p>29-10-8 試験工</p><p>(1) 定義</p><p>試験工とは、工事の施工箇所が、光通信ケーブル等が近接する箇所に該当する場合に光通信ケーブル等損傷事故防止マニュアルに則り、試験を行うものをいう。</p><p>(2) 検測</p><p>試験工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>A</td><td>光通信ケーブル等が近接となる箇所において、人力掘削にて、試験を行い、試験後の掘削箇所を土のうにて防護するもの。</td></tr></table></div> <div data-bbox="970 689 1383 916"><p>(3) 施工</p><p>試験工の施工は人力掘削にて行い、掘削は角形スコップを使用するものとする。</p><p>また、試験箇所は近接対象物を確認後、蛍光テープ等で明示し土のうにて埋戻しを行う。この際、近接対象物に衝撃や圧力等加えないように留意するとともに、転石等があればこれを除去した後、埋戻しを行うものとする。</p><p>(4) 数量の検測</p><p>試験工の数量の検測は、設計数量 (m3) で行うものとする。</p><p>(5) 支払</p><p>試験工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m3 当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う人力掘削、土のうの製作、設置等に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費を除くすべての費用を含むものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一(15)</td><td>試験工 A</td><td>m3</td></tr></table></div> <div data-bbox="970 949 1383 1028"><p>29-10-9 除雪工</p><p>(1) 定義</p><p>除雪工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、冬期間の施工及び冬入路確保のために必要な工事用施工ヤード及び道路の除雪にかかる作業機械の拘束及び除雪作業を行うものをいう。</p><p>62</p></div>	単価表の項目	検測の単位	特一(14)	待避所設置工 箇所		単価表の項目	区 分 内 容	A	光通信ケーブル等が近接となる箇所において、人力掘削にて、試験を行い、試験後の掘削箇所を土のうにて防護するもの。	単価表の項目	検測の単位	特一(15)	試験工 A	m3
項目	材質	適用する規格等																																																							
上部工	掘工板	SH400 JIS G 3106																																																							
	掘削部材	SH400, SH400, SS400 他 JIS G 3106, JIS G 3101 他																																																							
	地覆、手摺、集塵板	SS400 JIS G 3101																																																							
	ボルト・ナット	S10T, F10T 他 JIS B 09, JIS B 1186 他																																																							
下部工	受桁、桁受、対稱構部材、炭鋼	SS400 JIS G 3101																																																							
	ボルト・ナット	F10T JIS B 1186																																																							
支持杭	H鋼材、鋼材、プレス材	SS400 JIS G 3101																																																							
	H鋼材接合部材	S10T, F10T JIS B 1186																																																							
	H鋼材手ボルト	S10T, F10T JIS B 1186																																																							
	土留め	土留鋼矢板(S P ーⅢ型) 保壁材	SS400 JIS G 3101																																																						
ボルト	F10T	JIS B 1186																																																							
施工箇所	工法	部材名																																																							
KA 1, KA 2, KP 1 ～ KP 4	ダカザマツマ工法	H400×400×13×21																																																							
単価表の項目	検測の単位																																																								
特一(13)	仮設構造物工 仮設橋設置 A	式																																																							
単価表の項目	検測の単位																																																								
特一(14)	待避所設置工 箇所																																																								
単価表の項目	区 分 内 容																																																								
A	光通信ケーブル等が近接となる箇所において、人力掘削にて、試験を行い、試験後の掘削箇所を土のうにて防護するもの。																																																								
単価表の項目	検測の単位																																																								
特一(15)	試験工 A	m3																																																							
正	<div data-bbox="477 1290 880 1489"><table><tr><th>項目</th><th>材質</th><th>適用する規格等</th></tr><tr><td rowspan="4">上部工</td><td>掘工板</td><td>SH400 JIS G 3106</td></tr><tr><td>掘削部材</td><td>SH400, SH400, SS400 他 JIS G 3106, JIS G 3101 他</td></tr><tr><td>地覆、手摺、集塵板</td><td>SS400 JIS G 3101</td></tr><tr><td>ボルト・ナット</td><td>S10T, F10T 他 JIS B 09, JIS B 1186 他</td></tr><tr><td rowspan="2">下部工</td><td>受桁、桁受、対稱構部材、炭鋼</td><td>SS400 JIS G 3101</td></tr><tr><td>ボルト・ナット</td><td>F10T JIS B 1186</td></tr><tr><td rowspan="4">支持杭</td><td>H鋼材、鋼材、プレス材</td><td>SS400 JIS G 3101</td></tr><tr><td>H鋼材接合部材</td><td>S10T, F10T JIS B 1186</td></tr><tr><td>H鋼材手ボルト</td><td>S10T, F10T JIS B 1186</td></tr><tr><td>土留め</td><td>土留鋼矢板(S P ーⅢ型) 保壁材</td><td>SS400 JIS G 3101</td></tr><tr><td>ボルト</td><td>F10T</td><td>JIS B 1186</td></tr></table></div> <div data-bbox="477 1494 880 1612"><p>(4) 施工</p><p>支持杭の施工方法は下表に示すとおりとする。</p><table><tr><th>施工箇所</th><th>工法</th><th>部材名</th></tr><tr><td>KA 1, KA 2, KP 1 ～ KP 4</td><td>ダカザマツマ工法</td><td>H400×400×13×21</td></tr></table><p>なお、受注者の責に帰さない理由により、監督員が必要と認め上記の工法の変更を指示した場合、受注者はこれに従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者とで協議し定めるものとする。</p></div> <div data-bbox="477 1617 880 1800"><p>(5) 数量の検測</p><p>仮設構造物工の数量の検測は、設計数量 (式) で行うものとする。</p><p>(6) 支払</p><p>仮設構造物工の支払は前項の規定に従って検測された数量に対し、1 式当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う仮設構の材料の調達、設置、支持杭の打設、土留め工の施工等仮設構の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一(13)</td><td>仮設構造物工 仮設橋設置 A</td><td>式</td></tr></table></div> <div data-bbox="477 1814 880 1933"><p>29-10-7 待避所設置工</p><p>(1) 定義</p><p>待避所設置工とは、村道ホロカ麓支線に工事用車両の待避所を設置することをいう。</p><p>(2) 材料</p><p>待避所設置工の材料は、設計図に示す規格に適合しなければならない。</p><p>(3) 数量の検測</p><p>待避所設置工の数量の検測は、設計数量(箇所)で行うものとする。</p><p>61</p></div>	項目	材質	適用する規格等	上部工	掘工板	SH400 JIS G 3106	掘削部材	SH400, SH400, SS400 他 JIS G 3106, JIS G 3101 他	地覆、手摺、集塵板	SS400 JIS G 3101	ボルト・ナット	S10T, F10T 他 JIS B 09, JIS B 1186 他	下部工	受桁、桁受、対稱構部材、炭鋼	SS400 JIS G 3101	ボルト・ナット	F10T JIS B 1186	支持杭	H鋼材、鋼材、プレス材	SS400 JIS G 3101	H鋼材接合部材	S10T, F10T JIS B 1186	H鋼材手ボルト	S10T, F10T JIS B 1186	土留め	土留鋼矢板(S P ーⅢ型) 保壁材	SS400 JIS G 3101	ボルト	F10T	JIS B 1186	施工箇所	工法	部材名	KA 1, KA 2, KP 1 ～ KP 4	ダカザマツマ工法	H400×400×13×21	単価表の項目	検測の単位	特一(13)	仮設構造物工 仮設橋設置 A	式	<div data-bbox="970 1290 1383 1400"><p>(4) 支払</p><p>待避所設置工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 箇所当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う掘削、大型土のうの設置、基礎材、敷き鉄板の敷設、設置・敷設等待避所設置工に必要な費用で諸経費を除くすべての費用を含むものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一(14)</td><td>待避所設置工 箇所</td><td></td></tr></table></div> <div data-bbox="970 1415 1383 1563"><p>29-10-8 試験工</p><p>(1) 定義</p><p>試験工とは、工事の施工箇所が、光通信ケーブル等が近接する箇所に該当する場合に光通信ケーブル等損傷事故防止マニュアルに則り、試験を行うものをいう。</p><p>(2) 検測</p><p>試験工の単価表の項目の種別は、次のとおりとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>区 分 内 容</th></tr><tr><td>A</td><td>光通信ケーブル等が近接となる箇所において、人力掘削にて、試験を行い、試験後の掘削箇所を土のうにて防護するもの。</td></tr></table></div> <div data-bbox="970 1576 1383 1760"><p>(3) 施工</p><p>試験工の施工は人力掘削にて行い、掘削は角形スコップを使用するものとする。</p><p>また、試験箇所は近接対象物を確認後、蛍光テープ等で明示し土のうにて埋戻しを行う。この際、近接対象物に衝撃や圧力等加えないように留意するとともに、転石等があればこれを除去した後、埋戻しを行うものとする。</p><p>(4) 数量の検測</p><p>試験工の数量の検測は、設計数量 (m3) で行うものとする。</p><p>(5) 支払</p><p>試験工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 m3 当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う人力掘削、土のうの製作、設置等に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費を除くすべての費用を含むものとする。</p><table><tr><th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr><tr><td>特一(15)</td><td>試験工 A</td><td>m3</td></tr></table></div> <div data-bbox="970 1850 1383 1933"><p>29-10-9 除雪工</p><p>(1) 定義</p><p>除雪工とは、設計図書及び監督員の指示に従って、冬期間の施工及び冬入路確保のために必要な工事用施工ヤード及び道路の除雪にかかる作業機械の拘束及び除雪作業を行うものをいう。</p><p>62</p></div>	単価表の項目	検測の単位	特一(14)	待避所設置工 箇所		単価表の項目	区 分 内 容	A	光通信ケーブル等が近接となる箇所において、人力掘削にて、試験を行い、試験後の掘削箇所を土のうにて防護するもの。	単価表の項目	検測の単位	特一(15)	試験工 A	m3
項目	材質	適用する規格等																																																							
上部工	掘工板	SH400 JIS G 3106																																																							
	掘削部材	SH400, SH400, SS400 他 JIS G 3106, JIS G 3101 他																																																							
	地覆、手摺、集塵板	SS400 JIS G 3101																																																							
	ボルト・ナット	S10T, F10T 他 JIS B 09, JIS B 1186 他																																																							
下部工	受桁、桁受、対稱構部材、炭鋼	SS400 JIS G 3101																																																							
	ボルト・ナット	F10T JIS B 1186																																																							
支持杭	H鋼材、鋼材、プレス材	SS400 JIS G 3101																																																							
	H鋼材接合部材	S10T, F10T JIS B 1186																																																							
	H鋼材手ボルト	S10T, F10T JIS B 1186																																																							
	土留め	土留鋼矢板(S P ーⅢ型) 保壁材	SS400 JIS G 3101																																																						
ボルト	F10T	JIS B 1186																																																							
施工箇所	工法	部材名																																																							
KA 1, KA 2, KP 1 ～ KP 4	ダカザマツマ工法	H400×400×13×21																																																							
単価表の項目	検測の単位																																																								
特一(13)	仮設構造物工 仮設橋設置 A	式																																																							
単価表の項目	検測の単位																																																								
特一(14)	待避所設置工 箇所																																																								
単価表の項目	区 分 内 容																																																								
A	光通信ケーブル等が近接となる箇所において、人力掘削にて、試験を行い、試験後の掘削箇所を土のうにて防護するもの。																																																								
単価表の項目	検測の単位																																																								
特一(15)	試験工 A	m3																																																							

正誤表(20)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

正

特記仕様書
29-12
構造物等
取壊し工

29-11-2 交通保安要員

共通仕様書19-4「交通保安要員」に下記を追加する。

(1) 種 別

共通仕様書19-4-2に規定する配置場所、配置人数、配置時間及び期間については、次表のとおりとする。

単価表の項目	配置場所	配置人数	要員要員	配置時間帯	備考
交通誘導警備員 A	道道夕張新得線・古冠PA工事用道路出入口	1人	無	8:30～16:30	休憩時間中は配置不要
	道道夕張新得線・新得PA工事用道路出入口	2人	無	8:30～16:30	
	道道夕張新得線・村道時々幾直線交差点	1人	無	8:30～16:30	
	道道夕張新得線・道道石橋高原幾直線交差点	2人	無	8:30～16:30	
交通誘導警備員 B	道道石橋高原幾直線・一般交差点出入口	1人	無	8:30～16:30	
	道道石橋高原幾直線冬期通行止め門扉部(10月下旬～5月中旬)	1人	無	8:30～16:30	

※上表の配置時間は、作業時間とする。

なお、受注者の責によらず、交通保安要員の配置場所及び配置時間が大幅に変更となった場合は、これらに要する費用について監督員と受注者で協議し定めるものとする。

(2) 交通保安要員計画について

受注者は、業務を遂行するに十分な能力を有する交通保安要員を配置するものとし、あらかじめ氏名、経歴及び有資格傍聴等を記載した名簿を作成し、監督員に提出するものとする。なお、交通保安要員を変更又は追加した場合は、速やかに名簿を作成し、監督員に提出するものとする。

(3) 交通保安要員実施報告書の提出時期について

受注者は、共通仕様書19-4-3「交通保安要員計画」に規定する交通保安要員実施報告書を翌月上旬までに監督員に提出するものとする。

29-12 構造物等取壊し工

(1) 種 別

共通仕様書18-12-2に示す種別は、以下のとおりとする。

単価表の項目	区 分 内 容
構造物取壊し コンクリート構造物取壊し (Type A)	無筋コンクリート構造物 機械施工 (大型ブレーカー)
構造物取壊し コンクリート構造物取壊し (Type B)	有筋コンクリート構造物 機械施工 (大型ブレーカー)

66

構造物取壊し アスファルト舗装取壊し (Type A)	仮設アスファルト舗装 1016cm 以下 機械施工
--------------------------------	---------------------------------

(2) 支 払

共通仕様書18-12-5「支払」に下記を追加する。

支払の項目	単価表の項目	単価表の単位
18-1 (17) 構造物等取壊し工	コンクリート構造物取壊し (Type A)	m3
	コンクリート構造物取壊し (Type B)	m3
	アスファルト舗装取壊し (Type A)	m2

30. 割増対象表の項目に示す工事の内容

割増項目対象表の項目に示す工事の内容は、共通仕様書第1章総則「表1-3 割増対象表の項目に示す工事の内容」によるほか、次のとおりとする。なお、これに要する費用は割増する単価表の項目の単価に含むものとし、別途支払いを行わないものとする。

割増対象表の項目名称	工事の内容
【表産仮設費】	
工事用機械運搬費 (トンネル)	トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の燃料に要する費用をいう。
工事用機械分解組立費 (土工)	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の燃料または賃料に要する費用をいう。
工事用機械分解組立費 (自工区外盛土工)	自工区外盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の燃料または賃料に要する費用をいう。
工事用機械分解組立費 (トンネル)	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の燃料または賃料に要する費用をいう。
工事用機械分解組立費 (用排水構造物工)	既設排水工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の燃料または賃料に要する費用をいう。
工事用機械分解組立費 (地盤改良)	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の燃料または賃料に要する費用をいう。
工事用機械分解組立費 (仮設構造物工)	仮設構造物工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の燃料または賃料に要する費用をいう。
仮設材等運搬費 (トンネル)	トンネル工で使用する仮設材 (H型鋼、鋼矢板、橋工板等) の運搬に要する費用をいう。
仮設材等運搬費 (仮設構造物工)	仮設構造物工で使用する仮設材 (H型鋼、鋼矢板、橋工板等) の運搬に要する費用をいう。
基準試験費	中流動コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する費用をいう。
配合試験費	地盤改良工の室内配合試験に要する費用をいう。
【仮設働工費】	
足場工費 (非常駐車等)	トンネル非常駐車等の運込に必要な足場工に要する費用をいう。

67

正誤表(21)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
<p>特記仕様書 3 1 - 5 有料道路料金 費に関する事 項</p>	<p>誤</p>
	<p>正</p> <p>合は、管理事務所が実施する供用中道路の緊急復旧作業に対して応援可能な資機材及び人員を速やかにとりまとめ監督員へ報告するものとする。また、長期休暇前においても休暇期間中の発災時における応援可能な資機材と人員を監督員へ報告すること。</p> <p>なお、監督員が資機材及び人員の応援について指示し、手配した場合は本工事とは別に別途契約締結を行うものとする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>3 1 - 5 有料道路料金費に関する事項</p> <p>有料道路料金費とは、E T C (Electronic Toll Collection System) が整備されているインターチェンジ等をE T C無線通信により走行するために要する通行料金をいう。</p> <p>また、監督員の指示により有料道路通行区間を変更する場合、又は、通行料金体系が見直しとなった場合は、これに要する費用について監督員と受注者として協議し定めるものとする。</p> </div> <p>3 1 - 6 間接工事費の変更</p> <p>3 1 - 6 - 1 対象となる項目</p> <p>本工事は、間接工事費のうち「共通仮設費(半分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象費」という。)について、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事積算基準の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は実績変更対象費の支出実績を踏まえて最終設計変更時点で設計変更する執行工事である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営繕費：労働者の送迎費、宿泊費、借上費 (宿泊費、借上費については労働者確保に係わるものに限る) ・労務管理費：募集及び解散に要する費用、貸金以外の食事、通勤に要する費用 <p>なお、上記に関連し発生した間接工事費について、監督員が必要と判断した場合、その費用については監督員と受注者として協議し定めるものとする</p> <p>3 1 - 6 - 2 工事費構成内訳書</p> <p>発注者は、契約単価合意の時(単価協議時)に本工事の当初積算における共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象費の割合を工事費構成内訳書にて提示するものとする。</p> <p>3 1 - 6 - 3 間接工事費計画書の提出</p> <p>受注者は、間接工事費の増加費用を請求する予定がある場合、工期開始の日から1 4 日以内に、前項で示された割合を参考にして実績変更対象費に係る費用の内訳を記載した間接工事費計画書(様式- 9)を作成し、監督員へ提出するものとする。</p> <p>なお、工期開始の日から1 4 日以内に間接工事費計画書(様式- 9)の提出がなかった場合は、間接工事費の増加費用の請求は行えないものとする。</p>

正誤表(22)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所		正誤区分
設計図 盛土場拡大 図 (3)	誤	—
	正	

正誤表(23)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(24)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

正

設計図
用・排水工
詳細図(2)

用・排水工詳細図(2)

Dv-P(Dor)-φB

A-A 縮尺 1:10

本線掘土部 縮尺 1:100

本線切土部 縮尺 1:100

P(Dor)-φBます接続部 縮尺 1:10

A-A 縮尺 1:10

B-B

寸法表

管径	構造幅	管高	管底高	管口高	管口径	管口厚
P(Dor)-φB-20	200	200	200	200	200	20
P(Dor)-φB-30	300	300	300	300	300	30
P(Dor)-φB-40	400	400	400	400	400	40
P(Dor)-φB-50	500	500	500	500	500	50

数量表

管径	構造幅	管高	管底高	管口高	管口径	管口厚
P(Dor)-φB-20	200	200	200	200	200	20
P(Dor)-φB-30	300	300	300	300	300	30
P(Dor)-φB-40	400	400	400	400	400	40
P(Dor)-φB-50	500	500	500	500	500	50

設計図
用・排水工
詳細図(2)

用・排水工詳細図(2)

Dv-P(Dor)-φB

A-A 縮尺 1:10

本線掘土部 縮尺 1:100

本線切土部 縮尺 1:100

P(Dor)-φBます接続部 縮尺 1:10

A-A 縮尺 1:10

B-B

寸法表

管径	構造幅	管高	管底高	管口高	管口径	管口厚
P(Dor)-φB-20	200	200	200	200	200	20
P(Dor)-φB-30	300	300	300	300	300	30
P(Dor)-φB-40	400	400	400	400	400	40
P(Dor)-φB-50	500	500	500	500	500	50

数量表

管径	構造幅	管高	管底高	管口高	管口径	管口厚
P(Dor)-φB-20	200	200	200	200	200	20
P(Dor)-φB-30	300	300	300	300	300	30
P(Dor)-φB-40	400	400	400	400	400	40
P(Dor)-φB-50	500	500	500	500	500	50

設計図
用・排水工
詳細図(2)

正誤表(25)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図 油水分離ます 工詳細図 (1)</p>	<p>誤</p>
<p>正</p>	

正誤表(26)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(27)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(28)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

流末処理工 A 一般図
ボロカトマム川

平面図 縮尺 1:200

断面図 縮尺 1:200

A-A 断面 縮尺 1:200

B-B 断面 縮尺 1:200

吐口ます 詳細図 縮尺 1:50

ヘッドウォール部詳細図 縮尺 1:20

数量表

項目	単位	数量	単位	数量
構造物部	m ²	11.13	吐口ます	-
土工	m ³	48.84	-	-
流末処理部	m ²	14.91	-	-
流末処理部	m ²	14.91	-	-
コンクリート	m ³	15.97	-	-
基礎部	m ³	1.00	-	-
流末	m ²	14.91	-	-
土工	m ³	14.91	-	-

標準工 数量表

項目	単位	数量	単位	数量
標準工	m ²	11.13	-	-
標準工	m ²	11.13	-	-

設計図

流末処理

工 A 一般

図

正

流末処理工 A 一般図
ボロカトマム川

平面図 縮尺 1:200

断面図 縮尺 1:200

A-A 断面 縮尺 1:200

B-B 断面 縮尺 1:200

吐口ます 詳細図 縮尺 1:50

ヘッドウォール部詳細図 縮尺 1:20

数量表

項目	単位	数量	単位	数量
構造物部	m ²	11.13	吐口ます	-
土工	m ³	48.84	-	-
流末処理部	m ²	14.91	-	-
流末処理部	m ²	14.91	-	-
コンクリート	m ³	15.97	-	-
基礎部	m ³	1.00	-	-
流末	m ²	14.91	-	-
土工	m ³	14.91	-	-

標準工 数量表

項目	単位	数量	単位	数量
標準工	m ²	11.13	-	-
標準工	m ²	11.13	-	-

正誤表(29)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

<div>修正箇所</div> <div>設計図</div> <div>トナム跨線橋 A2 橋台左側 擁壁工一般図 (1)</div>	<div>正誤区分</div> <div>誤</div> <div> </div>
<div>正</div>	<div>正</div> <div> </div>

正誤表(30)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(31)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図</p> <p>トマム跨線橋</p> <p>A2 橋台左側</p> <p>L 型擁壁工</p> <p>構造図 (2)</p>	<p>誤</p> <div data-bbox="411 365 1422 1077"> <p>トマム跨線橋A2橋台左側 L型擁壁構造図(2)</p> <p>3 / 15</p> <p>L - 2</p> <p>断面図 S=1/200</p> <p>正面展開図 S=1/200</p> <p>断面図 S=1/200</p> <p>平面図 S=1/200</p> <p>BL=425.000</p> <p>図例</p> <p>設計者 〇〇〇〇〇</p> <p>監理者 〇〇〇〇〇</p> <p>製図者 〇〇〇〇〇</p> <p>承認者 〇〇〇〇〇</p> <p>図面番号 〇〇〇〇〇</p> <p>図面名称 トマム跨線橋A2橋台左側 L型擁壁構造図(2)</p> <p>図面単位 〇〇〇〇〇</p> <p>図面比例 〇〇〇〇〇</p> <p>図面日付 〇〇〇〇〇</p> <p>図面場所 〇〇〇〇〇</p> <p>図面内容 〇〇〇〇〇</p> <p>図面備考 〇〇〇〇〇</p> </div>

正誤表(32)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図</p> <p>トマム跨線橋</p> <p>A2 橋台左側</p> <p>L 型擁壁工</p> <p>構造図 (3)</p>	<p>誤</p> <div data-bbox="411 369 1422 1081"> <p>トマム跨線橋A2橋台左側 L型擁壁構造図(3)</p> <p>4 / 15</p> <p>L - 3</p> <p>断面図 5-1/200</p> <p>正面展開図 5-1/200</p> <p>断面図 5-1/200</p> <p>平面図 5-1/200</p> <p>図例</p> <p>設計者 〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>監理者 〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>製図者 〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>承認者 〇〇〇〇〇〇〇〇</p> <p>作成日 〇〇〇〇〇〇</p> <p>図面番号 〇〇〇〇〇〇</p> <p>図面名称 トマム跨線橋A2橋台左側 L型擁壁構造図(3)</p> <p>図面単位 〇〇〇〇〇〇</p> <p>図面枚数 〇〇〇〇〇〇</p> <p>図面内容 〇〇〇〇〇〇</p> <p>図面備考 〇〇〇〇〇〇</p> </div>

正誤表(33)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図

支保パターン
図 (12)

正

支保パターン図 (12)

避難連絡坑

吹付け・ロックボルト工図 S=1.75

CII-B-S, CII-K-S 断面

CII-K-SH 断面

断面詳細図 S=1.25

A-A 断面

C-C 断面

B-B 断面

D-D 断面

図元表

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

図元表

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

吹付け・ロックボルト材料表 (S=1.75 断面)

項	名	材	寸	量	単位	計	備
1	ロックボルト	Φ25	1.2	1.2	m	1.44	1.44
2	吹付けコンクリート	1:2	1.2	1.2	m ³	1.44	1.44

正誤表(34)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図

非常用施設箱
抜工図 (1)

正

非常用施設箱抜工図 (1) S=1:100

箱 抜 工 図 通 話 型 通 報 設 備 補 強 工 図

C1-a-i (H)-B-CII-a-i (H)-B-CII-b-i (H)-B 断面 明り巻断面 C1-a-i (H)-B-CII-a-i (H)-B-CII-b-i (H)-B 断面

補 強 工 図
CII-b-i (H)-B 断面

部 位	材 質	規格	長さ (mm)	本 数	重量 (kg)
主 筋	SD40	Φ20	2,000	2	12.8
横 筋	SD40	Φ10	1,000	4	6.4
交 差 筋	SD40	Φ10	1,000	4	6.4
計					25.6

部 位	材 質	規格	長さ (mm)	本 数	重量 (kg)
主 筋	SD40	Φ20	2,000	2	12.8
横 筋	SD40	Φ10	1,000	4	6.4
交 差 筋	SD40	Φ10	1,000	4	6.4
計					25.6

※ 設計図面記載の寸法は、図面に示す寸法に準じます。

非常用施設箱抜工図 (1) S=1:100

箱 抜 工 図 通 話 型 通 報 設 備 補 強 工 図

C1-a-i (H)-B-CII-a-i (H)-B-CII-b-i (H)-B 断面 明り巻断面 C1-a-i (H)-B-CII-a-i (H)-B-CII-b-i (H)-B 断面

補 強 工 図
CII-b-i (H)-B 断面

部 位	材 質	規格	長さ (mm)	本 数	重量 (kg)
主 筋	SD40	Φ20	2,000	2	12.8
横 筋	SD40	Φ10	1,000	4	6.4
交 差 筋	SD40	Φ10	1,000	4	6.4
計					25.6

部 位	材 質	規格	長さ (mm)	本 数	重量 (kg)
主 筋	SD40	Φ20	2,000	2	12.8
横 筋	SD40	Φ10	1,000	4	6.4
交 差 筋	SD40	Φ10	1,000	4	6.4
計					25.6

※ 設計図面記載の寸法は、図面に示す寸法に準じます。

正誤表(35)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

<div>設計図</div> <div>非常用施設箱</div> <div>抜工図 (2)</div>	<div>誤</div> <div data-bbox="410 362 1418 1079"><div>非常用施設箱抜工図 (2) S=1:100</div><div>操作型通報設備・消火器・消火栓 (+給水栓)</div><div>箱 抜 工 図 C1-a-i (H)-B-CII-a-i (H)-B-CII-b-i (H)-B-DI-a (H)-B-DII-a (H)-B-DIII-a (H)-B-DIII-a-A (H)-B-DIII-a-A2 (H)-B-CII (H)-B-L 断面</div><div>箱 強 工 図 D1-a (H)-B-DIII-a (H)-B-DIII-a-A (H)-B-DIII-a-A2 (H)-B 断面</div><div>数量表</div><table><tr><th>部 材 名</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>コンクリート</td><td>m³</td><td>1.128</td><td>m³</td><td>1.128</td><td>m³</td><td>1.128</td><td>m³</td><td>1.128</td></tr><tr><td>鉄筋</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td></tr><tr><td>その他</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td></tr></table><div>ロックボルト切断・実打数量表</div><table><tr><th>部 材 名</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>ロックボルト</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td></tr><tr><td>その他</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td></tr></table></div>	部 材 名	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	コンクリート	m ³	1.128	m ³	1.128	m ³	1.128	m ³	1.128	鉄筋	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	その他	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	部 材 名	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	ロックボルト	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	その他	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128
部 材 名	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量																																																								
コンクリート	m ³	1.128	m ³	1.128	m ³	1.128	m ³	1.128																																																								
鉄筋	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128																																																								
その他	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128																																																								
部 材 名	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量																																																								
ロックボルト	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128																																																								
その他	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128																																																								

	<div>正</div> <div data-bbox="410 1236 1418 1953"><div>非常用施設箱抜工図 (2) S=1:100</div><div>操作型通報設備・消火器・消火栓 (+給水栓)</div><div>箱 抜 工 図 C1-a-i (H)-B-CII-a-i (H)-B-CII-b-i (H)-B-DI-a (H)-B-DII-a (H)-B-DIII-a (H)-B-DIII-a-A (H)-B-DIII-a-A2 (H)-B-CII (H)-B-L 断面</div><div>箱 強 工 図 D1-a (H)-B-DIII-a (H)-B-DIII-a-A (H)-B-DIII-a-A2 (H)-B 断面</div><div>数量表</div><table><tr><th>部 材 名</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>コンクリート</td><td>m³</td><td>1.128</td><td>m³</td><td>1.128</td><td>m³</td><td>1.128</td><td>m³</td><td>1.128</td></tr><tr><td>鉄筋</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td></tr><tr><td>その他</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td></tr></table><div>ロックボルト切断・実打数量表</div><table><tr><th>部 材 名</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th><th>単位</th><th>数量</th></tr><tr><td>ロックボルト</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td></tr><tr><td>その他</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td><td>kg</td><td>1.128</td></tr></table></div>	部 材 名	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	コンクリート	m ³	1.128	m ³	1.128	m ³	1.128	m ³	1.128	鉄筋	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	その他	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	部 材 名	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	ロックボルト	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	その他	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128
部 材 名	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量																																																								
コンクリート	m ³	1.128	m ³	1.128	m ³	1.128	m ³	1.128																																																								
鉄筋	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128																																																								
その他	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128																																																								
部 材 名	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量																																																								
ロックボルト	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128																																																								
その他	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128	kg	1.128																																																								

正誤表(36)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
設計図	<div data-bbox="347 712 379 745">誤</div> <div data-bbox="411 369 1422 1081"> <p>非常用施設箱 抜工図 (3) S=1:100</p> <p>操作型通報設備・消火器・消火栓 (+給水栓)</p> <p>補強鉄筋図</p> <p>DⅡa(H)-B-DⅡa-A(H)-B 断面</p> <p>82 / 96</p> </div>
非常用施設箱 抜工図 (3)	<div data-bbox="347 1585 379 1619">正</div> <div data-bbox="411 1243 1422 1955"> <p>非常用施設箱 抜工図 (3) S=1:100</p> <p>操作型通報設備・消火器・消火栓 (+給水栓)</p> <p>補強鉄筋図</p> <p>DⅡa(H)-B-DⅡa-A(H)-B-DⅡa-A2(H)-B 断面</p> <p>82 / 96</p> </div>

正誤表(37)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(38)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
設計図	<p>誤</p> <p>非常用施設箱 抜工図 (5)</p> <p>非常用施設箱 抜工図 (5) S:1:100</p> <p>誤</p>
正誤表(38)	<p>正</p> <p>非常用施設箱 抜工図 (5)</p> <p>非常用施設箱 抜工図 (5) S:1:100</p> <p>正</p>

正誤表(39)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図
非常用施設箱
抜工図 (6)

正

非常用施設箱抜工図 (6) S=1:100

ELB壁

箱抜工図 C1-a-i (0)-B-CII-a-i (0)-B-CII-b-i (0)-B 断面

箱強工図 CII-b-i (0)-B 断面

材料名	単位	数量
コンクリート	m ³	1.00
鉄筋	kg	100
砕石	m ³	1.00
砂	m ³	1.00
セメント	kg	100
金網	m ²	1.00
その他	kg	100

※ 図面記載の寸法は、概算値です。実際の施工には、現場の状況に応じて調整してください。

非常用施設箱抜工図 (6) S=1:100

ELB壁

箱抜工図 C1-a-i (0)-B-CII-a-i (0)-B-CII-b-i (0)-B 断面

箱強工図 CII-b-i (0)-B 断面

材料名	単位	数量
コンクリート	m ³	1.00
鉄筋	kg	100
砕石	m ³	1.00
砂	m ³	1.00
セメント	kg	100
金網	m ²	1.00
その他	kg	100

※ 図面記載の寸法は、概算値です。実際の施工には、現場の状況に応じて調整してください。

正誤表(40)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(41)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図
非常用施設箱
抜工図 (8)

正

非常用施設箱抜工図 (8) S=1:100

端子盤

箱抜工図
C1-a-i (00)-B-CII-a-i (00)-B-CII-b-i (00)-B 断面

箱強工図
CII-b-i (00)-B 断面

材料・仕様	数量	単位
箱上板 (H)	1	枚
箱下板 (H)	1	枚
箱側板 (H)	2	枚
箱前面板 (H)	1	枚
箱後面板 (H)	1	枚
箱上板 (H)	1	枚
箱下板 (H)	1	枚
箱側板 (H)	2	枚
箱前面板 (H)	1	枚
箱後面板 (H)	1	枚
箱上板 (H)	1	枚
箱下板 (H)	1	枚
箱側板 (H)	2	枚
箱前面板 (H)	1	枚
箱後面板 (H)	1	枚

材料・仕様	数量	単位
ボルト (H)	2	本
ボルト (H)	2	本
ボルト (H)	2	本

※ 図面中の寸法は、図面に示す寸法と異なる場合があります。

非常用施設箱抜工図 (8) S=1:100

端子盤

箱抜工図
C1-a-i (00)-B-CII-a-i (00)-B-CII-b-i (00)-B 断面

箱強工図
CII-b-i (00)-B 断面

材料・仕様	数量	単位
箱上板 (H)	1	枚
箱下板 (H)	1	枚
箱側板 (H)	2	枚
箱前面板 (H)	1	枚
箱後面板 (H)	1	枚
箱上板 (H)	1	枚
箱下板 (H)	1	枚
箱側板 (H)	2	枚
箱前面板 (H)	1	枚
箱後面板 (H)	1	枚
箱上板 (H)	1	枚
箱下板 (H)	1	枚
箱側板 (H)	2	枚
箱前面板 (H)	1	枚
箱後面板 (H)	1	枚

材料・仕様	数量	単位
ボルト (H)	2	本
ボルト (H)	2	本
ボルト (H)	2	本

※ 図面中の寸法は、図面に示す寸法と異なる場合があります。

正誤表(42)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(43)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図

非常用施設箱
抜工図 (12)

正

非常用施設箱抜工図 (12) S=1:100

箱抜工図
区分開閉器
CI-a-i (0)-B-CII-a-i (0)-B-CII-b-i (0)-B 断面

数量表	品名	数量	単位
1	鉄板 (1000×1000)	1	枚
2	鉄板 (1000×1000)	1	枚
3	鉄板 (1000×1000)	1	枚
4	鉄板 (1000×1000)	1	枚
5	鉄板 (1000×1000)	1	枚
6	鉄板 (1000×1000)	1	枚
7	鉄板 (1000×1000)	1	枚
8	鉄板 (1000×1000)	1	枚
9	鉄板 (1000×1000)	1	枚
10	鉄板 (1000×1000)	1	枚
11	鉄板 (1000×1000)	1	枚
12	鉄板 (1000×1000)	1	枚
13	鉄板 (1000×1000)	1	枚
14	鉄板 (1000×1000)	1	枚
15	鉄板 (1000×1000)	1	枚
16	鉄板 (1000×1000)	1	枚
17	鉄板 (1000×1000)	1	枚
18	鉄板 (1000×1000)	1	枚
19	鉄板 (1000×1000)	1	枚
20	鉄板 (1000×1000)	1	枚
21	鉄板 (1000×1000)	1	枚
22	鉄板 (1000×1000)	1	枚
23	鉄板 (1000×1000)	1	枚
24	鉄板 (1000×1000)	1	枚
25	鉄板 (1000×1000)	1	枚
26	鉄板 (1000×1000)	1	枚
27	鉄板 (1000×1000)	1	枚
28	鉄板 (1000×1000)	1	枚
29	鉄板 (1000×1000)	1	枚
30	鉄板 (1000×1000)	1	枚
31	鉄板 (1000×1000)	1	枚
32	鉄板 (1000×1000)	1	枚
33	鉄板 (1000×1000)	1	枚
34	鉄板 (1000×1000)	1	枚
35	鉄板 (1000×1000)	1	枚
36	鉄板 (1000×1000)	1	枚
37	鉄板 (1000×1000)	1	枚
38	鉄板 (1000×1000)	1	枚
39	鉄板 (1000×1000)	1	枚
40	鉄板 (1000×1000)	1	枚
41	鉄板 (1000×1000)	1	枚
42	鉄板 (1000×1000)	1	枚
43	鉄板 (1000×1000)	1	枚
44	鉄板 (1000×1000)	1	枚
45	鉄板 (1000×1000)	1	枚
46	鉄板 (1000×1000)	1	枚
47	鉄板 (1000×1000)	1	枚
48	鉄板 (1000×1000)	1	枚
49	鉄板 (1000×1000)	1	枚
50	鉄板 (1000×1000)	1	枚
51	鉄板 (1000×1000)	1	枚
52	鉄板 (1000×1000)	1	枚
53	鉄板 (1000×1000)	1	枚
54	鉄板 (1000×1000)	1	枚
55	鉄板 (1000×1000)	1	枚
56	鉄板 (1000×1000)	1	枚
57	鉄板 (1000×1000)	1	枚
58	鉄板 (1000×1000)	1	枚
59	鉄板 (1000×1000)	1	枚
60	鉄板 (1000×1000)	1	枚
61	鉄板 (1000×1000)	1	枚
62	鉄板 (1000×1000)	1	枚
63	鉄板 (1000×1000)	1	枚
64	鉄板 (1000×1000)	1	枚
65	鉄板 (1000×1000)	1	枚
66	鉄板 (1000×1000)	1	枚
67	鉄板 (1000×1000)	1	枚
68	鉄板 (1000×1000)	1	枚
69	鉄板 (1000×1000)	1	枚
70	鉄板 (1000×1000)	1	枚
71	鉄板 (1000×1000)	1	枚
72	鉄板 (1000×1000)	1	枚
73	鉄板 (1000×1000)	1	枚
74	鉄板 (1000×1000)	1	枚
75	鉄板 (1000×1000)	1	枚
76	鉄板 (1000×1000)	1	枚
77	鉄板 (1000×1000)	1	枚
78	鉄板 (1000×1000)	1	枚
79	鉄板 (1000×1000)	1	枚
80	鉄板 (1000×1000)	1	枚
81	鉄板 (1000×1000)	1	枚
82	鉄板 (1000×1000)	1	枚
83	鉄板 (1000×1000)	1	枚
84	鉄板 (1000×1000)	1	枚
85	鉄板 (1000×1000)	1	枚
86	鉄板 (1000×1000)	1	枚
87	鉄板 (1000×1000)	1	枚
88	鉄板 (1000×1000)	1	枚
89	鉄板 (1000×1000)	1	枚
90	鉄板 (1000×1000)	1	枚
91	鉄板 (1000×1000)	1	枚
92	鉄板 (1000×1000)	1	枚
93	鉄板 (1000×1000)	1	枚
94	鉄板 (1000×1000)	1	枚
95	鉄板 (1000×1000)	1	枚
96	鉄板 (1000×1000)	1	枚
97	鉄板 (1000×1000)	1	枚
98	鉄板 (1000×1000)	1	枚
99	鉄板 (1000×1000)	1	枚
100	鉄板 (1000×1000)	1	枚

非常用施設箱抜工図 (12) S=1:100

箱抜工図
区分開閉器
CI-a-i (0)-B-CII-a-i (0)-B-CII-b-i (0)-B 断面

数量表	品名	数量	単位
1	鉄板 (1000×1000)	1	枚
2	鉄板 (1000×1000)	1	枚
3	鉄板 (1000×1000)	1	枚
4	鉄板 (1000×1000)	1	枚
5	鉄板 (1000×1000)	1	枚
6	鉄板 (1000×1000)	1	枚
7	鉄板 (1000×1000)	1	枚
8	鉄板 (1000×1000)	1	枚
9	鉄板 (1000×1000)	1	枚
10	鉄板 (1000×1000)	1	枚
11	鉄板 (1000×1000)	1	枚
12	鉄板 (1000×1000)	1	枚
13	鉄板 (1000×1000)	1	枚
14	鉄板 (1000×1000)	1	枚
15	鉄板 (1000×1000)	1	枚
16	鉄板 (1000×1000)	1	枚
17	鉄板 (1000×1000)	1	枚
18	鉄板 (1000×1000)	1	枚
19	鉄板 (1000×1000)	1	枚
20	鉄板 (1000×1000)	1	枚
21	鉄板 (1000×1000)	1	枚
22	鉄板 (1000×1000)	1	枚
23	鉄板 (1000×1000)	1	枚
24	鉄板 (1000×1000)	1	枚
25	鉄板 (1000×1000)	1	枚
26	鉄板 (1000×1000)	1	枚
27	鉄板 (1000×1000)	1	枚
28	鉄板 (1000×1000)	1	枚
29	鉄板 (1000×1000)	1	枚
30	鉄板 (1000×1000)	1	枚
31	鉄板 (1000×1000)	1	枚
32	鉄板 (1000×1000)	1	枚
33	鉄板 (1000×1000)	1	枚
34	鉄板 (1000×1000)	1	枚
35	鉄板 (1000×1000)	1	枚
36	鉄板 (1000×1000)	1	枚
37	鉄板 (1000×1000)	1	枚
38	鉄板 (1000×1000)	1	枚
39	鉄板 (1000×1000)	1	枚
40	鉄板 (1000×1000)	1	枚
41	鉄板 (1000×1000)	1	枚
42	鉄板 (1000×1000)	1	枚
43	鉄板 (1000×1000)	1	枚
44	鉄板 (1000×1000)	1	枚
45	鉄板 (1000×1000)	1	枚
46	鉄板 (1000×1000)	1	枚
47	鉄板 (1000×1000)	1	枚
48	鉄板 (1000×1000)	1	枚
49	鉄板 (1000×1000)	1	枚
50	鉄板 (1000×1000)	1	枚
51	鉄板 (1000×1000)	1	枚
52	鉄板 (1000×1000)	1	枚
53	鉄板 (1000×1000)	1	枚
54	鉄板 (1000×1000)	1	枚
55	鉄板 (1000×1000)	1	枚
56	鉄板 (1000×1000)	1	枚
57	鉄板 (1000×1000)	1	枚
58	鉄板 (1000×1000)	1	枚
59	鉄板 (1000×1000)	1	枚
60	鉄板 (1000×1000)	1	枚
61	鉄板 (1000×1000)	1	枚
62	鉄板 (1000×1000)	1	枚
63	鉄板 (1000×1000)	1	枚
64	鉄板 (1000×1000)	1	枚
65	鉄板 (1000×1000)	1	枚
66	鉄板 (1000×1000)	1	枚
67	鉄板 (1000×1000)	1	枚
68	鉄板 (1000×1000)	1	枚
69	鉄板 (1000×1000)	1	枚
70	鉄板 (1000×1000)	1	枚
71	鉄板 (1000×1000)	1	枚
72	鉄板 (1000×1000)	1	枚
73	鉄板 (1000×1000)	1	枚
74	鉄板 (1000×1000)	1	枚
75	鉄板 (1000×1000)	1	枚
76	鉄板 (1000×1000)	1	枚
77	鉄板 (1000×1000)	1	枚
78	鉄板 (1000×1000)	1	枚
79	鉄板 (1000×1000)	1	枚
80	鉄板 (1000×1000)	1	枚
81	鉄板 (1000×1000)	1	枚
82	鉄板 (1000×1000)	1	枚
83	鉄板 (1000×1000)	1	枚
84	鉄板 (1000×1000)	1	枚
85	鉄板 (1000×1000)	1	枚
86	鉄板 (1000×1000)	1	枚
87	鉄板 (1000×1000)	1	枚
88	鉄板 (1000×1000)	1	枚
89	鉄板 (1000×1000)	1	枚
90	鉄板 (1000×1000)	1	枚
91	鉄板 (1000×1000)	1	枚
92	鉄板 (1000×1000)	1	枚
93	鉄板 (1000×1000)	1	枚
94	鉄板 (1000×1000)	1	枚
95	鉄板 (1000×1000)	1	枚
96	鉄板 (1000×1000)	1	枚
97	鉄板 (1000×1000)	1	枚
98	鉄板 (1000×1000)	1	枚
99	鉄板 (1000×1000)	1	枚
100	鉄板 (1000×1000)	1	枚

正誤表(44)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図

供用路線計測
機器配置図
(計測工 C)

正

供用路線計測機器配置図 S=1:250 (計測工 C)

振動測定位置図

II 路線・下り線 C2 101-4-1, 101-4-2 断面 STA 888+00.0

供用路線・上り線 C2 101-4-1, 101-4-2 断面 STA 888+00.0

振動測定位置図

II 路線・下り線 C2 101-4-1, 101-4-2 断面 STA 888+00.0

供用路線・上り線 C2 101-4-1, 101-4-2 断面 STA 888+00.0

縦断方向記線図

ケーブル数表

計測項目	計測方法	ケーブル名	ケーブル長さ
平面位置測定	トータルステーション	トータルステーションケーブル	100m
傾斜測定	レベル	レベルケーブル	100m
断面測定	断面計	断面計ケーブル	100m
トンネル内位置測定	トータルステーション	トータルステーションケーブル	100m
トンネル内傾斜測定	レベル	レベルケーブル	100m
トンネル内断面測定	断面計	断面計ケーブル	100m

凡例

- 平面位置測定: トータルステーション
- 傾斜測定: レベル
- 断面測定: 断面計
- トンネル内位置測定: トータルステーション
- トンネル内傾斜測定: レベル
- トンネル内断面測定: 断面計

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

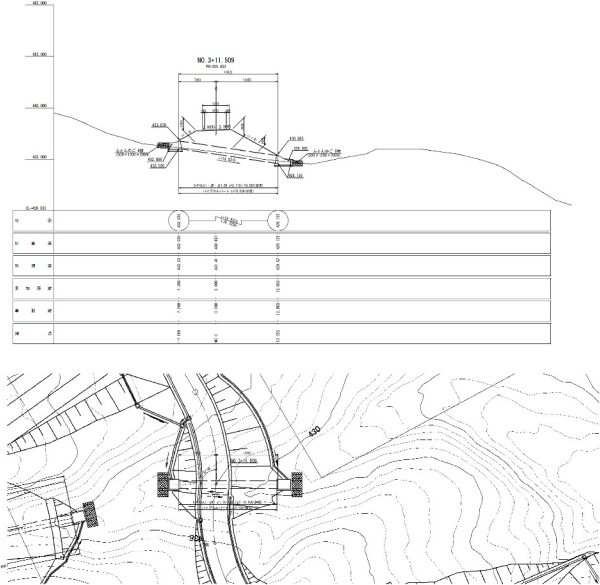
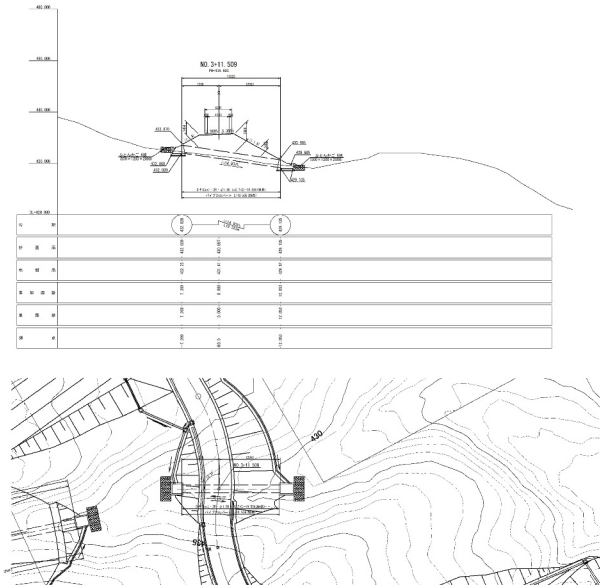
供用路線・上り線 STA 888+00.0

振動測定位置図

供用路線・上り線 STA 888+00.0

正誤表(45)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
<p>設計図</p> <p>No. 3+11.509 C-P(Cor)2R- φ1.50 (t=2.7)(C)- 19.54 一般図(1)</p>	<p>誤</p> <div data-bbox="416 371 1422 1077"> <p>No. 3+11.509 C-P(Cor)2R-φ1.50(t=2.7)(C)-19.54 一般図(1) ホロカトマム工事用道路</p>  <p>23 / 47</p> </div>
<p>正</p>	<div data-bbox="416 1245 1422 1951"> <p>No. 3+11.509 C-P(Cor)2R-φ1.50(t=2.7)(C)-19.54 一般図(1) ホロカトマム工事用道路</p>  <p>23 / 47</p> </div>

正誤表(46)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

正

設計図
No. 5+20.000
C-P(Cor)2R-
φ1.50
(t=2.7)(C)-
45.11
一般図(1)

No. 5+20.000 C-P(Cor)2R-φ1.50 (t=2.7) (C)-45.11 一般図(1)
ホロカトマム工事用道路

表 1

項目	単位	値	単位	値
道路幅員	m	12.0	道路幅員	m
車道幅員	m	7.0	車道幅員	m
歩道幅員	m	2.5	歩道幅員	m
排水溝幅員	m	0.5	排水溝幅員	m
排水溝深さ	m	0.3	排水溝深さ	m
排水溝勾配	‰	0.5	排水溝勾配	‰
排水溝材料	種	コンクリート	排水溝材料	種
排水溝施工	種	機械	排水溝施工	種
排水溝完成	種	機械	排水溝完成	種

No. 5+20.000 C-P(Cor)2R-φ1.50 (t=2.7) (C)-45.11 一般図(1)
ホロカトマム工事用道路

表 1

項目	単位	値	単位	値
道路幅員	m	12.0	道路幅員	m
車道幅員	m	7.0	車道幅員	m
歩道幅員	m	2.5	歩道幅員	m
排水溝幅員	m	0.5	排水溝幅員	m
排水溝深さ	m	0.3	排水溝深さ	m
排水溝勾配	‰	0.5	排水溝勾配	‰
排水溝材料	種	コンクリート	排水溝材料	種
排水溝施工	種	機械	排水溝施工	種
排水溝完成	種	機械	排水溝完成	種

正誤表(47)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
設計図 村道ホロカ幾寅線工事用道路一般図	誤
	正

正誤表(48)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

上部工詳細図(2)
【本流轟川第二橋】

支 承 S=1.20

F I X.

主桁の添接("A"部) S=1.40

図 11

図 12

図 13

図 14

図 15

図 16

図 17

図 18

図 19

図 20

図 21

図 22

図 23

図 24

図 25

図 26

図 27

図 28

図 29

図 30

図 31

図 32

図 33

図 34

図 35

図 36

図 37

図 38

図 39

図 40

図 41

図 42

図 43

図 44

図 45

図 46

図 47

図 48

図 49

図 50

図 51

図 52

図 53

図 54

図 55

図 56

図 57

図 58

図 59

図 60

図 61

図 62

図 63

図 64

図 65

図 66

図 67

図 68

図 69

図 70

図 71

図 72

図 73

図 74

図 75

図 76

図 77

図 78

図 79

図 80

図 81

図 82

図 83

図 84

図 85

図 86

図 87

図 88

図 89

図 90

図 91

図 92

図 93

図 94

図 95

図 96

図 97

図 98

図 99

図 100

図 101

図 102

図 103

図 104

図 105

図 106

図 107

図 108

図 109

図 110

図 111

図 112

図 113

図 114

図 115

図 116

図 117

図 118

図 119

図 120

図 121

図 122

図 123

図 124

図 125

図 126

図 127

図 128

図 129

図 130

図 131

図 132

図 133

図 134

図 135

図 136

図 137

図 138

図 139

図 140

図 141

図 142

図 143

図 144

図 145

図 146

図 147

図 148

図 149

図 150

図 151

図 152

図 153

図 154

図 155

図 156

図 157

図 158

図 159

図 160

図 161

図 162

図 163

図 164

図 165

図 166

図 167

図 168

図 169

図 170

図 171

図 172

図 173

図 174

図 175

図 176

図 177

図 178

図 179

図 180

図 181

図 182

図 183

図 184

図 185

図 186

図 187

図 188

図 189

図 190

図 191

図 192

図 193

図 194

図 195

図 196

図 197

図 198

図 199

図 200

図 201

図 202

図 203

図 204

図 205

図 206

図 207

図 208

図 209

図 210

図 211

図 212

図 213

図 214

図 215

図 216

図 217

図 218

図 219

図 220

図 221

図 222

図 223

図 224

図 225

図 226

図 227

図 228

図 229

図 230

図 231

図 232

図 233

図 234

図 235

図 236

図 237

図 238

図 239

図 240

図 241

図 242

図 243

図 244

図 245

図 246

図 247

図 248

図 249

図 250

図 251

図 252

図 253

図 254

図 255

図 256

図 257

図 258

図 259

図 260

図 261

図 262

図 263

図 264

図 265

図 266

図 267

図 268

図 269

図 270

図 271

図 272

図 273

図 274

図 275

図 276

図 277

図 278

図 279

図 280

図 281

図 282

図 283

図 284

図 285

図 286

図 287

図 288

図 289

図 290

図 291

図 292

図 293

図 294

図 295

図 296

図 297

図 298

図 299

図 300

図 301

図 302

図 303

図 304

図 305

図 306

図 307

図 308

図 309

図 310

図 311

図 312

図 313

図 314

図 315

図 316

図 317

図 318

図 319

図 320

図 321

図 322

図 323

図 324

図 325

図 326

図 327

図 328

図 329

図 330

図 331

図 332

図 333

図 334

図 335

図 336

図 337

図 338

図 339

図 340

図 341

図 342

図 343

図 344

図 345

図 346

図 347

図 348

図 349

図 350

図 351

図 352

図 353

図 354

図 355

図 356

図 357

図 358

図 359

図 360

図 361

図 362

図 363

図 364

図 365

図 366

図 367

図 368

図 369

図 370

図 371

図 372

図 373

図 374

図 375

図 376

図 377

図 378

図 379

図 380

図 381

図 382

図 383

図 384

図 385

図 386

図 387

図 388

図 389

図 390

図 391

図 392

図 393

図 394

図 395

図 396

図 397

図 398

図 399

図 400

図 401

図 402

図 403

図 404

図 405

図 406

図 407

図 408

図 409

図 410

図 41

正誤表(49)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

45 / 47

仮 架 橋 数 量 表
【本流越川第二橋】

項 目	規格・寸法	単位	数量	備考
■上部工				
主桁	プレガダー橋	t	90.904	
主桁	H800×300×14×26	t	8.290	
補剛材・加工材	PL t=9mm、t=12mm	t	0.403	
対横構	[300×90×9×13	t	0.869	
地覆材	[380×100×10.5×16	t	6.976	
手覆材	L75×75×9	t	3.067	
ボルト・ナット	F10T等	t	2.425	
計	1.0m×2.0m	m ²	512	
		(t)	109.286	固定材含む
■下部工				
受桁	H350×350×12×19	t	12.690	
相梁	H700×300×13×24	t	8.698	
組立材	H350×350×12×19	t	0.323	
	[200×90×8×13.5	t	3.939	
	L100×100×10	t	2.074	
	PL t=12mm、t=16mm	t	2.318	
ボルト・ナット	F10T	t	0.646	
計		t	30.000	

項 目	規格・寸法	単位	数量	備考
■基礎工				
支持杭	H400×400×13×21×14500	t	14.964	6本
支持杭	H400×400×13×21×14000	t	48.160	20本
支持杭	H400×400×13×21×12000	t	41.280	20本
支持杭（プレス取付部）	H400×400×13×21×2500	t	8.600	20本
支持杭（杭頭部PL取付）	H400×400×13×21×500	t	2.236	26本
計		t	115.240	
支持杭	H300×300×10×15×7500	t	4.185	6本
支持杭（杭頭部PL取付）	H300×300×10×15×500	t	0.279	6本
計		t	4.464	
トッププレート	PL t=16	t	1.262	
合計		t	120.966	
■土留工				
鋼矢板	SP-3型、8.0m～15.0m	t	8.460	12枚
組立材	H550×175×7×11	t	0.149	
	L100×100×10	t	0.452	
	I100×50×5×7.5	t	0.050	
	F800×12×950	t	0.040	
	FBI90×6×340	t	0.019	
ボルト・ナット	F10T	t	0.033	
計		t	9.203	

※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致するものとする。
※ 本図は、設計図と一致

正誤表(50)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

<div>修正箇所</div> <div>設計図 仮栈橋数量 表</div>	<div>正誤区分</div> <div>誤</div> <div>正</div>
	<div>仮 栈 橋 数 量 表 (2)</div> <div>【本流越川第二橋】</div> <div>2. 上流仮置架橋</div> <div>2.1. 型別</div> <div>2.2. 材料</div> <div>2.3. 断面</div> <div>2.4. 重量</div> <div>2.5. 長さ</div> <div>2.6. プレート</div> <div>2.7. 材料</div> <div>2.8. 重量</div> <div>2.9. 長さ</div> <div>2.10. プレート</div> <div>2.11. 材料</div> <div>2.12. 重量</div> <div>2.13. 長さ</div> <div>2.14. プレート</div> <div>2.15. 材料</div> <div>2.16. 重量</div> <div>2.17. 長さ</div> <div>2.18. プレート</div> <div>2.19. 材料</div> <div>2.20. 重量</div> <div>2.21. 長さ</div> <div>2.22. プレート</div> <div>2.23. 材料</div> <div>2.24. 重量</div> <div>2.25. 長さ</div> <div>2.26. プレート</div> <div>2.27. 材料</div> <div>2.28. 重量</div> <div>2.29. 長さ</div> <div>2.30. プレート</div> <div>2.31. 材料</div> <div>2.32. 重量</div> <div>2.33. 長さ</div> <div>2.34. プレート</div> <div>2.35. 材料</div> <div>2.36. 重量</div> <div>2.37. 長さ</div> <div>2.38. プレート</div> <div>2.39. 材料</div> <div>2.40. 重量</div> <div>2.41. 長さ</div> <div>2.42. プレート</div> <div>2.43. 材料</div> <div>2.44. 重量</div> <div>2.45. 長さ</div> <div>2.46. プレート</div> <div>2.47. 材料</div> <div>2.48. 重量</div> <div>2.49. 長さ</div> <div>2.50. プレート</div> <div>2.51. 材料</div> <div>2.52. 重量</div> <div>2.53. 長さ</div> <div>2.54. プレート</div> <div>2.55. 材料</div> <div>2.56. 重量</div> <div>2.57. 長さ</div> <div>2.58. プレート</div> <div>2.59. 材料</div> <div>2.60. 重量</div> <div>2.61. 長さ</div> <div>2.62. プレート</div> <div>2.63. 材料</div> <div>2.64. 重量</div> <div>2.65. 長さ</div> <div>2.66. プレート</div> <div>2.67. 材料</div> <div>2.68. 重量</div> <div>2.69. 長さ</div> <div>2.70. プレート</div> <div>2.71. 材料</div> <div>2.72. 重量</div> <div>2.73. 長さ</div> <div>2.74. プレート</div> <div>2.75. 材料</div> <div>2.76. 重量</div> <div>2.77. 長さ</div> <div>2.78. プレート</div> <div>2.79. 材料</div> <div>2.80. 重量</div> <div>2.81. 長さ</div> <div>2.82. プレート</div> <div>2.83. 材料</div> <div>2.84. 重量</div> <div>2.85. 長さ</div> <div>2.86. プレート</div> <div>2.87. 材料</div> <div>2.88. 重量</div> <div>2.89. 長さ</div> <div>2.90. プレート</div> <div>2.91. 材料</div> <div>2.92. 重量</div> <div>2.93. 長さ</div> <div>2.94. プレート</div> <div>2.95. 材料</div> <div>2.96. 重量</div> <div>2.97. 長さ</div> <div>2.98. プレート</div> <div>2.99. 材料</div> <div>3. 下流仮置架橋</div> <div>3.1. 型別</div> <div>3.2. 材料</div> <div>3.3. 断面</div> <div>3.4. 重量</div> <div>3.5. 長さ</div> <div>3.6. プレート</div> <div>3.7. 材料</div> <div>3.8. 重量</div> <div>3.9. 長さ</div> <div>3.10. プレート</div> <div>3.11. 材料</div> <div>3.12. 重量</div> <div>3.13. 長さ</div> <div>3.14. プレート</div> <div>3.15. 材料</div> <div>3.16. 重量</div> <div>3.17. 長さ</div> <div>3.18. プレート</div> <div>3.19. 材料</div> <div>3.20. 重量</div> <div>3.21. 長さ</div> <div>3.22. プレート</div> <div>3.23. 材料</div> <div>3.24. 重量</div> <div>3.25. 長さ</div> <div>3.26. プレート</div> <div>3.27. 材料</div> <div>3.28. 重量</div> <div>3.29. 長さ</div> <div>3.30. プレート</div> <div>3.31. 材料</div> <div>3.32. 重量</div> <div>3.33. 長さ</div> <div>3.34. プレート</div> <div>3.35. 材料</div> <div>3.36. 重量</div> <div>3.37. 長さ</div> <div>3.38. プレート</div> <div>3.39. 材料</div> <div>3.40. 重量</div> <div>3.41. 長さ</div> <div>3.42. プレート</div> <div>3.43. 材料</div> <div>3.44. 重量</div> <div>3.45. 長さ</div> <div>3.46. プレート</div> <div>3.47. 材料</div> <div>3.48. 重量</div> <div>3.49. 長さ</div> <div>3.50. プレート</div> <div>3.51. 材料</div> <div>3.52. 重量</div> <div>3.53. 長さ</div> <div>3.54. プレート</div> <div>3.55. 材料</div> <div>3.56. 重量</div> <div>3.57. 長さ</div> <div>3.58. プレート</div> <div>3.59. 材料</div> <div>3.60. 重量</div> <div>3.61. 長さ</div> <div>3.62. プレート</div> <div>3.63. 材料</div> <div>3.64. 重量</div> <div>3.65. 長さ</div> <div>3.66. プレート</div> <div>3.67. 材料</div> <div>3.68. 重量</div> <div>3.69. 長さ</div> <div>3.70. プレート</div> <div>3.71. 材料</div> <div>3.72. 重量</div> <div>3.73. 長さ</div> <div>3.74. プレート</div> <div>3.75. 材料</div> <div>3.76. 重量</div> <div>3.77. 長さ</div> <div>3.78. プレート</div> <div>3.79. 材料</div> <div>3.80. 重量</div> <div>3.81. 長さ</div> <div>3.82. プレート</div> <div>3.83. 材料</div> <div>3.84. 重量</div> <div>3.85. 長さ</div> <div>3.86. プレート</div> <div>3.87. 材料</div> <div>3.88. 重量</div> <div>3.89. 長さ</div> <div>3.90. プレート</div> <div>3.91. 材料</div> <div>3.92. 重量</div> <div>3.93. 長さ</div> <div>3.94. プレート</div> <div>3.95. 材料</div> <div>3.96. 重量</div> <div>3.97. 長さ</div> <div>3.98. プレート</div> <div>3.99. 材料</div> <div>3.100. 重量</div> <div>3.101. 長さ</div> <div>3.102. プレート</div> <div>3.103. 材料</div> <div>3.104. 重量</div> <div>3.105. 長さ</div> <div>3.106. プレート</div> <div>3.107. 材料</div> <div>3.108. 重量</div> <div>3.109. 長さ</div> <div>3.110. プレート</div> <div>3.111. 材料</div> <div>3.112. 重量</div> <div>3.113. 長さ</div> <div>3.114. プレート</div> <div>3.115. 材料</div> <div>3.116. 重量</div> <div>3.117. 長さ</div> <div>3.118. プレート</div> <div>3.119. 材料</div> <div>3.120. 重量</div> <div>3.121. 長さ</div> <div>3.122. プレート</div> <div>3.123. 材料</div> <div>3.124. 重量</div> <div>3.125. 長さ</div> <div>3.126. プレート</div> <div>3.127. 材料</div> <div>3.128. 重量</div> <div>3.129. 長さ</div> <div>3.130. プレート</div> <div>3.131. 材料</div> <div>3.132. 重量</div> <div>3.133. 長さ</div> <div>3.134. プレート</div> <div>3.135. 材料</div> <div>3.136. 重量</div> <div>3.137. 長さ</div> <div>3.138. プレート</div> <div>3.139. 材料</div> <div>3.140. 重量</div> <div>3.141. 長さ</div> <div>3.142. プレート</div> <div>3.143. 材料</div> <div>3.144. 重量</div> <div>3.145. 長さ</div> <div>3.146. プレート</div> <div>3.147. 材料</div> <div>3.148. 重量</div> <div>3.149. 長さ</div> <div>3.150. プレート</div> <div>3.151. 材料</div> <div>3.152. 重量</div> <div>3.153. 長さ</div> <div>3.154. プレート</div> <div>3.155. 材料</div> <div>3.156. 重量</div> <div>3.157. 長さ</div> <div>3.158. プレート</div> <div>3.159. 材料</div> <div>3.160. 重量</div> <div>3.161. 長さ</div> <div>3.162. プレート</div> <div>3.163. 材料</div> <div>3.164. 重量</div> <div>3.165. 長さ</div> <div>3.166. プレート</div> <div>3.167. 材料</div> <div>3.168. 重量</div> <div>3.169. 長さ</div> <div>3.170. プレート</div> <div>3.171. 材料</div> <div>3.172. 重量</div> <div>3.173. 長さ</div> <div>3.174. プレート</div> <div>3.175. 材料</div> <div>3.176. 重量</div> <div>3.177. 長さ</div> <div>3.178. プレート</div> <div>3.179. 材料</div> <div>3.180. 重量</div> <div>3.181. 長さ</div> <div>3.182. プレート</div> <div>3.183. 材料</div> <div>3.184. 重量</div> <div>3.185. 長さ</div> <div>3.186. プレート</div> <div>3.187. 材料</div> <div>3.188. 重量</div> <div>3.189. 長さ</div> <div>3.190. プレート</div> <div>3.191. 材料</div> <div>3.192. 重量</</div>

正誤表(51)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

正

設計図
仮橋橋数量
表

仮 橋 数 量 表 (3)										45-3 / 47
【本流越川第二橋】										
3.下流主橋量表										
3.1.プレート										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
スチール	PL 160×12×130(200)	-	-	4.91	124	609	橋脚用			
スチール	PL 142×12×100(100)	-	-	4.70	160	752	橋脚用			
サンドプレート	PL 300×16×300	-	-	15.39	20	308	橋上護岸材料用、2×24.5×4 橋脚			
プレート、合計質量 [kg]						2,119kg				
3.2.トラス・ナット										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
トラス	F10T-402×75	-	-	0.57	40	23	橋上護岸材料用			
ナット	F10T-402×85	-	-	0.60	160	96	橋上護岸材料用			
トラス	F10T-402×75	-	-	0.57	40	23	橋上護岸材料用			
ナット	F10T-402×85	-	-	0.59	160	94	橋上護岸材料用			
トラス	F10T-402×75	-	-	0.56	200	112	橋上護岸材料用			
ナット	F10T-402×85	-	-	0.57	160	92	橋上護岸材料用			
トラス	F10T-402×75	-	-	0.57	160	92	橋上護岸材料用			
ナット	F10T-402×85	-	-	0.57	160	92	橋上護岸材料用			
トラス	F10T-402×75	-	-	0.57	160	92	橋上護岸材料用			
ナット	F10T-402×85	-	-	0.57	160	92	橋上護岸材料用			
トラス・ナット、合計質量 [kg]						645kg				
4.付帯部量表										
4.1.支持脚										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
支持脚	H400×400×13×25	132.00	0.000	86.0	4	344	橋上護岸材料用			
支持脚	H400×400×13×25	132.00	14.000	248.0	4	1,440	橋上護岸材料用			
支持脚	H400×400×13×25	132.00	2.000	140.0	20	8,000	橋上護岸材料用			
支持脚	H400×400×13×25	132.00	12.000	204.0	20	4,080	橋上護岸材料用			
支持脚	H400×400×13×25	132.00	0.000	86.0	20	1,720	橋上護岸材料用			
支持脚	H400×400×13×25	132.00	14.000	248.0	20	4,960	橋上護岸材料用			
支持脚、合計質量 [kg]						115,140kg				
4.2.支持脚										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
支持脚	H300×300×10×10	80.00	0.000	46.0	4	184	橋上護岸材料用			
支持脚	H300×300×10×10	80.00	7.000	560.0	4	4,480	橋上護岸材料用			
支持脚、合計質量 [kg]						4,664kg				
4.3.プレート										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
トッププレート	PL 400×16×400	-	-	25.43	40	1,017	2×24.5×4 橋脚、支持脚(3000)			
トッププレート	PL 300×16×300	-	-	15.39	6	92	2×24.5×4 橋脚、支持脚(3000)			
プレート、合計質量 [kg]						1,109kg				
5.上流主橋量表										
5.1.橋脚										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
上流主橋	SP-150	40.00	8.000	480.0	2	960				
上流主橋	SP-150	40.00	10.000	600.0	2	1,200				
上流主橋	SP-150	40.00	12.000	720.0	2	1,440				
上流主橋	SP-150	40.00	14.000	840.0	2	1,680				
上流主橋	SP-150	40.00	16.000	960.0	2	1,920				
橋脚、合計質量 [kg]						8,400kg				
5.2.アライメント										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
アライメント	H200×125×11	48.40	0.200	12.4	12	149	2×24.5×4 橋脚、見取り、1 橋脚			
アライメント	H200×125×11	48.40	0.200	12.4	12	149	橋上護岸材料用			
アライメント、合計質量 [kg]						298kg				
5.3.橋脚部量表										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
橋脚部量表	H-100×50×3×3.3	2.30	0.200	0.46	6	2.76	橋上護岸材料用、合計質量 [kg]			
橋脚部量表、合計質量 [kg]						2.76kg				
5.4.橋上護岸部量表										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
橋上護岸部	H-100×100×10	14.90	1.000	14.90	2	29.80				
橋上護岸部	H-100×100×10	14.90	2.000	29.80	6	178.80				
橋上護岸部	H-100×100×10	14.90	2.000	29.80	4	119.20				
橋上護岸部、合計質量 [kg]						327.80kg				
5.5.橋上護岸部										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
橋上護岸部	H-100×100×10	14.90	0.200	2.98	12	35.76				
橋上護岸部	H-100×100×10	14.90	0.200	2.98	6	17.88				
橋上護岸部、合計質量 [kg]						53.64kg				
5.6.橋脚部										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
橋脚部	H-12×12×100	-	-	0.00	0	0.00	2×24.5×4 橋脚			
橋脚部、合計質量 [kg]						0.00kg				
5.7.トラス・ナット										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
トラス	F10T-402×75	-	-	0.54	10	5.40	2×24.5×4 橋脚、見取り			
ナット	F10T-402×75	-	-	0.57	24	13.68	2×24.5×4 橋脚、見取り			
トラス	F10T-402×75	-	-	0.54	24	12.96	2×24.5×4 橋脚、見取り			
トラス・ナット、合計質量 [kg]						32.04kg				
5.8.橋上護岸部										
品名	記号・単位	単位数量 [kg/m]	長さ [m]	単品重量 [kg]	数量	質量 [kg]	備考			
橋上護岸部	H-100×100×10	14.90	0.200	2.98	12	35.76	2×24.5×4 橋脚、見取り			
橋上護岸部	H-100×100×10	14.90	0.200	2.98	6	17.88	2×24.5×4 橋脚、見取り			
橋上護岸部、合計質量 [kg]						53.64kg				

正誤表(52)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

正

設計図
仮設平面図

仮設平面図

S=1/2000

2 / 15

区間	距離・寸法	単位	数 値	備 考
道路幅員	20.0m	m	140.0	(1-1断面)
土留壁設置区間	20.0m	m	110.0	(2-2断面)
土留壁設置区間	20.0m	m	140.0	(3-3断面)
道路幅員	20.0m	m	140.0	(4-4断面)

区間	距離・寸法	単位	数 値	備 考
道路幅員	20.0m	m	140.0	

設計図	仮設平面図
作 図	1/2000
検 査	1/2000
監 理	1/2000
施 工	1/2000

仮設平面図

S=1/2000

2 / 15

区間	距離・寸法	単位	数 値	備 考
道路幅員	20.0m	m	140.0	(1-1断面)
土留壁設置区間	20.0m	m	110.0	(2-2断面)
土留壁設置区間	20.0m	m	140.0	(3-3断面)
道路幅員	20.0m	m	140.0	(4-4断面)

区間	距離・寸法	単位	数 値	備 考
道路幅員	20.0m	m	140.0	

設計図	仮設平面図
作 図	1/2000
検 査	1/2000
監 理	1/2000
施 工	1/2000

正誤表(53)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図

仮設防護柵工

詳細図

正

正誤表(54)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

参考図

工事工程表

正

工事工程表 (参考図) S=1:7500

図面番号: 1 / 26

図面内容: 工事工程表 (参考図) S=1:7500

図面説明: 本図は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。

図面構成:

- 上部: 図面番号 (1 / 26) とスケール (S=1:7500)。
- 中央: 工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面内容。図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。
- 下部: 図面番号 (1 / 26) とスケール (S=1:7500)。

図面内容:

図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。

図面構成:

- 上部: 図面番号 (1 / 26) とスケール (S=1:7500)。
- 中央: 工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面内容。図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。
- 下部: 図面番号 (1 / 26) とスケール (S=1:7500)。

図面内容:

図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。

工事工程表 (参考図) S=1:7500

図面番号: 1 / 26

図面内容: 工事工程表 (参考図) S=1:7500

図面説明: 本図は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。

図面構成:

- 上部: 図面番号 (1 / 26) とスケール (S=1:7500)。
- 中央: 工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面内容。図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。
- 下部: 図面番号 (1 / 26) とスケール (S=1:7500)。

図面内容:

図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。図面は、工事工程表 (参考図) S=1:7500 の図面番号 1 / 26 の図面内容を示す。

正誤表(55)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所	正誤区分
誤	<div>坑口処理工図 (1) (参考図) S=1:250 15 / 26</div> <div>(起点側坑口)</div> <div><div><div>A-A断面 STA. 880+81 P10+426.302</div><div></div></div></div>

正誤表(56)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

割掛対象表
参考内訳書

1/5

正

割掛対象表参考内訳書 1 / 5

【共通仮設費】			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 キ-40-ダ（ﾄﾎﾝｶｯﾊﾟﾙ）ﾓﾀﾞﾀﾞﾝﾌﾞ 3、0㎡級 2 4 t：1台—1往復 ﾀﾝﾌﾞﾄﾗｸﾞ2 5 t 積み 2 0 t：7台—1往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 土 工 ）	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 ﾘｯﾊﾟｲﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ3 2 t：7台—1往復 ﾊﾞｯｸﾎﾜ1、0 m3以上：7台—1往復 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：3台—1往復 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：1台—1片道※ ○現場内移動—約 1 0 km（片道） 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：1台—1片道※	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）	自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○現場（一線沢盛土場）から基地 【運搬距離—約 1 5 0 km（片道）】 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：1台—1片道※ ○基地から現場（占冠 P A 工事用道路） 【運搬距離—約 1 4 0 km（往復）】 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：1台—1往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 3 ブームホイールジャンボ 1 7 0 k g 級： 1 台—1 往復 ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付け機 2 0 ㎡級：1 台—1 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 用 排 水 構 造 物 工 ）	流末処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ5 0－5 5 t 吊り級：1 台—1 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 地 盤 改 良 ）	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 ﾊﾞｯｸﾎﾜ0、8 m級（ベースマシン）：1 台—1 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する直建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ2 0 0 t 級：1 台—1 往復	—
仮 設 材 等 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費	—
仮 設 材 等 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 工事用仮鉄構工で使用する仮設材の運搬費	—
電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	電力基本料金費—トンネル高圧電力 A 総電力使用量：216万 xwh —北海道電力（株）	—
土 質 等 試 験 費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用。	JGSO172：2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法）による試験—2 検体 （盛土工：1 検体、再生砕石：1 検体）	—

割掛対象表参考内訳書 1 / 5

【共通仮設費】			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 キ-40-ダ（ﾄﾎﾝｶｯﾊﾟﾙ）ﾓﾀﾞﾀﾞﾝﾌﾞ 3、0㎡級 2 4 t：1台—1往復 ﾀﾝﾌﾞﾄﾗｸﾞ2 5 t 積み 2 0 t：7台—1往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 土 工 ）	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 ﾘｯﾊﾟｲﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ3 2 t：7台—1往復 ﾊﾞｯｸﾎﾜ1、0 m3以上：7台—1往復 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：3台—1往復 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：1台—1片道※ ○現場内移動—約 1 0 km（片道） 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：1台—1片道※	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）	自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○現場（一線沢盛土場）から基地 【運搬距離—約 1 5 0 km（片道）】 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：1台—1片道※ ○基地から現場（占冠 P A 工事用道路） 【運搬距離—約 1 4 0 km（往復）】 湿地ブルドーザ 2 0 t 級：1台—1往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 3 ブームホイールジャンボ 1 7 0 k g 級： 1 台—1 往復 2 ブームホイールジャンボ 1 5 0 k g 級： 1 台—1 往復 ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付け機エクタ型 6～2 2 ㎡/h 級： 1 台—1 往復 ｺﾝｸﾘｰﾄ吹付け機 2 0 ㎡/h 級： 1 台—1 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 用 排 水 構 造 物 工 ）	流末処理工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ5 0－5 5 t 吊り級：1 台—1 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 地 盤 改 良 ）	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 ﾊﾞｯｸﾎﾜ0、8 m級（ベースマシン）：1 台—1 往復	—
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する直建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ2 0 0 t 級：1 台—1 往復	—
仮 設 材 等 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費	—
仮 設 材 等 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離—約 1 4 0 km（片道）】 工事用仮鉄構工で使用する仮設材の運搬費	—

正誤表(57)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

割掛対象表
参考内訳書
2/5

正

割掛対象表参考内訳書 2 /5			
地 質 試 験 費	平板載荷試験等に要する費用をいう。	起点削坑門工：1箇所 終点削坑門工：1箇所	—
ロックボルト長さ検査費	トンネルのロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数 ：29.0ヶ月	—
火 薬 庫 費	火薬庫の登録（設置・撤去・維持・補修）に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 ：29.0ヶ月	—
トンネル呼吸用防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具 掘削延長：1,948m	—
非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	起点削坑門工—上向：2箇所、側面：4箇所 終点削坑門工—上向：2箇所、側面：4箇所	—
基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する費用をいう。	基準試験 A (T1-4) 試し練り：1回、 実機試験：1回 基準試験 B (T3-4) 試し練り：1回、 実機試験：1回	—
配 合 試 験 費	地盤改良工の室内配合試験に要する費用をいう。	L型擁壁付近：1回	
【準備工事費】			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工 事 用 道 路 維 持 補 修 費	工事用道路（本線内工事用道路を除く）の維持（散水）に要する費用をいう。	散水車5,500L：29.0ヶ月 ホロカトマム工事用道路、占冠PA工事用道路、道道夕張新得線、道道石狩高原幾実線、村道ホロカ幾実線、村道トマム1線118	—
工 事 車 両 泥 落 し 装 置 費	泥落とし装置に要する費用をいう。	○ホロカトマム工事用道路出入口：1箇所 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 設置・撤去：1回 設置期間：51.0ヶ月 ○村道の幾実線工事用道路出入口：1箇所 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 設置・撤去：1回 設置期間：6.7ヶ月 ○一級沢飯盛場出入口：1箇所 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 設置・撤去：1回 設置期間：34.5ヶ月	—
坑 内 外 仮 設 備 保 守 費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	昼夜2交代（9h2方）：29.0ヶ月 （掘削開始～掘削完了まで）	—
坑 内 仮 排 水 設 備 費	坑内仮排水用の排水溝又は集排水溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、掘削り掘溝：L=1,948m 期間：30.2ヶ月 （掘削開始～掘削完了まで）	—

割掛対象表参考内訳書 2 /5			
電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	電力基本料金費—トンネル産正電力A 総電力使用量：220万kwh —北海道電力（株）	—
土 質 等 試 験 費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用をいう。	JISD1172-3009 凍上性判定のための土の凍上試験方法）による試験—2検体 （掘土工：1検体、再生砕石：1検体）	—
地 質 試 験 費	平板載荷試験等に要する費用をいう。	起点削坑門工：1箇所 終点削坑門工：1箇所	—
ロックボルト長さ検査費	トンネルのロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数 ：29.1ヶ月	—
火 薬 庫 費	火薬庫の登録（設置・撤去・維持・補修）に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 ：29.1ヶ月	—
トンネル呼吸用防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具 掘削延長：1,948m	—
非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	起点削坑門工—上向：2箇所、側面：4箇所 終点削坑門工—上向：2箇所、側面：4箇所	—
基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する費用をいう。	基準試験 A (T1-4) 試し練り：1回、 実機試験：1回 基準試験 B (T3-4) 試し練り：1回、 実機試験：1回	—
配 合 試 験 費	地盤改良工の室内配合試験に要する費用をいう。	L型擁壁付近：1回	
【準備工事費】			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工 事 用 道 路 維 持 補 修 費	工事用道路（本線内工事用道路を除く）の維持（散水）に要する費用をいう。	散水車5,500L：29.1ヶ月 ホロカトマム工事用道路、占冠PA工事用道路、道道夕張新得線、道道石狩高原幾実線、村道ホロカ幾実線、村道トマム1線118	—
工 事 車 両 泥 落 し 装 置 費	泥落とし装置に要する費用をいう。	○ホロカトマム工事用道路出入口：1箇所 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 設置・撤去：1回 設置期間：50.5ヶ月 ○村道の幾実線工事用道路出入口：1箇所 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 設置・撤去：1回 設置期間：6.7ヶ月 ○一級沢飯盛場出入口：1箇所 鋼製泥落とし装置（全輪かさ上げ乾式型） 設置・撤去：1回 設置期間：34.5ヶ月	—
坑 内 外 仮 設 備 保 守 費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	昼夜2交代（9h2方）：29.1ヶ月 （掘削開始～掘削完了まで）	—

正誤表(58)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤	割掛対象表 参考内訳書 3 / 5	<div>割掛対象表参考内訳書 3 / 4</div> <table><tr><th>【仮設備工事費】</th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>足 場 工 費 (非 常 駐 車 帯)</td><td>トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td><td>【くさび型組式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：88.9空^m</td><td>—</td></tr><tr><td>足 場 工 費 (明 か り 部)</td><td>明り部の用排水構造物工、擁壁工及び管渠工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td><td>用排水構造物工：672.8空^m L型擁壁工：834.1空^m 管渠工：42.0空^m</td><td>—</td></tr><tr><td>ダンプトラック運転費</td><td>ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。</td><td>補助ベンチ付全断面工法、延運転月数：29.0ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往まで復走行時間：12.1分、インバート掘削数量：21,097.7^m</td><td>—</td></tr><tr><td>吹 付 設 備 費</td><td>トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。</td><td>吹付プラント設備組立・解体：1式 設備期間：29.0ヶ月 (基礎コンクリートの処分含む)</td><td>—</td></tr><tr><td>積 卸 し 設 備 費</td><td>坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。</td><td>掘削の単独施工期間：29.0ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.2ヶ月 タイヤ方式</td><td>—</td></tr><tr><td>換 気 設 備 費</td><td>トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。</td><td>送風機2,000^m/min (110kw×2) 設置・撤去：1回 110kw×1：14.0ヶ月 110kw×2：12.0ヶ月 電気式集じん機 (2,400^m/min) 設置・撤去1回：20.0ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>給 水 設 備 費</td><td>トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。</td><td>給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：260m 坑内配管延長：1,948m、 給水ポンプ：設備期間：30.2ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 設 備 費</td><td>トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。</td><td>爆破掘削、トンネル片押し延長：1,948m 責任分界点から坑口までの距離：200m</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 費</td><td>トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。</td><td>総設備負荷合計容量：19,066.3kw 電力使用期間：34.9ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>足 場 費 (覆 工 防 水 工 ・ 補 強 鉄 筋 用)</td><td>トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。</td><td>足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：1,948m</td><td>—</td></tr><tr><td>プ ラ ン ト 冬 季 養 生 費</td><td>トンネル用吹付プラント設備の冬季養生に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積：約1,200^m、 期間：17.5ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>汚 濁 水 処 理 設 備 冬 季 養 生 費</td><td>トンネル用汚濁水処理設備の冬季養生に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積：約500^m、 期間：17.5ヶ月</td><td>—</td></tr></table>	【仮設備工事費】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	足 場 工 費 (非 常 駐 車 帯)	トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび型組式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：88.9空 ^m	—	足 場 工 費 (明 か り 部)	明り部の用排水構造物工、擁壁工及び管渠工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	用排水構造物工：672.8空 ^m L型擁壁工：834.1空 ^m 管渠工：42.0空 ^m	—	ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	補助ベンチ付全断面工法、延運転月数：29.0ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往まで復走行時間：12.1分、インバート掘削数量：21,097.7 ^m	—	吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立・解体：1式 設備期間：29.0ヶ月 (基礎コンクリートの処分含む)	—	積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	掘削の単独施工期間：29.0ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.2ヶ月 タイヤ方式	—	換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機2,000 ^m /min (110kw×2) 設置・撤去：1回 110kw×1：14.0ヶ月 110kw×2：12.0ヶ月 電気式集じん機 (2,400 ^m /min) 設置・撤去1回：20.0ヶ月	—	給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：260m 坑内配管延長：1,948m、 給水ポンプ：設備期間：30.2ヶ月	—	工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	爆破掘削、トンネル片押し延長：1,948m 責任分界点から坑口までの距離：200m	—	工 事 用 電 力 費	トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：19,066.3kw 電力使用期間：34.9ヶ月	—	足 場 費 (覆 工 防 水 工 ・ 補 強 鉄 筋 用)	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：1,948m	—	プ ラ ン ト 冬 季 養 生 費	トンネル用吹付プラント設備の冬季養生に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積：約1,200 ^m 、 期間：17.5ヶ月	—	汚 濁 水 処 理 設 備 冬 季 養 生 費	トンネル用汚濁水処理設備の冬季養生に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積：約500 ^m 、 期間：17.5ヶ月	—
		【仮設備工事費】																																																								
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																							
足 場 工 費 (非 常 駐 車 帯)	トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび型組式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：88.9空 ^m	—																																																							
足 場 工 費 (明 か り 部)	明り部の用排水構造物工、擁壁工及び管渠工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	用排水構造物工：672.8空 ^m L型擁壁工：834.1空 ^m 管渠工：42.0空 ^m	—																																																							
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	補助ベンチ付全断面工法、延運転月数：29.0ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往まで復走行時間：12.1分、インバート掘削数量：21,097.7 ^m	—																																																							
吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立・解体：1式 設備期間：29.0ヶ月 (基礎コンクリートの処分含む)	—																																																							
積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	掘削の単独施工期間：29.0ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.2ヶ月 タイヤ方式	—																																																							
換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機2,000 ^m /min (110kw×2) 設置・撤去：1回 110kw×1：14.0ヶ月 110kw×2：12.0ヶ月 電気式集じん機 (2,400 ^m /min) 設置・撤去1回：20.0ヶ月	—																																																							
給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：260m 坑内配管延長：1,948m、 給水ポンプ：設備期間：30.2ヶ月	—																																																							
工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	爆破掘削、トンネル片押し延長：1,948m 責任分界点から坑口までの距離：200m	—																																																							
工 事 用 電 力 費	トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：19,066.3kw 電力使用期間：34.9ヶ月	—																																																							
足 場 費 (覆 工 防 水 工 ・ 補 強 鉄 筋 用)	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：1,948m	—																																																							
プ ラ ン ト 冬 季 養 生 費	トンネル用吹付プラント設備の冬季養生に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積：約1,200 ^m 、 期間：17.5ヶ月	—																																																							
汚 濁 水 処 理 設 備 冬 季 養 生 費	トンネル用汚濁水処理設備の冬季養生に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積：約500 ^m 、 期間：17.5ヶ月	—																																																							

正	割掛対象表 参考内訳書 3 / 5	<div>割掛対象表参考内訳書 3 / 5</div> <table><tr><td>坑 内 仮 排 水 設 備 費</td><td>坑内仮排水用の排水溝又は素掘り側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。</td><td>タイヤ方式、素掘り側溝：L=1,948m 期間：30.3ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)</td><td>—</td></tr></table> <div>【仮設備工事費】</div> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>足 場 工 費 (非 常 駐 車 帯)</td><td>トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td><td>【くさび型組式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：88.9空^m</td><td>—</td></tr><tr><td>足 場 工 費 (明 か り 部)</td><td>明り部の用排水構造物工、擁壁工及び管渠工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td><td>用排水構造物工：672.8空^m L型擁壁工：834.1空^m 管渠工：42.0空^m</td><td>—</td></tr><tr><td>ダンプトラック運転費</td><td>ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。</td><td>補助ベンチ付全断面工法、延運転月数25t：130ヶ月 10t：3.2ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往まで復走行時間：12.1分、インバート掘削数量：21,097.7^m</td><td>—</td></tr><tr><td>吹 付 設 備 費</td><td>トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。</td><td>吹付プラント設備組立・解体：1式 設備期間：29.1ヶ月 (基礎コンクリートの処分含む)</td><td>—</td></tr><tr><td>積 卸 し 設 備 費</td><td>坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。</td><td>掘削の単独施工期間：29.1ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.2ヶ月 タイヤ方式</td><td>—</td></tr><tr><td>換 気 設 備 費</td><td>トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。</td><td>送風機2,000^m/min (110kw×2) 設置・撤去：1回 110kw×1：13.6ヶ月 110kw×2：13.0ヶ月 電気式集じん機 (2,400^m/min) 設置・撤去1回：20.1ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>給 水 設 備 費</td><td>トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。</td><td>給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：260m 坑内配管延長：1,948m、 給水ポンプ：設備期間：30.3ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 設 備 費</td><td>トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。</td><td>爆破掘削、トンネル片押し延長：1,948m 準電位置から坑口までの距離：200m</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 費</td><td>トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。</td><td>総設備負荷合計容量：18,374kw 電力使用期間：35.0ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>足 場 費 (覆 工 防 水 工 ・ 補 強 鉄 筋 用)</td><td>トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。</td><td>足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：1,948m</td><td>—</td></tr><tr><td>プ ラ ン ト 冬 季 養 生 費</td><td>トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び凍り防止用水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。</td><td>設定温度5℃、気積：約1,200^m 期間：17.6ヶ月</td><td>—</td></tr></table>	坑 内 仮 排 水 設 備 費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘り側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、素掘り側溝：L=1,948m 期間：30.3ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)	—	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	足 場 工 費 (非 常 駐 車 帯)	トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび型組式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：88.9空 ^m	—	足 場 工 費 (明 か り 部)	明り部の用排水構造物工、擁壁工及び管渠工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	用排水構造物工：672.8空 ^m L型擁壁工：834.1空 ^m 管渠工：42.0空 ^m	—	ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	補助ベンチ付全断面工法、延運転月数25t：130ヶ月 10t：3.2ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往まで復走行時間：12.1分、インバート掘削数量：21,097.7 ^m	—	吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立・解体：1式 設備期間：29.1ヶ月 (基礎コンクリートの処分含む)	—	積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	掘削の単独施工期間：29.1ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.2ヶ月 タイヤ方式	—	換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機2,000 ^m /min (110kw×2) 設置・撤去：1回 110kw×1：13.6ヶ月 110kw×2：13.0ヶ月 電気式集じん機 (2,400 ^m /min) 設置・撤去1回：20.1ヶ月	—	給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：260m 坑内配管延長：1,948m、 給水ポンプ：設備期間：30.3ヶ月	—	工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	爆破掘削、トンネル片押し延長：1,948m 準電位置から坑口までの距離：200m	—	工 事 用 電 力 費	トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：18,374kw 電力使用期間：35.0ヶ月	—	足 場 費 (覆 工 防 水 工 ・ 補 強 鉄 筋 用)	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：1,948m	—	プ ラ ン ト 冬 季 養 生 費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び凍り防止用水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積：約1,200 ^m 期間：17.6ヶ月	—
		坑 内 仮 排 水 設 備 費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘り側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、素掘り側溝：L=1,948m 期間：30.3ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)	—																																																	
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																			
足 場 工 費 (非 常 駐 車 帯)	トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび型組式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：88.9空 ^m	—																																																			
足 場 工 費 (明 か り 部)	明り部の用排水構造物工、擁壁工及び管渠工の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	用排水構造物工：672.8空 ^m L型擁壁工：834.1空 ^m 管渠工：42.0空 ^m	—																																																			
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	補助ベンチ付全断面工法、延運転月数25t：130ヶ月 10t：3.2ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往まで復走行時間：12.1分、インバート掘削数量：21,097.7 ^m	—																																																			
吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立・解体：1式 設備期間：29.1ヶ月 (基礎コンクリートの処分含む)	—																																																			
積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	掘削の単独施工期間：29.1ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.2ヶ月 タイヤ方式	—																																																			
換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機2,000 ^m /min (110kw×2) 設置・撤去：1回 110kw×1：13.6ヶ月 110kw×2：13.0ヶ月 電気式集じん機 (2,400 ^m /min) 設置・撤去1回：20.1ヶ月	—																																																			
給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：260m 坑内配管延長：1,948m、 給水ポンプ：設備期間：30.3ヶ月	—																																																			
工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	爆破掘削、トンネル片押し延長：1,948m 準電位置から坑口までの距離：200m	—																																																			
工 事 用 電 力 費	トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：18,374kw 電力使用期間：35.0ヶ月	—																																																			
足 場 費 (覆 工 防 水 工 ・ 補 強 鉄 筋 用)	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：1,948m	—																																																			
プ ラ ン ト 冬 季 養 生 費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び凍り防止用水のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度5℃、気積：約1,200 ^m 期間：17.6ヶ月	—																																																			

正誤表(59)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所		正誤区分																																							
誤	割掛対象表 参考内訳書 4/5	割掛対象表参考内訳書 4 / 5																																							
		<table><tr><th colspan="4">【雑工事費】</th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>切土部施工基面の整形費</td><td>共通仕様書 2-6-5 (6) の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。</td><td>切土部施工基面の整形：3,664 m²</td><td>—</td></tr><tr><td>のり面仕上げ費</td><td>共通仕様書 2-6-5 (8) 及び 2-7-5 (6) に規定する作業に要する費用をいう。</td><td>盛土部のり面仕上げ (1：1、8)：7,351.9 m² 切土部のり面仕上げ (1：1、2) 土砂：6,164.8 m³ 敷岩：5,402.8 m²</td><td>—</td></tr><tr><td>河川・水路締切・迂回費</td><td>ホロカトマム工事用道路における管渠工及び盛土工施工時に必要な迂回水路の費用をいう。</td><td>迂回方法：水中ポンプによる迂回水路 設置・撤去箇所数：3 箇所 <設置箇所及び期間> C-P：No. 3+11.509 ポンプ：口径=200mm 15 台 土のう：189 袋 設置期間：30 日 C-P：No. 5+20.00 ポンプ：口径=200mm-17 台 口径=150mm-1 台 土のう：204 袋 設置期間：38 日 No. 6+60 付近の盛土 ポンプ：口径=200mm 20 台 土のう：348 袋 設置期間：27 日</td><td>—</td></tr><tr><td>沈砂池費</td><td>降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。</td><td>【切土・盛土工時】 起点側本線部：1 箇所 (沈砂池：20m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋) 終点側本線部：1 箇所 (沈砂池：15m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋) 起点側工事用道路部：5 箇所 (沈砂池：6m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 38 袋)：1 箇所 (沈砂池：15m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋)：1 箇所 (沈砂池：20m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋)：3 箇所</td><td>—</td></tr><tr><td>火薬取扱い費</td><td>火薬の取扱いに要する費用をいう。</td><td>火薬使用期間 掘削期間 29.0 ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>構造物水抜穴費</td><td>コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。</td><td>V P (φ 5 0)：L=4.2m</td><td>—</td></tr><tr><td>目地材費</td><td>コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。</td><td>目地板 (t = 2 cm)：11.6 m²</td><td>—</td></tr><tr><td>箱抜工費</td><td>トンネル防災設備等のための掘上コンクリートの箱抜に要する費用をいう。</td><td>箱抜き部型枠：623.1 m² 箱抜き部補強プレート型枠：6,996 kg 箱抜き部支撐止型枠：5,699 kg</td><td>—</td></tr></table>		【雑工事費】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	切土部施工基面の整形費	共通仕様書 2-6-5 (6) の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形：3,664 m ²	—	のり面仕上げ費	共通仕様書 2-6-5 (8) 及び 2-7-5 (6) に規定する作業に要する費用をいう。	盛土部のり面仕上げ (1：1、8)：7,351.9 m ² 切土部のり面仕上げ (1：1、2) 土砂：6,164.8 m ³ 敷岩：5,402.8 m ²	—	河川・水路締切・迂回費	ホロカトマム工事用道路における管渠工及び盛土工施工時に必要な迂回水路の費用をいう。	迂回方法：水中ポンプによる迂回水路 設置・撤去箇所数：3 箇所 <設置箇所及び期間> C-P：No. 3+11.509 ポンプ：口径=200mm 15 台 土のう：189 袋 設置期間：30 日 C-P：No. 5+20.00 ポンプ：口径=200mm-17 台 口径=150mm-1 台 土のう：204 袋 設置期間：38 日 No. 6+60 付近の盛土 ポンプ：口径=200mm 20 台 土のう：348 袋 設置期間：27 日	—	沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	【切土・盛土工時】 起点側本線部：1 箇所 (沈砂池：20m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋) 終点側本線部：1 箇所 (沈砂池：15m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋) 起点側工事用道路部：5 箇所 (沈砂池：6m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 38 袋)：1 箇所 (沈砂池：15m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋)：1 箇所 (沈砂池：20m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋)：3 箇所	—	火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間 掘削期間 29.0 ヶ月	—	構造物水抜穴費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	V P (φ 5 0)：L=4.2m	—	目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	目地板 (t = 2 cm)：11.6 m ²	—	箱抜工費	トンネル防災設備等のための掘上コンクリートの箱抜に要する費用をいう。
【雑工事費】																																									
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																						
切土部施工基面の整形費	共通仕様書 2-6-5 (6) の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形：3,664 m ²	—																																						
のり面仕上げ費	共通仕様書 2-6-5 (8) 及び 2-7-5 (6) に規定する作業に要する費用をいう。	盛土部のり面仕上げ (1：1、8)：7,351.9 m ² 切土部のり面仕上げ (1：1、2) 土砂：6,164.8 m ³ 敷岩：5,402.8 m ²	—																																						
河川・水路締切・迂回費	ホロカトマム工事用道路における管渠工及び盛土工施工時に必要な迂回水路の費用をいう。	迂回方法：水中ポンプによる迂回水路 設置・撤去箇所数：3 箇所 <設置箇所及び期間> C-P：No. 3+11.509 ポンプ：口径=200mm 15 台 土のう：189 袋 設置期間：30 日 C-P：No. 5+20.00 ポンプ：口径=200mm-17 台 口径=150mm-1 台 土のう：204 袋 設置期間：38 日 No. 6+60 付近の盛土 ポンプ：口径=200mm 20 台 土のう：348 袋 設置期間：27 日	—																																						
沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	【切土・盛土工時】 起点側本線部：1 箇所 (沈砂池：20m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋) 終点側本線部：1 箇所 (沈砂池：15m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋) 起点側工事用道路部：5 箇所 (沈砂池：6m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 38 袋)：1 箇所 (沈砂池：15m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋)：1 箇所 (沈砂池：20m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋)：3 箇所	—																																						
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間 掘削期間 29.0 ヶ月	—																																						
構造物水抜穴費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	V P (φ 5 0)：L=4.2m	—																																						
目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	目地板 (t = 2 cm)：11.6 m ²	—																																						
箱抜工費	トンネル防災設備等のための掘上コンクリートの箱抜に要する費用をいう。	箱抜き部型枠：623.1 m ² 箱抜き部補強プレート型枠：6,996 kg 箱抜き部支撐止型枠：5,699 kg	—																																						
正	割掛対象表 参考内訳書 4/5	割掛対象表参考内訳書 4 / 5																																							
		<table><tr><td>汚濁水処理設備 冬季養生費</td><td>トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する燃費、ヒーター等に要する費用をいう。</td><td>設定温度 5℃、気候：約 500 m² 期間：18.0 ヶ月</td><td>—</td></tr></table> <table><tr><th colspan="4">【雑工事費】</th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>切土部施工基面の整形費</td><td>共通仕様書 2-6-5 (6) の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。</td><td>切土部施工基面の整形：3,664 m²</td><td>—</td></tr><tr><td>のり面仕上げ費</td><td>共通仕様書 2-6-5 (8) 及び 2-7-5 (6) に規定する作業に要する費用をいう。</td><td>盛土部のり面仕上げ (1：1、8)：7,351.9 m² 切土部のり面仕上げ (1：1、2) 土砂：6,164.8 m³ 敷岩：5,402.8 m²</td><td>—</td></tr><tr><td>河川・水路締切・迂回費</td><td>ホロカトマム工事用道路における管渠工及び盛土工施工時に必要な迂回水路の費用をいう。</td><td>迂回方法：水中ポンプによる迂回水路 設置・撤去箇所数：3 箇所 <設置箇所及び期間> C-P：No. 3+11.509 ポンプ：口径=200mm 20 台 土のう 348 袋 設置期間：30 日 C-P：No. 5+20.00 ポンプ：口径=200mm-17 台 口径=150mm-1 台 土のう：204 袋 設置期間：38 日 No. 6+60 付近の盛土 ポンプ：口径=200mm 15 台 土のう 189 袋 設置期間：27 日</td><td>—</td></tr><tr><td>沈砂池費</td><td>降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。</td><td>【切土・盛土工時】 起点側本線部：1 箇所 (沈砂池：20m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋) 終点側本線部：1 箇所 (沈砂池：15m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋) 起点側工事用道路部：5 箇所 (沈砂池：6m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 38 袋)：1 箇所 (沈砂池：15m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋)：1 箇所 (沈砂池：20m³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋)：3 箇所</td><td>—</td></tr><tr><td>火薬取扱い費</td><td>火薬の取扱いに要する費用をいう。</td><td>火薬使用期間 掘削期間 29.1 ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>構造物水抜穴費</td><td>コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。</td><td>V P (φ 5 0)：L=13.0m</td><td>—</td></tr></table>		汚濁水処理設備 冬季養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する燃費、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気候：約 500 m ² 期間：18.0 ヶ月	—	【雑工事費】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	切土部施工基面の整形費	共通仕様書 2-6-5 (6) の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形：3,664 m ²	—	のり面仕上げ費	共通仕様書 2-6-5 (8) 及び 2-7-5 (6) に規定する作業に要する費用をいう。	盛土部のり面仕上げ (1：1、8)：7,351.9 m ² 切土部のり面仕上げ (1：1、2) 土砂：6,164.8 m ³ 敷岩：5,402.8 m ²	—	河川・水路締切・迂回費	ホロカトマム工事用道路における管渠工及び盛土工施工時に必要な迂回水路の費用をいう。	迂回方法：水中ポンプによる迂回水路 設置・撤去箇所数：3 箇所 <設置箇所及び期間> C-P：No. 3+11.509 ポンプ：口径=200mm 20 台 土のう 348 袋 設置期間：30 日 C-P：No. 5+20.00 ポンプ：口径=200mm-17 台 口径=150mm-1 台 土のう：204 袋 設置期間：38 日 No. 6+60 付近の盛土 ポンプ：口径=200mm 15 台 土のう 189 袋 設置期間：27 日	—	沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	【切土・盛土工時】 起点側本線部：1 箇所 (沈砂池：20m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋) 終点側本線部：1 箇所 (沈砂池：15m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋) 起点側工事用道路部：5 箇所 (沈砂池：6m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 38 袋)：1 箇所 (沈砂池：15m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋)：1 箇所 (沈砂池：20m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋)：3 箇所	—	火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間 掘削期間 29.1 ヶ月	—	構造物水抜穴費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	V P (φ 5 0)：L=13.0m	—		
汚濁水処理設備 冬季養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する燃費、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度 5℃、気候：約 500 m ² 期間：18.0 ヶ月	—																																						
【雑工事費】																																									
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																						
切土部施工基面の整形費	共通仕様書 2-6-5 (6) の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形：3,664 m ²	—																																						
のり面仕上げ費	共通仕様書 2-6-5 (8) 及び 2-7-5 (6) に規定する作業に要する費用をいう。	盛土部のり面仕上げ (1：1、8)：7,351.9 m ² 切土部のり面仕上げ (1：1、2) 土砂：6,164.8 m ³ 敷岩：5,402.8 m ²	—																																						
河川・水路締切・迂回費	ホロカトマム工事用道路における管渠工及び盛土工施工時に必要な迂回水路の費用をいう。	迂回方法：水中ポンプによる迂回水路 設置・撤去箇所数：3 箇所 <設置箇所及び期間> C-P：No. 3+11.509 ポンプ：口径=200mm 20 台 土のう 348 袋 設置期間：30 日 C-P：No. 5+20.00 ポンプ：口径=200mm-17 台 口径=150mm-1 台 土のう：204 袋 設置期間：38 日 No. 6+60 付近の盛土 ポンプ：口径=200mm 15 台 土のう 189 袋 設置期間：27 日	—																																						
沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	【切土・盛土工時】 起点側本線部：1 箇所 (沈砂池：20m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋) 終点側本線部：1 箇所 (沈砂池：15m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋) 起点側工事用道路部：5 箇所 (沈砂池：6m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 38 袋)：1 箇所 (沈砂池：15m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 54 袋)：1 箇所 (沈砂池：20m ³ 程度、ブルーシート 1 枚 土のう 62 袋)：3 箇所	—																																						
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間 掘削期間 29.1 ヶ月	—																																						
構造物水抜穴費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	V P (φ 5 0)：L=13.0m	—																																						

正誤表(60)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所		正誤区分																																					
誤	割掛対象表参考内訳書 5 / 5	<table><tr><td>インバート妻型わく費</td><td>インバートコンクリート打設のための妻型わく及び非常駐車帯妻部の型わくに要する費用をいう。</td><td>インバート妻型わく：1,745.2㎡</td><td>—</td></tr><tr><td>非常駐車帯妻型わく費</td><td>非常駐車帯妻壁部コンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。</td><td>非常駐車帯妻型わく：74.1㎡</td><td>—</td></tr><tr><td>坑口切付費</td><td>トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。</td><td>外型枠：110.5㎡、土のう：9,606袋 吹付コンクリート t = 20cm：107.5㎡ 吹付コンクリート t = 10cm：986.8㎡</td><td>○</td></tr><tr><td>防音屏費</td><td>爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する屏に要する費用をいう。</td><td>防音屏1式：1基（72.2㎡） （基礎コンクリート処分含む）</td><td>○</td></tr><tr><td>土砂防止柵費</td><td>田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。</td><td>設置延長：162.0m 設置期間：29.0ヶ月 ※仮設防護工設置箇所は含まない</td><td>○</td></tr><tr><td>避難連絡坑補強費</td><td>避難連絡坑接続のための補強に要する費用をいう。</td><td>本坑部補強プレート設置：252kg 本坑部保工撤去：235kg 供用線部支保工撤去：363kg 既設覆工の撤去費</td><td>○</td></tr><tr><td>高速道路料金費</td><td>交通規制内で行う施工（通行止め除く）において必要となる高速道路通行料金の費用をいう（消費税相当額を除く）。</td><td>【占冠IC～トマムIC間（片道）】 仮設防護工：材料搬入、作業時（設置・撤去） 仮設目隠し板工：作業時（設置・撤去） セミトレーラ：20台・回 標識車・規制車（中型車）：54台・回</td><td>—</td></tr></table>	インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わく及び非常駐車帯妻部の型わくに要する費用をいう。	インバート妻型わく：1,745.2㎡	—	非常駐車帯妻型わく費	非常駐車帯妻壁部コンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	非常駐車帯妻型わく：74.1㎡	—	坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	外型枠：110.5㎡、土のう：9,606袋 吹付コンクリート t = 20cm：107.5㎡ 吹付コンクリート t = 10cm：986.8㎡	○	防音屏費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する屏に要する費用をいう。	防音屏1式：1基（72.2㎡） （基礎コンクリート処分含む）	○	土砂防止柵費	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：162.0m 設置期間：29.0ヶ月 ※仮設防護工設置箇所は含まない	○	避難連絡坑補強費	避難連絡坑接続のための補強に要する費用をいう。	本坑部補強プレート設置：252kg 本坑部保工撤去：235kg 供用線部支保工撤去：363kg 既設覆工の撤去費	○	高速道路料金費	交通規制内で行う施工（通行止め除く）において必要となる高速道路通行料金の費用をいう（消費税相当額を除く）。	【占冠IC～トマムIC間（片道）】 仮設防護工：材料搬入、作業時（設置・撤去） 仮設目隠し板工：作業時（設置・撤去） セミトレーラ：20台・回 標識車・規制車（中型車）：54台・回	—									
	インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わく及び非常駐車帯妻部の型わくに要する費用をいう。	インバート妻型わく：1,745.2㎡	—																																			
非常駐車帯妻型わく費	非常駐車帯妻壁部コンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	非常駐車帯妻型わく：74.1㎡	—																																				
坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	外型枠：110.5㎡、土のう：9,606袋 吹付コンクリート t = 20cm：107.5㎡ 吹付コンクリート t = 10cm：986.8㎡	○																																				
防音屏費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する屏に要する費用をいう。	防音屏1式：1基（72.2㎡） （基礎コンクリート処分含む）	○																																				
土砂防止柵費	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：162.0m 設置期間：29.0ヶ月 ※仮設防護工設置箇所は含まない	○																																				
避難連絡坑補強費	避難連絡坑接続のための補強に要する費用をいう。	本坑部補強プレート設置：252kg 本坑部保工撤去：235kg 供用線部支保工撤去：363kg 既設覆工の撤去費	○																																				
高速道路料金費	交通規制内で行う施工（通行止め除く）において必要となる高速道路通行料金の費用をいう（消費税相当額を除く）。	【占冠IC～トマムIC間（片道）】 仮設防護工：材料搬入、作業時（設置・撤去） 仮設目隠し板工：作業時（設置・撤去） セミトレーラ：20台・回 標識車・規制車（中型車）：54台・回	—																																				
正	割掛対象表参考内訳書 5 / 5	<table><tr><td>目地材費</td><td>コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。</td><td>目地板（t = 2cm）：11.6㎡</td><td>—</td></tr><tr><td>箱抜き工費</td><td>トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。</td><td>箱抜き部型枠：623.1㎡ 箱抜き部補強プレート設置：6,996kg 箱抜き部支保工撤去：5,609kg</td><td>—</td></tr><tr><td>インバート妻型わく費</td><td>インバートコンクリート打設のための妻型わく及び非常駐車帯妻部の型わくに要する費用をいう。</td><td>インバート妻型わく：1,748.7㎡</td><td>—</td></tr><tr><td>非常駐車帯妻型わく費</td><td>非常駐車帯妻壁部コンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。</td><td>非常駐車帯妻型わく：74.1㎡</td><td>—</td></tr><tr><td>坑口切付費</td><td>トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。</td><td>外型枠：110.5㎡、土のう：9,606袋 吹付コンクリート t = 20cm：107.5㎡ 吹付コンクリート t = 10cm：986.8㎡</td><td>○</td></tr><tr><td>防音屏費</td><td>爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する屏に要する費用をいう。</td><td>防音屏1式：1基（72.2㎡） （基礎コンクリート処分含む）</td><td>○</td></tr><tr><td>土砂防止柵費</td><td>田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。</td><td>設置延長：162.0m 設置期間：29.1ヶ月 ※仮設防護工設置箇所は含まない</td><td>○</td></tr><tr><td>避難連絡坑補強費</td><td>避難連絡坑接続のための補強に要する費用をいう。</td><td>本坑部補強プレート設置：252kg 本坑部保工撤去：235kg 供用線部支保工撤去：363kg 補強アンカー：37ヶ所 既設覆工の撤去費</td><td>○</td></tr><tr><td>高速道路料金費</td><td>交通規制内で行う施工（通行止め除く）において必要となる高速道路通行料金の費用をいう（消費税相当額を除く）。</td><td>【占冠IC～トマムIC間（片道）】 仮設防護工：材料搬入、作業時（設置） 仮設目隠し板工：作業時（設置・撤去） セミトレーラ：20台・回 標識車・規制車（中型車）：54台・回</td><td>—</td></tr></table>	目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	目地板（t = 2cm）：11.6㎡	—	箱抜き工費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	箱抜き部型枠：623.1㎡ 箱抜き部補強プレート設置：6,996kg 箱抜き部支保工撤去：5,609kg	—	インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わく及び非常駐車帯妻部の型わくに要する費用をいう。	インバート妻型わく：1,748.7㎡	—	非常駐車帯妻型わく費	非常駐車帯妻壁部コンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	非常駐車帯妻型わく：74.1㎡	—	坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	外型枠：110.5㎡、土のう：9,606袋 吹付コンクリート t = 20cm：107.5㎡ 吹付コンクリート t = 10cm：986.8㎡	○	防音屏費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する屏に要する費用をいう。	防音屏1式：1基（72.2㎡） （基礎コンクリート処分含む）	○	土砂防止柵費	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：162.0m 設置期間：29.1ヶ月 ※仮設防護工設置箇所は含まない	○	避難連絡坑補強費	避難連絡坑接続のための補強に要する費用をいう。	本坑部補強プレート設置：252kg 本坑部保工撤去：235kg 供用線部支保工撤去：363kg 補強アンカー：37ヶ所 既設覆工の撤去費	○	高速道路料金費	交通規制内で行う施工（通行止め除く）において必要となる高速道路通行料金の費用をいう（消費税相当額を除く）。	【占冠IC～トマムIC間（片道）】 仮設防護工：材料搬入、作業時（設置） 仮設目隠し板工：作業時（設置・撤去） セミトレーラ：20台・回 標識車・規制車（中型車）：54台・回	—	
	目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	目地板（t = 2cm）：11.6㎡	—																																			
箱抜き工費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	箱抜き部型枠：623.1㎡ 箱抜き部補強プレート設置：6,996kg 箱抜き部支保工撤去：5,609kg	—																																				
インバート妻型わく費	インバートコンクリート打設のための妻型わく及び非常駐車帯妻部の型わくに要する費用をいう。	インバート妻型わく：1,748.7㎡	—																																				
非常駐車帯妻型わく費	非常駐車帯妻壁部コンクリート打設のための妻型わくに要する費用をいう。	非常駐車帯妻型わく：74.1㎡	—																																				
坑口切付費	トンネル掘削に先立って行う、坑口付けに要する鋼アーチ支保工の補強等、及びのり面保護工に要する費用をいう。	外型枠：110.5㎡、土のう：9,606袋 吹付コンクリート t = 20cm：107.5㎡ 吹付コンクリート t = 10cm：986.8㎡	○																																				
防音屏費	爆破音等を低減するために、トンネル坑口付近に設置する屏に要する費用をいう。	防音屏1式：1基（72.2㎡） （基礎コンクリート処分含む）	○																																				
土砂防止柵費	田畑、民地等に土砂等の流出防止を目的とした柵の設置及び撤去に要する費用をいう。	設置延長：162.0m 設置期間：29.1ヶ月 ※仮設防護工設置箇所は含まない	○																																				
避難連絡坑補強費	避難連絡坑接続のための補強に要する費用をいう。	本坑部補強プレート設置：252kg 本坑部保工撤去：235kg 供用線部支保工撤去：363kg 補強アンカー：37ヶ所 既設覆工の撤去費	○																																				
高速道路料金費	交通規制内で行う施工（通行止め除く）において必要となる高速道路通行料金の費用をいう（消費税相当額を除く）。	【占冠IC～トマムIC間（片道）】 仮設防護工：材料搬入、作業時（設置） 仮設目隠し板工：作業時（設置・撤去） セミトレーラ：20台・回 標識車・規制車（中型車）：54台・回	—																																				

正誤表(61)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

番 号	名称又は地点	図号	修正番号	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				2-101			2-102			2-103			2-104			2-105			2-106			2-107			2-108			2-109			2-110			2-111			2-112			2-113																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				路線名称			路線名称			路線名称			路線名称			路線名称			路線名称			路線名称			路線名称			路線名称			路線名称			路線名称			路線名称			路線名称																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m	m	単位	m

正誤表(62)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

番 号	名称又は題名	項目番号	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	計・計外等
			2-00		10-01		4-03	4-04	4-05	4-06	4-07	4-08	4-09	4-10	4-11	
			基礎材		地盤改良工		特殊布工	特殊付工	特殊基礎	のり面	コンクリート	鋼鉄の板	基礎工	基礎工	基礎工	
			B 1	B 2	中層連合	鋼管材 A	特殊付工	特殊付工	特殊基礎	のり面	コンクリート	鋼鉄の板	基礎工	基礎工	基礎工	
単位			m ²	m ²	m ²	t	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
1	本線（下り線） （S1L 879+00.00～S1L 902+00.00）						2,024.6	909.6		909.6						158.9
2	ワンタートップワッパ敷工 （S1L 902+00.00～S1L 902+08.30）										104.8	42.0	24.5			
3	鋼管工 （S1L 879+04.25～S1L 879+09.00）				503.5	29.4										
4	（地盤改良） 地門工						306.1									
5	（地盤改良） 地門工						352.8									
6	（トンネル） ボロカトマントンネル															
7	（トンネル） ボロカトマントンネル															
8	鋼管敷設工															
9	ボロカトマントンネル道路		4.9	95.3			7,064.6	7,435.4	6,979.1	7,435.4					24.9	869.2
10	ボロカトマントンネル道路															
11	鋼管ボロカトマントンネル道路															
12	一般供用トンネル道路															
			</													

正誤表(63)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(64)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

修正箇所		正誤区分														
数量明細表	誤															
数量明細表	正															
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表																
数量明細表</																

正誤表(65)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]

正誤表(66)

工事件名) 道東自動車道 ホロカトマムトンネル工事

[illegible]